

明治大學 大正五年  
法律部 第三學年 講義錄  
保  
險  
法

ハ  
101

(M)

035449-000-5

ハ-101

保險法

松波 仁一郎 / 述

M45?

BBO-0649



東京帝國大學  
法學博士  
教授

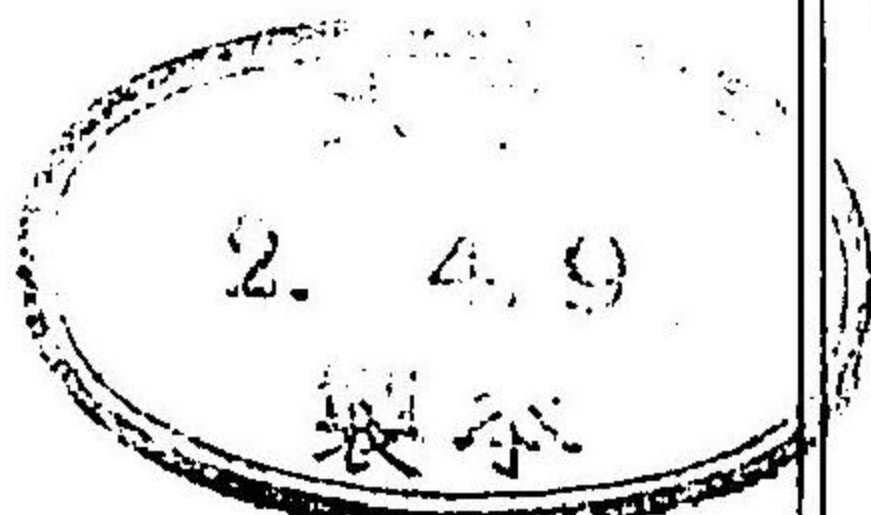
松波仁一郎君講述

保

險

法

完



明治大學出版部發行

寄本

# 保險法目次

## 緒論

保險ノ國營	六
保險公法	一一
保險會社ノ資本	一一
保險會社ト供託	二七
保險ト税法	二九
保險私法	三三
相互保險會社	三七
保險契約ノ統一觀念	四八
損害保險ト生命保險	五九
第一節 損害保險	六一
第一款 總則	六六

損害保險契約ノ性質	六六
損害保險契約ノ取結	六九
保險契約ノ成立	七一
代理店	七八
告知義務	八三
他人ノ保險	九九
保險ノ開始	一〇七
被保險利益	一〇九
危險	一一三
偶然ノ事故	一一四
保險證券	一一七
損害保險契約ノ效力	一二四
保險者ノ義務	一二五
抵當權者ノ保險金追及	一三四
保險者ノ求償權	一四六

計算公示	一六五
保險契約者ノ義務	一六九
損害防止義務	一八三
保險債權ノ讓渡	一八四
損害保險契約ノ消滅	一八八
變例ノ損害保險	一九七
共同保險	二三七
第一款 火災保險	二三九
第三款 運送保險	二五五
第二節 生命保險	二五九
生命保險ト稅法	二六二
生命保險契約ノ性質	二六六
生命保險ノ種類	二八四
生命保險契約ノ取結	三〇七
被保險利益	三〇八

告知義務	三一九
診査ヲ許ス義務	三五九
不爭約款	三六一
告知義務ノ違反ノ結果	三六二
他人ノ保險	三七〇
保險金受取人	三八八
生命保險契約ノ效力	四〇三
保險債權ノ讓渡	四一〇
保險債權ノ質入	四一六
保險者ノ求償權	四一九
生命保險契約ノ消滅	四三一
保險ノ國營	四三五
簡易保險	四四六
保險業法ノ改正	四五二

## 保險法目次 畢

# 保險法

東京帝國大學  
法科大學教授  
松波仁一郎君講述

松波仁一郎君講述

## 緒論

保險ハ人類相互ノ不幸ヲ救済スルヲ趣旨トスルヲ以テ其根本ノ紀念ハ殆ント社會ノ發生ト同時ニ發生シ殊ニ相互保險ノ精神ハ何レノ國ニ於テモ速カニ顯ハル然レトモ現今ノ意味ニ於ケル保險殊ニ營業トシテ爲ス保險ノ發明ハ近來ニ屬ス  
 アツシリヤ、バビロン、埃及等ニ保險アリシト云フ者アルモ確證ナシ希臘羅馬ニア  
 リシト云フ者モ多クハ一種ノ損害擔保ノ事跡ヲ見テ保險ト云フナリ海法學者ノ  
 中ニハ冒險貸借ヲ保險ト同視スル者アリ之ヲ保險ノ端緒トスル者アリ或ハ冒險  
 貸借アリシ程故海上保險存セサル理ナシト云フ者アリ何レモ牽強附會ナルカ或  
 ハ想像ニ止マリ確證アルニ非ス猶太人ノ發明ト稱スル陸上運送保險ヲ保險ノ濫

船トスル者アレトモ未タ可ナラス保險ハ海上保險ニ始マリシナリ海事ニハ危險多ク且其事變ノ慘ナルヨリシテ當事者間ニ救濟ノ念ヲ生スルコト深キト海商ヲ爲ス人民ハ他ノ人民ヨリモ數理計算其他ノ點ニ進歩セルヲ以テ最先ニ保險ナル制度ヲ發明シタルナリ

海上保險ニ次テ生シタルモノヲ火災保險トス是レ火災ノ害亦著ルシク而シテ之カ救濟ハ海上保險ニ類似スル方法ヲ以テ爲シ得レハナリ第十五世紀ニ起リ初メハ微々タリシモ一六六四年ノ倫敦ノ大火以來俄カニ英國ニ發達シタリ獨逸ニ在リテハ三十年戰爭ノ後貧民増加シ放火其他ノ事故ニ因ル火災多カリシヨリシテ速カニ發達シタリ佛國ニ於ケル發達ハ英獨ヨリモ後レ漸ク那翁時代ナリト云ハル

火災保險ニ次テ發達シタルモノヲ生命保險トス生命保險ニ類スルモノハ最先ニ生シタリ死ハ人世最モ悲惨ナルモノニシテ之ニ關シテ生スル相憐ノ情最モ切ナレハナリ航海ニ於ケル同舟相扶ノ情ヨリ相互保險ニ類スルモノヲ生シ隣保相佑ノ誠真ヨリ亦之ヲ生シタリ然レトモ未タ之ヲ近世ニ稱スル生命保險トシテ海上火災等ノ保險ノ先ニ置クニ足ラス生命保險ノ起リタルハ今ヨリ僅カニ二百餘年

前ナリ初メ英米ニ盛大ト爲リ米人フランクリンカ子孫ノ爲メ將來ノ資産ヲ最モ廉價ニ且最モ確實ニ作り得ルモノハ生命保險ナリト云ヒタル際ニハ既ニ多クノ發達ヲ爲シ居リタリ速カニ諸國ニ傳播シタリシモ佛國ニテハ天賦人權ノ空説ニ迷ハサレ生命保險ノ眞實ヲ誤解シ生命保險ハ人格ヲ損ストシテ排斥シタルヲ以テ其發達ハ後レタリ

保險ニハ海上保險、火災保險及ヒ生命保險ノ外ニ農產物保險、家畜保險等アリテ其中ノ或モノハ個々ニ火災保險又ハ生命保險ヨリ先キニ生シタルコトアルモ未タ以テ沿革ノ大系統ニ入ルニ足ラス震災保險、責任保險等ハ近來ノ發明ナリ又同シク生命保險ト稱スルモ終身生命保險ノ外ニ養老保險、年輪保險、結婚保險等ヲ生シタルモ沿革中ニ述フルヲ要セス

保險ハ法律上ノ外經濟上、社會上及ヒ道徳上ヨリモ研究スヘキモノナリ商法ノ規定ニモ此等ノモノヲ基礎トシタル所多シ  
保險ノ最大目的ハ人類ノ不幸ヲ防止スルニアリ損害ヲ蒙リタル際ニ之ヲ蒙ムラサリシト同一ノ有様ニ在ラシムルニアリ人爲ヲ以テ天災ニ抗スルニアリ此點ヨリシテ既ニ尊重スヘキ制度ナリ而シテ保險ヲ生シタル結果トシテ各人ノ勇氣ヲ

増シ企業心ヲ盛ナラシム損害保險ヲ約スルトキハ萬一事業ニ損スルモ保險ニテ  
 填補セラルヘシト信シテ猛進シ生命保險ヲ附シ子孫ノ爲メニ顧慮スルヲ要セス  
 トシテ勇往ス又保險ニハ少額ノ保險料ヲ時々ニ拂込ミテ一時ニ多クノ金額ヲ得  
 ルヲ以テ貯金ヲ獎勵スルコト、爲リ人ニ勤勉ヲ教ユル間接ノ利益モアリ少許ノ  
 金錢モ合スレハ巨額ト爲リ而シテ保險者ハ總テノ被保險者ニ同時ニ保險金額ヲ  
 支拂フヲ要セサルヲ以テ用キテ大事業ヲ爲スニ足リ一般事業ノ發展ヲ助ク日露  
 戦争ニ際シ保險業者カ巨額ノ公債ニ應募シタルハ其一例ナリ  
 保險ハ有用ノ制度ニシテ賭博トハ異ナレリ賭博ハ單ニ偶然ノ事故ニ因リテ有價  
 物ヲ得ントスルモノニシテ積極的ニ或物ヲ利得セントスルモノナリ之ヲ得ル者  
 モ興フル者モ何等數理ノ基礎ニ因ルコトナク漫然授受スルヲ通常トシ公益ニ害  
 アリトシテ禁止セラル賭博ノ或モノハ正確ナル數理ニ基キ殊ニ賭博營業者ノ基  
 礎ノ堅キ場合ニハ保險營業ニ類スルモ趣旨ニ於テ保險ト異ナレリ保險ハ損害ヲ  
 防止スルヲ目的トスルモ賭博(富籤モ然リ)ニハ其趣旨ナク無意味ニ巨額ノ有價物  
 ヲ得セシムルモノナリ之ヲ二者ノ制度上ノ差トス若シ夫レ一個ノ契約ヲ取リ被  
 保險者カ少許ノ保險料ヲ拂込ミタル後事故ノ發生ニ因リテ巨額ノ保險金額ヲ得

ル點ヲ見ルトキハ賭事ト選フ所ナシ故ニ更ニ二者ヲ區別スル爲メ被保險者ノ之  
 ヲ得ルニハ被保險利益アリ賭者ノ之ヲ得ルニハ此ノ如キ利益ナシト云フヲ以テ  
 ス

保險ハ多數人ノ資産ヲ集メテ少數者ノ損害ヲ填補スルモノナリ一人カ他人ノ損  
 害ヲ填補スルコトハ保險ニ非ス或人カ損害ヲ蒙ルトキ他人カ之ヲ填補セント  
 スル契約ハ有效ナリ然レトモ條件附ノ贈與又ハ有償ノ無名契約ニシテ保險ニ非  
 ス主債務者カ債務ヲ辨濟セサル場合ニ他人カ之ヲ辨濟セントスル契約ハ保證ニ  
 シテ保險ニ非ス或學者ハ保證ハ自己カ主債務者ノ資力ヲ擔保シタルモノニシテ  
 自己ノ責任ヲ盡スモノナルカ故ニ保險ニ非ス保險ハ自己ニ何等ノ責任ナクシテ  
 金額ヲ支拂フモノナリト云ヘトモ保險ニモ責任保險雇人保證保險アルヲ以テ此  
 ノ如キ言ハ區別ノ標準ト爲ラス寧ロ大體ノ制度ヨリ觀察スルヲ可トス運送人カ  
 運送ニ關シテ生スル一切ノ損害ヲ填補シ物ノ賣主カ賣買ノ目的物ヨリ生スル損  
 害ヲ填補シ雇傭仲立人カ雇人ノ信用ヲ擔保スルハ保險ニ存スル原素ト同一ノ原  
 素ヲ包含スルモ保險ノ主意ヲ以テ爲スニ非スシテ他ノ行爲中ニ包含セシムルカ  
 故ニ亦保險ト異ナレリ此點ヲ明カニスル爲メ保險ハ獨立行爲トシテ爲スモノナ

リ他ノ行爲ニ附隨スルニ非スト云フコトアリ船舶業者カ年々船舶ノ減價額ヲ積立テ機械業者カ機械ノ消耗積立金ヲ爲ス場合ニ之ヲ自己保險ト云フコトアルモ素ヨリ商法ニ規定スル保險ニ非ス商法ノ規定ヲ説明スルニ先チ公法及ヒ經濟財政等ニ關係アル最近ノ問題數個ヲ説明スヘシ

### 保險ノ國營

保險業ハ國家ノ公益ニ關スル所大ナルヲ以テ其經營者ノ如何ニ關シテ屢議論ヲ生ス而シテ之ヲ國營トスヘシトイフ者アリ夫ニハ單ニ公益ノ點ヨリイフ者アリ又國家ノ收入ヲ増ス方法トシテイフ者アリ二個ノ目的ヲ合セイフモノアリ現今佛國ニ於テ保險國營論ヲ生セリ元來佛國ニテハ英米獨ト異ナリテ相互保險極メテ稀ニシテ殆ト悉ク營業保險ナリ株式會社ニテ經營シ而シテ其利益ハ極メテ大ナリ佛人ハ保險程利益ノ多キモノナシト信スル程ナリ政府ハ之ニ重稅ヲ課スレハ會社ハ保險料ヲ引上ケテ其利益ヲ維持スルヲ以テ結局被保險者タル多數民ニ課稅スルニ等シキ結果アリ之ニ關聯シテ保險國營ノ議論ヲ生ス政府ハ先ツ農業保險殊ニ家畜保險ニ關シテ

之ヲ試ミ全國ニ七千九百ノ農業保險組合ヲ受ケテ之ヲ統一セントシタリシモ其規模小ナリトノ理由ニテ排斥セラレタリ更ニ試ミタルハ再保險ノ方法ニヨリテ保險ヲ統一セントシタリシコトナリ農業保險ハ勿論火災保險ニ關シテモ之ヲ設ケ全國ノ農業又ハ火災ノ保險會社ヲシテ官營保險所ニ再保險ヲ附セシムルコトナリ此案ハ一部ノ者ノ歡迎スル所ト爲リシモ保險營業者ハ自己ノ利益ヲ減殺セラルトシテ反對シ今ヤ保險國營論ハ佛國ニテ議論中ナリ而シテ他ノ國ニモ佛國ニ類スル議論アリ獨逸ニハ勞働保險ニ關シテ國營說ヲ唱フル者多シ英國ニテハ海上保險ノ國家補償ニ關シテ問題ヲ生シタルコトアリ保險ノ國營トイフヨリモ或海上ノ戰爭危險ニ對シテハ普通ノ保險會社ヲシテ損害ヲ補償セシメス國家自ラ補償スヘキカノ問題ナリ序手ニ茲ニ述フヘシ英國ニテハ英杜米西ノ戰爭ニ關シ海戰危險ノ屢生スルヲ見又英國海軍力ハ果シテ戰爭中ニ於ケル英國商船ヲ克ク保護シ得ルヤノ問題ヲ研究シ海戰起リタル場合ニ近世ノ戰爭ノ災害ノ及フ所大ニシテ戰術ノ進步ハ一災害ノ結果ヲ頗ル大ナラシムルヲ以テ保險者ハ將來ニハ戰爭危險ヲ引受ケサラン而カスルトキハ船主モ貨主モ恐レテ海商ヲ爲サ、ルニ至リ英國國民ノ食料ハ來ラスシテ國民一般ニ生



活ニ苦シムヘク又船主ハ船籍ヲ他國ニ移スニ至ラン之ヲ防クニハ此際國家カ保  
險ヲ爲スヘシ即チ戰爭保險ヲ經營スヘシトイフナリ此點ヲ研究セシムル爲メ英  
國ハ既ニ明治三十七年頃ニ調査委員會ヲ設立シ國營保險ニ關シテ調査セシメタ  
リシニ委員會ハ左ノ如キ原案ヲ提出セリ

一 政府ハ英國ノ船主若クハ其商人ニ對シ戰爭危險ニ對スル保險ノ費用ヲ支  
出スヘシ

二 政府ハ戰爭危險ニ對シテ保險者ノ地位ニ立チテ船主竝ニ貨主ニ對スル保  
險ヲ爲スヘシ但其保險料ハ手数料主義ニ從ヒ何等ノ利益ヲ博スルコトナカ  
ルヘシ

三 政府ハ戰爭中船主竝ニ貨主ノ船舶ハ捕獲セラレタルトキハ之カ爲メニ生  
シタル一部又ハ全部ノ損失ニ對シテ賠償ノ實ニ任スヘシ

此原案ニハ反對アリ委員會モ亦國營保險ヲ良制ト認メサリキ  
次テ委員會ハ第二ノ提案トシテ國家補償案ヲ出シタリ左ノ如シ

一 政府ハ實際ニ被ムリタル損害ヲ補償ス  
實損ヲ補償スルノミナルヲ以テ國營保險ニ比シテ大ニ經濟的ナリ

二 損害ニ對スル補償金ハ一般ニ消費者階級ノ負擔トナラスシテ租稅納入者  
ノ負擔ニ歸スヘキヲ以テ戰爭ノ損害ニ對スル補償トシテハ最モ公平ナリ

三 輸入セラル、貨物ノ價格ニハ戰爭保險料ヲ包含セサルヲ以テ其價格ノ騰  
貴ヲ防遏スルコトヲ得ヘシ

四 輸出貨物ニ就テモ國營保險ニヨルトキハ之ニ戰爭保險ヲ附スルカ故ニ從  
テ其價格ヲ騰貴シ爲メニ英國ノ輸出貿易ヲ阻害スト雖モ國家補償ノ場合ニ  
アリテハ毫モ此患ナシ

五 戰爭中ト雖モ英國船舶カ中立國ニ船籍ヲ移スカ如キ誘引ナシ  
此國家補償論ニ對シテ左ノ如キ反對ヲ生シタリ

一 國家補償ハ戰爭危險ニ對スル普通保險ニ比シ決シテ經濟的ナラス船主ハ  
戰爭危險ニ對シテハ相互保險ニ依リテ救済スルノ途アルヲ以テ特ニ高率ナ  
ル保險料ヲ徴セラル、ノ必要ナシ

二 政府ハ海上保險ニ關スル専門的知識ニ缺如セルヲ以テ詐僞ノ手段ニ陷リ  
易キ處アリ

三 政府ハ左ノ如キ行政上ノ困難ニ遭遇スルノ處アリ

(一) 海難ト戦争危険トノ分界ヲ割スルニ困難ナルコト  
 (二) 手續ノ煩雜ニシテ且處分ノ緩漫ナルコト  
 (三) 船舶評價ノ困難ナルコト  
 (四) 戦争ニシテ萬一英國ノ不利ニ歸センニハ國家補償ハ少クトモ其供給品ニ付テハ之ヲ實行スルニ困難ナルコト

委員會ハ此ノ如キ双方ノ理由ヲ述ヘ國家補償ヲ可トスヘキカ否カヲ明白ニ斷言セサルヲ以テ大藏卿ハ更ニ委員會ニ對シ(一)國家ハ戰時敵船ノ爲メニ捕獲セラレ因リテ生シタル損害ヲ船主及ヒ商人ニ補償スルヲ可トスルカ(二)若シ可トセハ其補償ハ全然無償トスルカ或ハ之ニ對シテ保險料ヲ徵收スヘキカ(三)補償ヲ與フルニ於テハ其條件ヲ如何ニスヘキカ又實行方法如何ト諮問シタルニ委員會ハ左ノ確答ヲ爲シタリ

當委員等ハ諸種ノ調査報告若クハ糧食供給ニ關スル過去ノ記録ニ徴シテ考フルニ各提案各々之ヲ支持スルニ足ルノ證據ナキニ非ス

然レトモ當委員等ハ戰時敵船ノ捕獲ニ遭ヒタル船主並ニ商人ニ對シテ國家自ラ補償ノ責ニ當ルヲ不可トス

由是觀此英國ニテハ戦争ニ於ケル危険ノ國營保險ヲ不可トスルモノナリ之ヲ不可トスル理由多クアル中ニ消極的ノ理由トシテ國家カ此ノ如キコトヲ爲サ、ルモ普通ノ保險者ハ之ヲ爲スカ故ニ可ナリトノ點モアルナリ

### 保險公法(保險業法)

保險營業ハ社會ニ大影響ヲ及ホシ又保險ノ性質及ヒ外觀ハ賭博ニ似タル所アルヲ以テ保險ノ名ヲ濫用シテ詐欺ヲ爲ス者多シ之カ爲メニ多クノ被害者ヲ生シ延イテ一般保險ノ信用ヲ害シ遂ニ社會全體ニ害毒ヲ流スヲ以テ何レノ國モ之ヲ規律スル爲メ特別ノ法令ヲ出セリ保險ニ關スル私的關係ヲ慣習及ヒ特約ニ委スル時代ニモ事ノ公益ニ關スルモノ多シトシテ保險ノ爲メニ特別法令ヲ出スヲ常トシ保險私法ニ先チテ保險公法ヲ生スルヲ例トス獨リ我國ハ之ニ反シ先ツ商法ニ保險法ヲ規定シ次テ保險業法ヲ制定發布シタリ

保險公法ハ保險ニ關スル國家ト個人ノ關係ヲ規定スルモノナリ數多ノ法令ナルコトアリ一括セル特別法ナルコトアリ又商法中ニ私法規定ニ次テ規定スルコトアリ我舊商現在ニ於ケル最良ノ保險公法ヲ我國獨逸及ヒ佛國ノ保險業法トシ(獨ハ一九〇一年佛ハ一九〇五年ノ法)此等ノ保險業法ヲ見ルトキハ保險公法ノ何タ

ルヲ悉知スルコトヲ得ヘシ尙ホ強制保險法勞働保險法等ノ生スルアラハ亦同シク保險公法中ニ入ルナリ

保險公法ノ制定ニ關シニ主義アリ一ハ放任主義ニシテ他ハ干涉主義ナリ放任主義ハ多大ノ事項ヲ人民ノ隨意ニ放任スルモノニシテ今此主義ヲ採ルハ和蘭及ヒ白耳義トシ次テ英國ナリ然レトモ英國ハ放任主義ノ弊ヲ見テ保險會社法ヲ發布シ商務院内ニ保險課ヲ設ケテ保險者ノ監督ヲ爲スニ至レリ干涉主義ハ保險營業ヲ人民ノ任意ニ委セスシテ官廳ノ許可ヲ必要トシ時々ノ検査ヲ爲シ報告ヲ爲サシメ或場合ニハ營業ノ停止又ハ會社ノ解散等ヲ嚴命スルモノナリ干涉主義ノ極端ニ至ルトキハ遂ニ保險ヲ人民ノ營業トスルヲ許サス國家自ラ保險業ヲ營ムコト、爲ルナリ第十六世紀ニ和蘭政府ハ生命保險ヲ營ミ第十七世紀ニ佛國路易大王ハ生命保險ヲ營ミ第十八世紀ニ英國カ之ヲ營ミタルコトアリテ現今我國ニモ生命保險ノ官營ヲ主張スル者アリ

干涉ノ最モ多クハ生命保險ニ關ス是レ一ハ生命ノ貴重ナルニ因リ又一ハ生命保險ノ當事者ニハ多數ノ愚民アリテ智巧者ノ乘スル所ト爲ルヲ以テナリ時トシテハ國家ハ或者ヲシテ必ス保險契約ヲ取結ハシム之ヲ強制保險ト稱ス獨逸ニ於テ

社會問題ヲ解決スルニ用ユルモノナリ勞働者其他ノ貧民ヲ強制シテ保險契約ヲ取結ハシメ或ハ保險料ノ金額ヲ支拂ハシメテ之ヲ賃金中ヨリ先取スルコトアリ或ハ被保險者ニハ其一部ヲ支拂ハシムルニ止メ殘額ハ雇主其他ノ資本家ヲシテ補足セシムルコトアリ或ハ國家カ之ヲ補足スルコトアリ弱者ヲ保護スル爲メニシテ主意ニ於テ善美ナリ然レトモ此制度ヲ採用スルニハ熟考ヲ要ス殊ニ被保險者ヲシテ保險料ノ金額ヲ支拂ハシムルモノニ於テ然リ財產ハ各人ノ隨意ニ處分シ得ルモノトシ此點ニ於テ富者ノ財者ト貧者ノ財產ニ區別ナケレハナリ

今ハ多クノ國ニハ保險公法ヲ規定シ我國ノ保險業法獨逸ノ一九〇一年ノ保險監督法ノ如シ單ニ營業保險ノミヲ規定スルモノアレハ相互保險ヲモ規定スルモノアリ又單ニ生命保險ノミヲ規定スルモノアレハ生命保險ノ外ニ火災及ヒ海上ノ保險ヲモ規定スルモノアリ其他ノ多クノ保險ヲ規定シ一般ノ保險ニ共通ノ規定ヲ設クルモノモアリ

佛國ハ一九〇五年保險監督法ヲ發布シタリ此法律ヲ作ルニ當リテハ大ニ獨逸ノ保險監督法及ヒ埃國保險監督法草案ヲ參照シタリ或點ニ於テ異ナルモ同時ニ大ニ類スル點モアリ今佛法ノ特色ヲ示サンニ此法ハ生命保險及ヒ之ト類似スル生

命ノ存續ニ關係セル保險事業ニノミ適用セラレ即チ廣意ノ生命保險ノミノ監督法ナリ而モ營業保險ニ限ルヲ以テ狹隘ナリトノ非難ヲ免カレス保險營業ヲ爲サントスルニハ營業ノ許可ヲ得ルヲ要シ之ニハ一定ノ條件ヲ要シ之ヲ欠クトキハ商務大臣ハ許可ヲ與ヘス而シテ許可ノ申請アリタルトキハ大臣ハ六ヶ月以内ニ許否ニ關シテ何等カノ意思表示ヲ要スヘキモノトス而シテ保險ニ關シテハ顧問會ヲ設クヘク會ハ四人ノ保險學者ト十七人ノ實務家ヲ以テ組織スヘキモノトス此點ニ於テハ獨逸ニ優レリト評スル者多シ

保險ニハ干涉主義ヲ可トス保險ハ公益ニ直接ノ關係アルヲ以テ私人ノ隨意經營ニ放任スヘカラス之ヲ營ムニハ必ス相當ノ資格ヲ有シ且一定ノ手續ヲ經セシムヘシ而シテ個人ノ經營ト爲スヲ許サス法人タリトモ合名會社合資會社等ニハ不可トシ必ス株式會社タラシムルカ然ラスンハ營利ヲ目的トセサル相互會社タラシムヘシ而シテ之ヲ設立シテ事業ヲ開始スルニハ官ノ免許ヲ得セシメ事業中ニハ絶ヘス監督ヲ受ケシメ又公秩ニ反スル行爲ヲ爲ストキハ免許ヲ取消シ或ハ解散ヲ命スヘシ保險業法ナル特別ノ行政法ヲ發布スルハ之カ爲メナリ我國及ヒ獨逸ノ如シ

茲ニ困難ナルコトハ民間ニシテ保險類似ノ行爲ヲ爲シ例ハ一ノ團體ヲ作りテ多クノ會員ヲ募集シ會員中出產又ハ死亡スル者アル場合ニ會員ヨリ釀出セル金額ノ一部ヲ其者ニ與ヘ他ノ一部ハ團體ノ所得トシ團體全部ノ利益ナリト稱シテ其中ノ重ナル者之ヲ利スルニアリ此ノ如キ者ハ公共上撲滅セサルヘカラス其中ノ或モノハ詐僞的行爲其他ノ名稱ニテ所罰シ或モノハ保險類似ノ行爲トシ保險業法違反トシテ解散ヲ命シ得ルモ或モノハ如何トモスルヲ得サルコトアリ而シテ彼等ノ行爲ヲ保險類似ノ行爲トイヒ得ルヤ否ヤ又進ンテ保險行爲トハ如何ナルモノナルカニ關シテハ裁判所ト行政官廳ト意見ヲ異ニスルコトアリ一層處分ニ苦シムコトアリ素ヨリ保險ノ正確ナル意義ニ關シテハ保險業法ト商法トハ成ヘク同一ニ解セサルヘカラス又行政上ノ目的ニ於テスルト司法上ノ目的ニ於テスルヲ問ハス同一ニ解セサルヘカラス然レトモ保險類似ノ行爲ト見テ所罰スル上ニテハ多少ノ伸縮スル所アリテ可ナリ類似ノ行爲ヲ爲シテ公益ヲ害スル者ヲ所罰シ團體ヲ解散セシムルニ當リテハ類似ヲ廣ク解シテ弊害ヲ防クヘシ此レ聽テ保險業法ノ精神ニ協フモノトス

國家ハ保險業法ニ依ラスシテ保險業ニ類似スル行爲ヲ爲ス團體ニ解散ヲ命スル

コトヲ得又保險業法ニ依リテ營業ヲ爲スモ公秩ニ反スル行爲ヲ爲ストキハ解散ヲ命スルヲ得各其例ヲ示スヘシ  
 保險業ヲ營ムニハ株式會社ニシテ十萬圓以上ノ資本ヲ有シ主務官廳ノ免許ヲ受クルヲ要ス然ルニ一萬圓ノ資本ヲ有スル民法上ノ法人カ會員ヨリ一定ノ金額ヲ齎出セシメ其死亡ニ際シテ一定ノ金額ヲ給付スルニハ保險法ノ精神ニ反ス故ニ解散セラルヘキモノトス東京控訴院ハ此主義ニ基キ或民法上ノ法人ニ解散ヲ命シタリ(東控三八年二月)

抗告會社ノ目的ハ將來ニ於テ偶然ニ發生スルコトアルヘキ人ノ生存中ノ事故及ヒ死亡ナル事故ノ會員中ニ發生シタル場合ニ會員中ヨリ一定ノ金錢ヲ齎出セシメ其一部ヲ事故發生者ニ給與シ會社ハ其中間ニ在リテ其一部ヲ利得スルモノニシテ保險營業ニ少クトモ類似スル者タリ故ニ抗告會社ノ目的ハ保險業法ノ保險業ヲ營ムニハ資本金十萬圓以上ノ株式會社ニシテ主務官廳ノ免許ヲ受クヘク又特別ナル監督ノ下ニ營業ヲ爲スヘキ法規ノ精神ト相容レヌ  
 從テ抗告會社カ資本金一萬圓ニ過キサル民法上ノ法人ニシテ前顯ノ如ク保險營業類似ト認ムヘキ業務ヲ營ムコトヲ目的トシ其營業ヲ開始セルハ公ケノ秩

序ニ反スルモノト認メサルヲ得ス……故ニ民法第三五條第二項商法第四八條ニ依リ抗告會社ノ解散ヲ命スルヲ相當トス

次ニ裁判所カ保險業法ニ基キ保險ヲ業トスル株式會社ニ解散ヲ命シタル例ヲ示サン

大阪地方裁判所カ大阪生命保險株式會社ニ對シテ下シタル決定ナリ(大地三八年二月)

大阪生命保險株式會社カ業務紊亂損失多大ニシテ財産上ノ基礎ノ危殆ニ瀕シタル事前述ノ如ク又主務官廳商發第二一一號第三號乃至第十一號ニ違反シタルコト亦前述ノ如シ而シテ右命令ハ即チ保險業法第百八條及ヒ同第十一條ニ基キ保險契約者被保險者及ヒ保險金額ヲ受取ルヘキモノ、權利保護ニ必要ナルモノナルコト又言ヲ俟タサルモノナレハ之カ遵守ハ右會社ノ業務改善ニ向テ僅カニ一脈ノ希望ヲ屬セシムルモノニ過キス然ルニ會社ハ右命令ニ違反スルコト上述ノ如クナル以上ハ將來ニ於テ右會社カ保險營業ヲ繼續シ得ル事ハ到底望ミ得ヘカラサルモノト云ハサルヘカラス若シ依然之ヲ放置シ荏苒歲月ヲ涉ルコトアラハ數萬ノ保險契約者ヲシテ遂ニ救済スヘカラサル損失ノ深淵

ニ陥ラシムルノミナラス惹イテ一般保險營業者ノ信用發展ヲ傷ケ其患害ノ及  
フ所將ニ測ラレサラントス是當裁判所カ保險業法第一百五條ニ基キ主文ノ決定  
ヲ爲ス所以ナリトス

此解散決定ハ保險業法ニ基キテ爲シタルナリ專ラ保險ノ方面ヨリ觀察シタレト  
モ同時ニ商法ノ會社編ヨリ觀察スルモ解散ヲ命スルコトヲ得此會社ノ爲シタル  
行爲ハ公秩ニ反スル行爲トイフヲ得レハナリ  
序テニ解散彼ノ保險金額ノ支拂ニ關シテ一言セン保險會社カ營業免許ノ取消ニ  
依リ解散シタルトキハ危險カ其解散ノ時ヨリ一ヶ月内ニ生シタルトキニ限り保  
險金ヲ支拂フヲ要ス保險會社カ解散シタルトキハ會社ハ既ニ消滅スルヲ以テ其  
後ニ危險ハ發生スルモ會社ニ支拂義務ナキ理ナルモ此理ヲ貫クトキハ被保險者  
ハ自己ニ責ナキ解散ニ因リテ損害ヲ蒙ムルコト大ナリ故ニ會社ヲシテ其解散後  
ノ危險發生ニ際シテ保險金ヲ支拂ハシムルナリ然レトモ解散後何年間モ之ヲ負  
ハシムルトキハ際限ナク殆ト請負ヲ結了シ得サルヲ以テ之ヲ一ヶ月ニ限定シタ  
ルナリ

此一ヶ月ノ期間ハ民法期間ノ計算ニ關スル一般規定ニヨリテ計算ス或ハ保險業

法ハ公法ナリ民法商法ハ私法ナリ故ニ保險業法ニ規定スル期間ノ計算ニ民法ヲ  
適用スルヲ得ストイフ者アランモ保險業法モ孤立シテ適用スルヲ要スルニ非ス  
必ス民法商法ト關聯シテ適用スヘク商法ノ保險ノ規定ト相俟テ適用スヘキハ  
當然トシ又商法ノ規定ヲモ適用スヘキモノトス之ニ關スル判決アリ大阪地方裁  
判所ノ判決ナリ(大地四二年)

相互保險會社カ營業免許ノ取消ニ依リ解散シタルトキハ危險カ其解散ノ時ヨ  
リ一ヶ月内ニ生シタルトキニ限り保險金ヲ支拂フコトヲ要スルハ保險業法第  
七十八條ニ規定スル所ニシテ同條ハ同法第二十四條ニ依リ株式組織ノ保險會  
社ニ準用セラル、モノトス(中略)

保險業法ハ國家カ保險事業ノ監督ノ爲メニ設ケラレタル法規ナリト雖モ被告  
ノ論スルカ如ク悉ク公法的規定ノミニアラスシテ幾多ノ私法的規定ヲ包含ス  
ルモノトス

同條第七十八條ハ保險會社カ營業免許ノ取消ニ依リ解散シタル場合ニ於テ會  
社カ制限ナク保險契約ニ依リテ負擔シタル損害ヲ填補スヘキモノトスルトキ  
ハ速カニ清算ヲ爲スコトヲ得ス又解散ト共ニ直チニ其填補義務ヲ免カル、モ

ノトスルトキハ被保險者カ更ニ他ノ保險會社ト漸ニ保險契約ヲ締結スルマテ其被保險利益ニ對スル危險ハ擔保セラレサルコト、爲リ被保險者ノ利益ヲ害スルカ故ニ被保險者ニ他ノ保險會社ニ新ニ保險契約ヲ締結セシムル餘地ヲ與フルカ爲メ解散ノ時ヨリ尙一ヶ月内ハ會社ニ危險ヲ負擔セシムル趣旨ニ出テタルモノナリ

要スルニ同條ハ解散ノ時ヲ起點トシテ保險會社ト被保險者間ノ權利義務ノ限界ヲ定メタルニ過キスシテ國權トハ何等ノ交渉ナキカ故ニ一ノ私法的規定ト解スルノ外ナク從テ同條ニ定メタル一ヶ月ノ期間ハ民法第四百一一條以下ノ規定ニ從ヒ計算スヘキモノトス

同主意ノ判決ハ東京地方裁判所ノ四三年六月ノ判決ニモ顯ハレ即チ保險會社カ營業免許ヲ取消サレタルトキハ之ニヨリテ解散スルモノニシテ右ノ事由ニヨリテ解散シタルトキハ保險金額ヲ支拂フヘキ事由カ解散ノ時ヨリ一ヶ月内ニ生シタルトキニ限り保險金額ヲ支拂フコトヲ要シ其以後ニ生シタル場合ニ於テハ保險金額ヲ支拂フ義務ヲ有セサルコトハ明治三三年法律第六十九號保險業法第二十一條第七十八條第一項ノ規定ニ照シテ明カナリ而シテ本件被保險物カ火災ニ

罹リテ燒失シタルハ何レモ前記會社カ解散シタル時ヨリ一ヶ月後ナルコトヲ認ムルニ足ルヲ以テ前記會社ハ原告ニ對シ保險金額支拂ノ義務ナキモノトストイヘリ

大審院亦左ノ如キ判決ヲ下セリ(大四三年一〇月)

保險業法第二十四條第七十八條ハ保險會社カ同條所掲ノ事由ニ因リ解散シタル以後ニ於ケル同會社ノ被保險人ニ對スル保險金支拂ノ債務即チ保險契約當事者間ノ私法的關係ニ付テノ特別規定ナルコト明文上疑ヲ容レサルヲ以テ右第七十八條所定ノ期間ハ民法規定ノ適用ヲ受クルハ固ヨリ當然ニシテ原判決カ右一ヶ月ノ期間ハ民法第四百十條第四百十三條ノ規定ニ從ヒ之ヲ算スヘキモノト斷定シタルハ相當ナリ

### 保險會社ノ資本

我保險業法ハ保險會社ノ資本ハ十萬圓以上タルヘシトセリ一般ノ會社ニ資本額ヲ制限スルノ可否ニ關シテハ議論アリ之ヲ或額以上トスヘシトイフ者ハ會社ハ比較的大事業ヲ爲ス際ニ設定スルニ資本ノ最少限度ナキトキハ小事業ニシテ一個人ニテ爲シ得ルコトニモ會社事業ト爲スカ故ニ不可ナリ資本ヲ大ナラシメサ

ルトキハ小資本ノ會社叢起シ相競争シテ斃ルヘシ又小資本ナルトキハ設立者加入者利害關係人トモニ眞面目ト爲ラサルヘシトイヒ之ニ對シテハ一々反對論アリ我國ハ無制限主義ヲトリ唯一株ノ金額ハ二十圓ヲ下ルヲ得ストシ株主ハ七人以上タルヘシトスルヲ以テ自ラ百四十圓ヨリ少ナキ資本ノ會社ヲ設立シ得サルノミ

一般ノ會社ニ關シテ然リトスルモ特別ノ會社ニ關シテハ特ニ制限ヲ設クルコトアリ保險會社ハ其一例ナリ而シテ我國ハ一律ニ凡テノ保險會社ニヨリテ最少限度ヲ十萬圓トシタルモ他國ニハ保險ノ種類ニ依リテ區別スルモノアリ學者亦其然ルヲイヘリ大凡標準トスル所ハ統計ノ進歩シ損害率ノ計算シ易キモノニアリテハ資本ハ少ナルモ可ナリトシ然ラサルモノニハ大ナラシムヘシ損害ノ計算シ易キモノニハ會社ハ能ク豫メ之ニ應スル保險料ヲ蒐集シ損害ノ生シタル際其豫メ積立テタル金錢ニテ支拂ヒ殆ト資本タル資産ニ據ル必要ナキモ計算シ難キモノニテハ不測ノ損害起リ積立テタル保險料ニテハ足ラス不得已資本タル資産ニ據ル必要ヲ生スルコト多ケレハナリトイヘリ何カ計算シ易ク又難キモノナルカハ人ニ依リ見ル所ヲ異ニスルモ生命保險ニハ計算方法大ニ發達シタルヲ以テ今

ヤ尤モ損害ヲ豫測シ易シトイフニハ異論ナキ如シ海上保險ニアリテハ困難ナリトイフ者アレハ性質上困難ナレトモ尤モ早ク發達シ又萬國のニシテ其經驗ハ廣大ナルヲ以テ實際ニ困難ナシ火災保險ト同程度ニアリトイフ者アリ其他ノ保險ニ關シテハ多ク議論アリ今石川高商教授ノ舉クル所ニ從ヒ米澳二國ノ例ヲ示スヘシ

米國ノ例ヲ示スヘシ

火災保險ニアリテハ株式會社ナレハ紐育市等ニテハ二十萬弗以上他地方ニテハ五萬弗以上トシ相互會社ナレハ紐育市等ニテハ二十萬弗以上ノ基金ト四百件以上ノ契約ヲ要シ他地方ニテハ十萬弗以上ノ基金ト二百件以上ノ契約ヲ要ス

海上保險ニアリテハ株式會社ナレハ紐育市等ニテハ十五萬弗以上他地方ニテハ五萬弗以上トシ相互會社ナレハ紐育市等ニテハ三十萬弗以上ノ基金ト四百件以上ノ契約ト三十萬弗以上ノ保險料收入ヲ要シ他地方ニテハ基金ハ同シク三十萬弗以上ニシテ契約ノ數ハ何程ニテモ可トシ保險料ノ收入ハ十萬弗以上トス



生命ニアリテハ凡テ十萬弗以上ノ資本ヲ有スルヲ要ス

埃國ノ例ヲ示スヘシ

株式會社ハ其營ム保險三種マテナレハ三十萬グルデン以上ノ資本金ヲ要シ以上種類ヲ加フル毎ニ十萬グルデン以上ノ資本金ヲ加フルコトヲ要ス

相互會社ニシテ生命保險ヲ行ハントスルモノハ二萬グルデン以上ノ拂込基本ヲ要ス他ノ保險ニ關シテハ別ニ定ムル基金ヲ要ス

即チ米國ハ生命保險會社ノ資本ハ火災又ハ海上ノ保險ニ於ケルヨリモ小資本ニテ可トセリ

保險會社ノ資本ニ付キ法律ニ其最少限ヲ設クルコト殆ト何國モ等シキモ其拂込ニ關シテハ差アリ設立開業ノ場合ノ拂込ニ關シテモ差アレハ資本増加ノ場合ノ拂込ニ關シテモ差アリ其主義ヲ三種ニ分ツコトヲ得

普通會社ヨリ寬ニスルモノ 普通會社ニハ設立ノ際ニ株金ノ四分一ヲ拂込マシメ資本増加ノ場合ニハ必ス從來ノ株式ヲ全額拂込マシムルニ保險會社ニアリテ全額拂込ヲ爲サストモ増資シ得トスルモノ 我國ハ此主義ナリ(保險業法二〇條) 此主義ノ理由トスル所ハ普通ノ會社ニアリテハ資本ハ營業資本ニシテ會社カ

事業ヲ開始スルニハ鐵道ヲ敷設スルトカ船舶ヲ購入スルトカ機械ヲ作製スルトカノ資金ヲ要シ之ヲ固定ナラシメ又之カ維持費トシテ常ニ巨額ノ資金ヲ要ス故ニ必ス一部ノ拂込ヲ爲サシメ又資本ヲ増シテ事業ヲ盛大ナラシムルニハ眞ニ現在ノ資本ニテハ足ラス全額ヲ拂込ムモ尙足ラサルコトヲ明ラカニスルヲ要ス之ニ反シテ保險會社ニアリテハ其資本ハ擔保資本ナリ損害ノ生シテ保險料ノ積立金ニテ足ラサル場合ニ據ル所アラシムルニ過キス若シ損害率ノ計算正確ト爲リ損害ハ豫定數起ルノミト爲ルトキハ殆ト資本ノ要ナキ程ナリ故ニ設立ノ際ハ創業費其他ノ費用トシテ四分一ノ拂込ヲ要シ又株主ヲシテ資本ノ負擔者タル意ヲ實現セシムル爲メニ拂込ヲ要スルモ決シテ全額ノ拂込ヲ要セス況ンヤ増資ノ際ニ於テオヤ増資ハ營業ヲ大ナラシムル爲メナルモ資本ハ擔保性ヲ有スルコト維然タルヲ以テ實際ノ拂込ヲ要セス從來ノ株式ノ拂込ヲ四分一ノマヽニ存シテ増資スルモ可ナルナリ唯増資ノ際ニハ若干ノ費用ヲ要スルハ通常ナルヲ以テ新株ニ付キ四分一拂込ヲ爲サシムルノミ尙株主ヲシテ資本ノ負擔者ナル意ヲ實現セシムル意モアルナリ舊株主ニテ全額ヲ引受ケタル場合ニモ此意ヲ更ニ實現セシムル事アレハ新株主カ應募スル際ニハ一層此

要アルナリ  
 普通會社ト同一ニスルモノ 此點ニ關シテハ保險會社ト普通會社トヲ區別スル  
 要ナシトイフナリ  
 普通會社ヨリ嚴ニスルモノ 普通會社ニアリテハ四分一拂込ヲ以テ會社ヲ成立  
 セシメ且事業ヲ開始スルコトヲ得セシムルモ保險會社ニアリテハ初メヨリ金額  
 ヲ拂込マシムルモノ 英國ノ如シ

此主義ノ理由トスル所ハ保險ニアリテハ國家ハ大ニ被保險者ヲ保護シ彼等ヲ  
 シテ必ス保險金額ヲ得セシメサルヘカラス之カ爲メニ保險會社ヲシテ資本ヲ  
 備ヘシムルナリ若シ保險金額ニシテ保險料ヨリ支拂フコトヲ得ルニ必スレハ  
 保險會社ニハ資本ヲ要セサルヘシ又四分一拂込ニテ足ルトセハ四分三ノ資本  
 ヲ要セサルヘシ反對論者ハ保險會社ノ資本ハ擔保資本ナルヲ以テ四分三ハ拂  
 込マストモ可ナリ萬一會社ニ現存スル財産ニシテ不足ナルトキハ其際ニ拂込  
 マシムレハ足レリ拂込マストモ會社ノ財産ナリ唯實現シテ現存財産ト爲ラサ  
 ルノミトイフモ之ニテ満足スヘカラス若シ株主ニシテ會社ノ催告ニ應シテ直  
 チニ拂込メハ可ナルモ實際ニハ拂込ヲ遅延スルハ通常ナリ殊ニ會社ノ現存財

産カ不足シタリトテ拂込ヲ催告スル場合ノ如キ悲況ニアリテハ一層拂込ヲ躊  
 躇スヘシ又往々到底拂込ヲ爲ササルモノヲ生スヘシ故ニ初メヨリ悉ク拂込マ  
 シメ會社ハ有利ノ方法ヲ以テ保管スレハ可ナリトイフニアリ  
 佛國ハ稍此最後ノ主義ヲ加味セリ即チ原則トシテハ四分一拂込ヲ以テ足ルトシ  
 二十萬法未滿ノ會社ニアリテハ最初ヨリ五萬法ノ拂込ヲ爲サシム

### 保險會社ト供託

保險ニアリテハ被保險者ヲシテ必ス保險金額ヲ得セシメサルヘカラス之ヲ確保  
 スル爲メ國家ハ保險會社ヲシテ豫メ擔保ヲ供セシムルコトアリ終極ノ目的ハ被  
 保險者ヲシテ安全ニ保險金ヲ得セシムルニアルモ亦同時ニ之ニヨリテ國家カ保  
 險會社ヲ監督スル方法ト爲リ更ニ適リ無資力者ヲシテ冒險ニ保險會社ヲ設立ス  
 ルコト勿ラシム  
 供託ハ金錢ヲ以テ爲サシムルヲ尤モ可トスルモ之ニ限ルハ酷ナリトシ何レノ國  
 モ其以外ノモノヲ認ム國債證券ヲ認ムルモノ凡テノ公債ヲ認ムルモノ確實ナル  
 會社ヲ指定シテ其社債ヲ認ムルモノ株券ヲモ認ムルモノアリ或ハ土地ヲ抵當ト  
 シテ有スル普通ノ債權ヲモ認ムルモノアリ其額ニ關シテハ資本額ニ依ルモノ保

險會社ノ負擔額ニ依ルモノ豫メ一定セスシテ任意ニ定ムルモノ等アリ  
 保險會社ヲシテ擔保ヲ供託セシムル理由ハ上述ノ如クナルモ此理由ニテハ擔保  
 ヲ供託セシムル必要ナシトシ普通ノ監督方法ニテ十分ナリトシ一切擔保ヲ供セ  
 シメサルモノアリ内國會社ニハ必要ナシトシ外國會社ニノミ供セシムルモアリ  
 其中ニハ或種類ノ保險會社ニ限リテ内外共ニ必要トスルモアレハ或外國會社ニ  
 ノミ必要トスルモアリ此點極メテ區々タリ  
 全ク擔保ノ必要ナシトスルモノハ葡萄牙ノ如シ  
 外國會社ニ必要トスルモノ

我國ハ此主義ナリ 主務官廳ノ認可セル有價證券ニテ納入スルヲ必要トス此  
 供託物ニ關シ日本ニ於ケル一般債權者ハ其社ノ社員及ヒ外國ニ於ケル債權者  
 ニ對シ優先權ヲ有ス、日本ニ於ケル保險契約者、被保險者及ヒ保險金ヲ受取ルヘ  
 キ者又ハ外國相互會社ノ社員ハ之ニ次テ優先權ヲ有ス  
 伊太利モ此主義ナリ 外國生命保險會社ニシテ資金保險ヲ行フ者ニハ毎年其  
 收入保險料ノ半額ヲ現金ニテ供託セシメ政府ハ之ニ對シ利子ヲ支拂ヒ其利子  
 ノ半額ヲ亦供託セシム年金額保險ヲ行フ者ヲシテ亦之ニ相應スル金額ヲ供託セ

シム

米國紐育洲ニテハ外國ノ海上保險會社ヲシテ二十萬弗ヲ供託セシム  
 内國會社ニモ必要トスルモノ

瑞西ハ内外何レノ會社ニテモ生命保險ヲ行フトキハ十萬法ヲ供託セシム  
 英國ハ一八七〇年ノ法ニヨリ其以後ニ設立スル生命保險會社ヲシテ二萬磅ヲ  
 供託セシム

西班牙ハ内國ノ生命保險會社ヲシテ年々前年度ノ收入保險料ノ二割ヲ供託セ  
 シメ百「ベスタ」ニ至リテ止ム

現在ノ統計ニヨルトキハ内外會社ヲシテ共ニ擔保ヲ供託セシムルモノヲ多トシ  
 外國會社ノミヲシテ供託セシムルモノヲ少トシ一切供託セシメサルモノハ極メ  
 テ稀ナリ又一旦供託セシムルトキハ必ス永久ニ繼續セシムルハ通常ナルモ稀ニ  
 ハ或時機ニ至リテ返戻スルモノアリ例ハ英國ニテハ生命保險會社ノ責任準備金  
 カ蓄積シテ四萬磅ニ至ルトキハ先キニ供託セル貳萬磅ヲ返戻スル如シ

### 保險ト税法

保險ハ保險業法タル公法ニ尤モ密接多大ノ關係ヲ有スルモ其他ノ法令ニモ關係

ヲ有ス税法ノ如シ保險營業者ニハ一般ノ營業稅ノ一例トシテ課スルモノアリ又保險營業者ニ限リテノミ課スルモノアリ

營業者ニ營業稅ヲ課スルニ當リテハ各種ノ積立金ヲモ課稅標準ノ資本額ニ算入シ利益配當準備金ノ如キモ亦當然之ニ算入ス唯準備金若クハ積立金ノ名稱ヲ有スルモ所謂責任準備金ニシテ即チ保險料積立金及未經過保險料ハ例外トシテ算入セサルノミ之ニ關シテハ保險會社ト稅務官ノ間ニ爭ヲ生シ行政裁判所ハ左ノ如ク判定シタリ愛國生命保險株式會社對東京稅務監督局長間ノ爭ナリ(行政裁四三年)

營業稅法施行規則第五條ニハ「名義ノ何タルヲ問ハス各種ノ積立金額」トアリテ其積立ノ目的ニ依リ何等除外スルモノナケレハ本件利益配當準備金カ毎年會社ノ利益金ノ一部ヲ積立ツルモノナル以上ハ同條ニ所謂積立金額ト云ハサルヲ得ス而シテ同條ニ依リ營業稅課稅標準タル資本金額ノ計算ヨリ除算セラルヘキ保險責任準備金ハ保險業法ノ施行規則第十五條ニ所謂責任準備金即保險料積立金及未經過保險料ヲ指スモノナルヲ以テ利益金ノ一部ヲ積立テタル本件配當準備金ノ如キハ之ニ包含スルモノニ非ス故ニ稅務監督長カ營業稅課稅

標準タル資本金額ヲ算定スルニ際シ本件配當準備金ヲ控除セサルハ正當ナリトス

保險會社ハ又本件配當準備金ハ支拂備金ナリト主張スルモ保險業法施行規則第十四條ノ支拂備金ハ既ニ支拂フヘクシテ未タ支拂ハサル保險金額又ハ拂戻金若クハ既ニ生シタル事故ノ爲メニ支拂ヲ爲スヘキ義務アリト認ムル場合ニ其支拂ヲ爲スニ相當ナル金額ヲ積立ツルモノニシテ本件配當準備金ノ如キ將來ノ不確定支拂義務ノ爲メニ年々積立ツル金額ヲ謂フモノニ非ス

營業稅課稅標準ノ資本額中ニハ凡テノ積立金ヲ算入スルヲ原則トシ其積立金ハ積立金ナル名稱ヲ有スルト否トニ拘ハラス然レトモ積立金ノ名稱ヲ有セサルモノニアリテハ果シテ之ニ入ルヘキカ否カノ疑ヲ生スルコト多シ實際ニ爭ト爲リシハ未決算資本收入殘額ナリ資本殘額ハ施行規則ニ所謂積立金ノ性質ヲ有スルヤ否ヤノ爭ハ東京海上保險株式會社ト東京稅務監督局長トノ間ニ生シタルニ行政裁判所ハ這ハ積立金ナリト決シテ左ノ如クイヘリ(行政裁四三年)

保險會社カ事業年度毎ニ其帳簿ヲ閉鎖シ損益決算ヲ爲スヘキコトハ保險業法第九十二條ニ「保險會社ハ毎年一回一定ノ時期ニ於テ其帳簿ヲ閉鎖シ總會終結

ノ後遲滞ナク財産目錄貸借對照表、事業報告書、損益計算書ヲ主務官廳ニ提出スルコトヲ要スト規定セルニ依リテ明カナリ

而シテ保險會社ニ於テハ當該事業年度ノ資本收入殘額ハ各年度ノ損益計算ニ於テ決算セラレ次年度ニ繰越サルヘキモノナレハ營業税法施行規則第五條ニ所謂積立金ノ性質ヲ有スル資産金額ト看做スヘキモノナリ

此ノ如クシテ成ヘク課税標準ヲ大ナラシメントスルハ稍酷ナルモ法律ノ解釋トシテハ或ハ已ムヲ得サラシカ余ハ所謂資本收入殘額ナルモノ、法律上及經濟上ノ性質ヲ熟知セサルヲ以テ之ニ正確ノ評ヲ下スコトヲ得ス

保險ニハ何レノ國モ或特別ノ税ヲ課セリ之ニ關シテ普國ト佛國トハ異ナレリ普國ノ一八九五年ノ印紙税法ハ證券印紙ノ方法ヲ以テ保險契約ニ課税スルコトトシタリ契約調製後直チニ印紙ヲ貼付セシムルナリ保險金額ニ從ヒテ計算シ實際ノ保險料ノ支拂額ヲ顧ミス故ニ保險契約ノ締結後被保險者カ保險料ヲ支拂ハサル場合ニハ保險者ニ對シテ酷ナリ又契約ハ消滅スルカ存在スルモ保險金額ヲ減スル場合ニモ保險者ニ酷ナリ獨逸學者モ此點ニ關シテ普國法ヲ攻撃セリ同法ニヨルトキハ生命保險年金保險等ニ付テハ保險金額ノ二十分一「パーセント」災害

保險責任保險ニ付テハ二分一「パーセント」火災保險凶歲保險其他ノモノニアリテハ十分一「パーセント」ナリ

佛國ニアリテハ印紙税ト登録税トヲ併課ス保險者カ一年內ニ支拂ヲ得タル保險料ノ總額ヲ標準トシテ課税シ個々ノ契約ニ依ラス保險者ハ被保險者ノ負擔ニ於テ國家ニ納税シ被保險者トノ計算ヲ明カニスル爲メ特別ノ帳簿ヲ作り個々ノ契約各被保險者ヨリ受ケタル保險料各被保險者ヨリ徴收スヘキ税額等ヲ記載ス税額ハ印紙税ニアリテハ四千分ノ三乃至四トシ登録税ハ百分ノ八乃至十トス一八八四年ノ法律ニ仍ル火災保險ノ印紙税モ之ト同主意ナリ唯手續ニ稍煩雜ナル點アルノミ

此兩制度中佛國ヲ贊スル者多シ普法ニ據ルトキハ當事者カ現實ニ實行セサル部分ニ對シテモ課税セラルルモ佛法ニ據ルトキハ實行セラレタルモノヲ標準トシテ課税スレハナリ唯之カ爲メニ保險者ハ特別ノ帳簿ヲ備ヘ又被保險者トノ間ニ特別ノ計算ヲ爲スヲ要スルヲ以テ手續ノ上ニ煩ヲ増シ普國制ノ如ク簡ナラサル所アルハ已ムヲ得サルナリ

### 保險私法(保險契約法)

保險私法ハ保險ニ關スル個人間ノ關係ヲ規定スルモノナリ其最モ早ク編纂セラレタルハ海上保險法ニシテ最古ノ商法ニモ存セリト云フ路易ノ商令及ヒ那翁ノ商法ニモ規定セラレ商法アル國ニハ必ス海上保險ヲ規定シ英國ノ如キ商法ナキ國ニモ既ニ海上保險法ヲ制定發布シタリ(一九〇六年)然レトモ其他ノ保險ニ關シテハ容易ニ私法ヲ生セス數年前ニハ獨リ我國ニ存スルノミナリ  
 埃國ノ種々ノ變遷ノ後ニ一九〇五年ニ保險契約法案ヲ作りタルモ多クノ批難アリテ未タ議會ニモ上ラス

佛國モ種々ノ變遷ノ後一九〇二年ニ保險契約法案調査ノ爲メ委員會ヲ設ケ商務大臣ヲ委員長トシ一九〇四年ニ調査ヲ終ハリ同年議會ニ上ホセリ然レトモ委員附託ト爲ルニ止マリタリ後一九〇六年再ヒ新法案ヲ出タシ之ニ對スル委員ノ報告ハ一九〇七年ニ爲サレ其報告ハ公ケニセラレテ今ハ世上ノ評ヲ求メツ、アリ  
 同法律案ハ主トシテ既存ノ諸法律及ヒ慣習ニ基ケルモノトス

瑞西ニテハ一八六四年ヨリ保險契約法ヲ編纂スルコトニ着手シ一八九三年ニハ保險法編纂委員會ヲ設ケ委員會ノ建議ニ基ケルリ、氏ニ立案ヲ囑託シ一八九六年ニ成リタリ委員會ハ技術、經濟及ヒ法律ノ三部ニ分レテ草案ヲ討議シ一九〇

一年ニ討議ヲ完結シ政府ハ之ニ多少ノ修正ヲ加ヘテ一九〇四年議會ニ提出シ一九〇七年之ニ又修正ヲ加ヘタルモノヲ提出シ議會ヲ通過シテ一九〇八年法律トシテ公布シタリ

同法ハ總則、物保險、人保險、強行規定及末則ニ分チテ規定ス專ラ保險技術ニ基キテ規定シタリ又保險者カ普通人ノ愚ナルニ乘シテ往々私利ヲ營マントスルヲ以テ保險契約者ヲ保護スル爲メ多クノ強制規定ヲ設ク契約ノ自由ヲ原則トスルモ多クノ例外ヲ設ケ例外ノ強行規定ハ殆ト凡テノ半分ニ及フトイフ多クハ原則ニ止メ詳細ニ入ラサルヲ以テ凡テ一〇四條ニシテ獨法ノ一九四條ニ比シテハ甚タ少ナシ

獨逸ニテハ種々ノ變遷ノ後一九〇一年ノ保險業監督法ノ發布ニ繼イテ一九〇二年ノ保險契約法案ヲ作りタルモ之ヲ公表セスシテ少數ノ有識者ニ示シタルノミ  
 一九〇三年ニ理由書ト共ニ第一草案トシテ公表シ一九〇四年ニ第二草案ヲ作り聯邦議會ニ提出シ多少ノ修正ヲ加ヘラレ一九〇五年第三草案ヲ作りテ帝國議會ニ提出シ議會ニテ多少ノ修正ヲ加ヘラレ一九〇七年此修正ヲ受ケタルモノヲ第四草案トシテ帝國議會ニ提出シ少許ノ修正ヲ加ヘラレ一九〇八年ニ議決セラレ

テ法律ト爲リタルナリ此法律ハ主トシテ最近ノ慣習ニ基クモノトス獨逸ニハ近クマテ保險法ナカリキ保險業監督法出テ多少ノ私法的規定ヲモ爲シタルモ決シテ充分ナラス故ニ當事者ハ民法商法ノ規定及ヒ契約殊ニ保險約款ニヨリテ其關係ヲ定メタルナリ然レトモ保險約款ハ保險者ノ定ムルモノニシテ保險契約者ハ殆ト之ニ意見ヲ述フル能ハス殊ニ數個ノ保險者カ共通ノ約款ヲ作ルトキハ其勢力絶大ニシテ保險契約者ハ如何トモスル能ハス從テ保險契約者ニハ不利益ノモノナリ玆ニ於テカ保險契約者ハ之ニ對抗セント欲シテ團體ヲ作り代表者ヲ出シテ保險約款ノ作成協定ニ加入シ政府モ裁判所モ之ニ干涉シ漸々双方ニ公平ナル約款ヲ生スルニ至リ殊ニ最近十數年ノモノハ良好ト爲リ殆ト保險契約慣習法ノ如ク爲リ新保險契約法ハ實ニ此慣習ニ基キテ制定セラレタルモノトス

新法ハ第一章保險通則トシ第一總則第二告知義務第三保險料第四代理店ヲ規定ス第二章損害保險トシ第一總則第二以下ニ火災運送霜害家畜責任等ノ保險ヲ規定ス第三章ハ生命保險トシ第四章ハ災害保險ナリ第五章ハ附則ニシテ保險契約法ノ適用ノ範圍ヲ定ム之ヲ本法ノ規定トシ海上保險ハ海商法ニ定ムルモノヲ認メ新法ニ調和スルニ必要ナル小修正ヲ加フ而シテ新保險契約法ニハ勞働保險モ

### 再保險モ入ラス

獨逸ノ保險法ハ技術ニ基キテ規定シタルヲ以テ克ク實際ニ協ヘリ契約ノ自由ヲ原則トスルモ保險契約者ヲ保護スル爲メニ多クノ強行規定ヲ設ク生命保險ニアリテハ保險契約者ハ保險ノ智識ナク自ラ其利益ヲ保護シ得サルヲ以テ殊ニ多クノ強行規定ヲ設ケ運送保險責任保險等ニアリテハ保險契約者ノ智識進歩シ自ラ保護シ得ルヲ以テ強行規定少ナシ各種ノ保險契約ノ效力ヲ詳細ニ規定シタルヲ以テ條文ノ數多クナリ凡テ一九四條アリ全體トシテ良規定ナルヲ以テ新法ハ佛埃其他ノ諸國ノ模範視スル所ト爲レリ

### 相互保險會社

保險ヲ分チテ營業保險及ヒ相互保險トス前者ハ保險者カ營業トシテ爲スモノニシテ後者ハ保險者カ相互ニ救済スル主意ニテ爲スモノアリ何レモ損害保險ニモ生命保險ニモ存ス此區別ハ保險經營ノ組織ノ差ヨリ生スルモノニシテ保險契約ノ點ニ於テハ殆ト同一ナリ故ニ商法ニ營業保險ヲ規定シ之ヲ相互保險ニ準用スルヲ原則トシ其性質力之ヲ許ササル場合ニ相互保險ニ特別ノ原理ヲ適用スルコトトシタリ(四一八、四三三)

相互保險ニ在リテハ當事者ハ相互ニ保險者被保險者ト爲リ各自ノ拂込ミタル金額ヲ集メテ損害ヲ蒙リタル者ニ給與ス集金ノ殘餘ヲ分配スルコトアリ分配セスシテ後ノ經濟ニ充ツルコトアリ何人モ保險ニ依リテ利益ヲ得ルコトナキヲ以テ他ノ事情ニシテ同一ナランニハ相互保險ハ營業保險ヨリモ被保險者ニ利益ナルコト明カナリ然レトモ相互保險ヲ經營セシムルニハ人ト費用ヲ要シ其額營業保險ニ於ケルヨリ大ナルコトアルヲ以テ寧ロ營業保險ハ被保險者ニ有利ナリト云フ者アリ何レモ一得一失アルヲ以テ二種ノ保險ハ共ニ存スルナリ

相互保險ニ在リテハ團體ヲ組織シテ會社ト名クルモ各員ヲ保險者被保險者ト稱セスシテ社員ト云フヲ通常トス而シテ社員ヨリ釀出スル一定ノ金額ヲ保險料ト名クルコトアルモ保險料ナル名稱ハ不穩當トシ別名ヲ附スルモアリ營業保險ハ一ニ定料保險ト稱ス

相互保險トハ或人々カ各平生少許ノ釀金ヲ爲シ其中ノ人カ疾病又ハ火災ニ罹リシ際釀金額ノ幾分ヲ給付スルモノニシテ何國ニテモ夙ニ起リ我國ニモ昔ヨリ之ニ類スルモノ存ス歐洲ニテモ既ニ希臘羅馬等ニ存シ中世紀ヲ經テ近世ニ及ヘリ其著シク發達シテ近今ノ相互會社ノ制度ノ基礎ヲ爲シタリトモ言ハルルモノハ

中世日耳曼ニ行ハレタル「ギルド」ナリ「ギルド」ハサキソノ語ニシテ支拂ヲ意味シ或團體員カ或目的ノ爲メニ金錢ヲ釀出スルモノハ悉ク「ギルド」ナリ政治ノ爲メニスルモノ宗教ノ爲メニスルモノ商業ノ爲メニスルモノ共濟ノ爲メニスルモノアリ後ニ進歩シテ政黨教會會社共濟組合等ト爲リ救濟組合ハ相互保險ノ原ヲ爲セリ數人ノ知人相合シテ相互ノ救濟ヲ目的トシテ或釀出ヲ爲シタルヲ擴張シテ一町一村ニ及ホシ遂ニ全國ニ及ホシ又全世界ニ及ホシタルナリ少數人ナルトキハ各自相知リテ契約ヲ爲スモ多クナルトキハ相知ラス又各事務ヲ處理シ得サルヲ以テ理事ヲ選ヒテ處理セシメ理事ハ組合ヲ代表シテ新加入者ト契約ス後ニ漸々組織ヲ整頓シテ會社ノ如クシ法律ニ認メラレテ法人ト爲リ株式會社ノ組織ヲモ作ルコトヲ許サレ我國ニアリテハ營業保險ノ規定ヲ相互保險ニ準用シ之ヲ商法ニ示スニ至レリ(四一八條)

相互保險ニハ營業保險ノ規定ヲ準用シ又相互保險會社ハ或點ニ於テ大ニ營業保險會社ニ類スレトモ相互保險會社ハ商人ニ非ス商人タルニハ商行爲ヲ爲スヲ要シ商行爲タルニハ營業トシテ保險ヲ爲スヲ要スルニ相互保險ニアリテハ社員各自ニ保險シ何人ニモ營利ノ意思ナク又法人タル會社自身ニモ營利ノ意思ナケレ



ハナリ佛國ニテモ亦然リトシ一九〇三年マルセイユノ商事裁判所ハ此主意ノ判決ヲ下シ相互保險會社カ社員ト保險契約ヲ結フモ商行爲ヲ爲スモノトイフヲ得ス故ニ相互會社ハ商事裁判所ニ召喚セラルヘキニアラストイヘリ佛國ニテハ時トシテ附屬的商行爲ヲ爲スモノトシテ商人ナリトイフ者アルモ彼ト此トハ別ナリ

營業保險ト相互保險ノ何レヲ經濟上若クハ實際上可トスルカハ人ニ依リ見ル所ヲ異ニスコーンハ相互保險ヲ可トシマーネスハ營業保險ヲ可トス我國ニテハ栗津博士ハ少クトモ理論上相互保險ヲ可トスル如ク石川文吾氏ハ之ヲ疑ヘリ

相互保險ヲ可トスル理由左ノ如シ  
相互保險ニアリテハ保險ヨリ利益ヲ得ントスル者ナキヲ以テ被保險者ハ保險料ヲ他人ニ奪ハルコトナシ營業保險ニテハ保險者ハ營業者ニシテ株主ハ營利ヲ欲シ保險ヨリ生スルモノヲ分配スルヲ以テ夫レ丈被保險者ノ損失ト爲ルモ相互保險ニテハ剩餘金ヲ生スルトキハ被保險者ニ分配ス素ヨリ相互保險ニアリテ損害カ簇出スルトキハ保險料ニテ支辨スルヲ得ス被保險者ハ各自再ヒ自己ノ囊中ヨリ支出セサルヘカラサルニ營業保險ニアリテハ株主ハ之ヲ支出スルヲ以テ被保

險者ノ負擔ハ一定ノ保險料ニ止ムルイヘト此レ非常ノ場合ナリ經營計算非常ニ拙ニシテ豫定通りテ行カサル場合ノコトナリ此カル非常ノ時ノ想像ニ基キテ一般ノ場合ヲ決スヘカラス寧ロ經營カ通常ノ如ク進行スル場合ヲ基礎トセサルヘカラス又反對論者ハ經營拙ナル場合ニモ營業保險ニ於テハ株主カ損失ヲ負擔スルヲ以テ可ナリトイフモ實際ニ於テ株主ハ果シテ之ヲ負擔スル爲メ速カニ拂込ヲ爲スカ否カハ疑ハシ此ノ如キ株式會社ハ直チニ消滅スヘシ即チ反對論者カ株式組織ヲ可トシ其利益ナリト主張スル點カ實行セラル、場合ハ其會社ノ消滅スル時機ナリ尙反對論者ハ相互保險ニテモ保險基金ヲ作り會社ハ之ニ對シテ利子ヲ支拂ハサルヘカラサルヲ以テ營業會社ニ於テ利益ヲ配當スルニ比シテ利アリトイフヘカラス雙方此點ニ於テハ等シトイフモ然ラス相互保險ニアリテハ保險基金ヲ出スモノモ利子ヲ取得スルモ同シク被保險者ナリ被保險者ハ畢竟自ラ出シ自ラ取ルナリ故ニ損スル所ナシ然レトモ營業保險ニアリテハ金錢ヲ出ス者ハ被保險者ニシテ利益ノ配當ヲ受クル者ハ株主ナルヲ以テ夫レ丈被保險者ハ損スルナリ之ヲ總スルニ保險ノ經營カ良好ナルモノトセハ被保險者ハ營業保險ニ於テハ不利益ナル位地ニアルナリ而シテ保險ヲ經營スル以上ハ良好ナルヲ望ムヘ

ク良好ナルモノ多ク又良好ナリト假定セサルヘカラス故ニ被保險者ハ相互保險ヲ爲スヘシ

尙相互保險ニアリテハ保險者被保險者相互ニ被保險者保險者ナルヲ以テ利害ハ全ク一致シ營業會社ニ於ケル如ク營業者ト被保險者ノ利害衝突シ爲メニ訴訟其他ノ争ヲ生スルコトナシ相互保險會社ハ各被保險者自身ノ會社ニシテ社員ハ社員總會ニ於テ會社即チ自己ニ利益ナルコトヲ議スルナリ故ニ各人ノ利害ハ一致シ意思ハ疏通ス相互保險會社ニアリテハ被保險者自ラ會社ナリ會社ノ利害ハ悉ク直接ニ自己ノ利害ナリ故ニ彼等ハ會社ト争ヲ爲サ、ルヘク又被保險者間ニモ争ヲ生スルコト甚カラン之ニ反シテ株式會社ニアリテハ會社ハ保險者ニシテ被保險者ハ之ニ對立スルモノナリ或事項ニ關シテハ兩者ノ利害一致セシモ他ノ事項ニ關シテハ衝突ス例ハ保險料ヲ多クスルトキハ被保險者ノ不利益トナルモ會社ノ利益ト爲リ株主ノ利益トナル如シ然ルヲ相互會社ニアリテハ保險料ヲ多クスルトキハ一見被保險者ノ不利益ト爲ル如キモ之ニヨリテ會社ハ利益ヲ得會社ノ剩餘金ヲ増シ從テ被保險者ノ得ヘキ配當額ヲ増スヲ以テ結局不利益ヲ受ケサルナリト

相互保險ハ理論上ハ可ナルモ實際ニハ必スシモ然ラス相互保險ニアリテモ被保險者ハ互ニ相知ラス社員總會アルモ常ニ出席シテ意見ヲ述フルコトヲ得ヌ又或損害ノ生シ果シテ填補スヘキモノナルヤ否ヤノ疑ヲ生シタル場合ニ填補スルトキハ其被保險者ニハ利益ト爲ルモ他ノ被保險者ニハ不利益ト爲リ利害ノ衝突ハ免カレス素ヨリ被保險者間ノ利害衝突ト被保險者團體株主ノ利害衝突ノ種類ハ異ナリテ前者ノ方ハ各被保險者ニ利ナルカ如キモ必スシモ常ニ然ラス相互ニ被保險者ナリトノ如キ口述ニテ曖昧ニ填補ヲ爲シテ他ノ被保險者ニ損失ヲ蒙ラシムルヲ營業保險ニアリテハ株主ノ利益ヲ計リ即チ會社全體ノ利益ヲ慮カリ公平正確ニ争點ヲ研究シ些少ニテモ填補セサルヘキ理由アルトキハ填補ヲ峻拒シ間接ニ他ノ被保險者ニ利益ナルコトアレハナリ

諸國ノ現行法上相互保險ノ利益ハ經費ノ少ナキニアリ營業保險ハ營業ノ爲メニスルヲ以テ利益ヲ得ル意思アル者之ヲ實行スルニ相互保險ハ共濟ノ目的ヲ以テスルカ故ニ利己心ナキ者之ヲ實行シ從テ得ル報酬モ異ナレリ相互保險ノ經營實行者モ營業保險實行者ト等シク報酬ヲ得トスルモ其額少ナシ又現行ノ税法等ハ營業保險ニ酷ニシテ相互保險ニ寛ナリ營業保險ハ營業ナルヲ以テ營業稅ヲ課ス

ルモ相互保險ニハ之ヲ課セサルヲ通常トス所得稅モ營業保險ニ課スル場合ニモ相互保險ニハ課セサルコトアリ登記料ノ如キモ何レニモ課ストスルモ營業保險ニハ其度數多ク又一度ノ額モ多シ之ヲ總スルニ理想トシテハ相互保險ノ方ハ利益アリ自己ノ事ヲ自己カ爲スモノナレハナリ然レトモ物ニ依リテハ自己ノ事ヲ自己カ爲スヨリモ他人ニ爲サシムル方利益ナルコトアリ之カ爲メニ金錢ヲ出捐スルモ尙結局ノ利益ナルコトアリ營業者ハ營業ニ熟練シ最少限ノ費用ト勞力ヲ用キテ事ヲ遂行スルニ馴レ益簡易廉價ニ之ヲ爲スナリ相互保險ノ經營當局者ハ勉メテ營業保險ノ經營當局者ト同一ノ熟練及ヒ熱心ヲ用ユルナランモ而モ同一ナラス尙此等ハ保險ノ種類ニ依リ又保險數ノ多少保險區域ノ大小等ニ依リテモ異ナル所アルヘシ相互保險モ營業保險モ一得一失アリトシ其良點ノミヲ合シテ混合保險ヲ經營スルコトアリ營業保險ノ弱點ハ會社カ營業ヨリ得ル利益ヲ悉ク其所得トシテ株主ニ分配シ夫レ丈被保險者ニ不利益ヲ蒙ラシムルニアリ其良點ハ營業上ノ利益ヲ得ント欲シテ細心熱誠ニ業務ニ勉勵スルニアリ故ニ良點ヲトリテ弱點ヲ去リ會社ヲシテ營業トシテ保險ヲ爲サシメ而シテ之ヨリ生スル利益多キトキハ會社ノ

獨占トセスシテ被保險者ニ分配セシムヘシ如何ナル方法ニヨリ又如何ナル額ヲ分配スルカハ會社ニ依リテ異ナラントイヘリ混合會社ハ果シテ他ノ二種ノ會社ニ優ルカハ學者實際家間ニ議論アル所トシ左ノ二個ノ例ヲ示サン

共濟生命保險株式會社ニテハ毎年度ノ純益中其百分ノ五乃至十五ヲ通常準備金ニ充テ且資本金ニ對シ年六分以内ノ配當ヲ爲シ殘額ハ之ヲ被保險者ノ分配金トス

日之出生命保險株式會社ニテハ利益金十分ノ一ヲ先ツ保險契約者ニ分配スル爲メ引去リタル後ニアラサレハ株主ニ利益ヲ配當セス

相互保險契約ノ性質ハ相互保險會社ニ關スル各國ノ法律如何ニヨリテ異ナルハ勿論ナリ我國ノ保險業法ニヨルトキハ相互保險會社ノ發起社員ハ相互保險契約ヲ結ヒタリトイハスシテ會社成立後ニ結フモノヲ相互保險契約ト稱スル如シ詳細ニ説明スルニハ此ニ場合ヲ區別セサルヘカラス

相互保險契約ハ契約ナリ保險契約ナリ營業保險契約ト本質ニ於テ異ナル所ナシトイフモノアリ契約說トイハル又相互保險契約ハ行爲ナリ入社行爲ナリ或者カ保險團體ニ入ル意思ヲ表示スルモノナリトイヘリ而シテ入社ニハ會社ト加入者

ノ間ニ契約アルヲ要ストイフ者ハ之ヲ入社契約ト稱シ又會社契約ト稱ス保險契約ヲ爲スニアラスシテ團體ニ入ルモノナリトシ團體說ト稱セラル  
 余思フニ相互保險ニ於テハ發起社員ニアリテハ形式ハ團體ヲ組織スルニアリテ實質ハ保險契約ヲ爲スニアリ成立後入社スル者ニアリテハ形式ハ入社契約ニシテ實質ハ同シク保險契約ヲ爲スニアリトイハン發起人カ會社ヲ組織スルヲ以テ目的トシ會社カ成立スルトキハ其目的ヲ達シタルモノトシテ發起人ハ消滅スルナリ此點ニ於テハ相互保險會社ヲ組織スルト他ノ會社ヲ組織スルト異ナル所ナシ然レトモ他ノ會社ニアリテハ會社設立後ニ或行爲ヲ爲シテ利益ヲ得ントスル目的ヲ存シ發起人ハ發起ノ際ニ之ヲモ目的トシ會社ノ成立後モ其目的ヲ有スル契約ニ拘束セラルトイヒ難シ少クトモ其情ニ於テ相互會社ヲ成立セシムルト異ナル所アリ之ニ反シ相互會社ヲ設立スルハ之ニヨリテ相互ニ保險セラレンコトヲ欲シ各自其意思ヲ表示シ會社ノ成立ニ因リテ保險セラレタルナリ之カ爲メニ最早特別ノ契約ヲ爲スヲ要セス從テ會社ノ成立ハ保險ノ成立トシ形式的ニ會社ヲ設立シタルトキハ實質的ニ保險カ成立シタルモノトシ同一ノ契約ヲ以テ之ヲ爲スナリ

會社ノ成立後ニ入社スル者ハ入社ノ契約ヲ以テ入社シ入社シタルトキハ同時ニ保險關係ニ入ルナリ當事者ノ意思ハ相互保險關係ニ入ラントスルニアリ然レトモ保險契約ヲ爲シテ其目的ヲ達スルヲ得サルヲ以テ入社ノ形式ヲ探ルナリ而シテ會社カ入社セシムルハ單ニ入社セシムル意ニテ入社セシムルニ非スシテ相互保險關係ニ入ル、主意ニテ入社セシムルナリ相互保險會社ノ成立後ハ此形式ニ因ルニ非サレハ如何トモスルヲ得サルヲ以テ此ノ如クスルノミ一ハ手段ニシテ一ハ目的ナリ故ニ實質ヲイフトキハ保險契約ヲ爲ストイフナリ實質ニ於テハ加入者ハ從來ノ社員ト相互ニ保險スルコトヲ約スル者ナリ加入者ハ從來ノ社員ノ誰ナルカヲ知ラス從來ノ社員亦加入者ノ何人タルヤヲ知ラス相知ラサルニ相互ニ保險ヲ約スルコトナシ從テ加入者ハ單ニ入社ノ意思アルノミ從來ノ社員トノ間ニ契約ナシトイフ者アルモ然ラス契約ハ未知ノ者ノ間ニモ爲スコトヲ得代理人ナル仲介者ニ依リテ爲スハ常ナリ然ラハ會社ナル仲介者ニ依リテ爲スハ怪ムニ足ラス形式ニ於テハ會社カ加入者ト契約ヲ爲スナリ會社ハ契約ノ當事者ニシテ社員ノ代理人ニアラス形式ニ於テハ然リ然レトモ實質ニアリテハ加入者ハ從來ノ社員ト相互ノ保險關係ニ入ラントスル意アリ又從來ノ社員ハ後ニ加入シ來

ルヘキ社員ト相互保險ノ關係ニ入ランコトヲ自己入社ノ際豫メ承諾シタルモノニシテ茲ニ意思ノ投合アルナリ故ニ單ニ形式皮想ノ論ヲ以テ實質ヲ説明スル深遠ナル學說ヲ貶スヘカラス

### 保險契約ノ統一觀念

保險契約ノ説明ニ先チテ爲スヘキコトハ其基礎的觀念ノ研究ナリ即チ保險契約ノ基礎ヲ爲シテ保險ヲ一般ノ條件附法律行爲ト分ツ所以ハ何レニアリヤヲ説クニアリ

之ヲ説クニハ損害保險ト生命保險ニ共通ノ基礎的觀念アルヤ否ヤヲ知ラサルヘカラス此二種ノ保險ノ範圍性質等ニ關シテハ古來種々ノ學說アリ或者ハ凡テノ保險ハ損害保險ニシテ生命保險モ其一例ニ過キサルカ故ニ保險ヲ二大別シテ損害保險及ヒ生命保險ト爲スハ無意味ナリトイヒ他ノ者ハ生命保險ハ保險ニアラス故ニ保險ヲ分チテ損害保險ト生命保險ノ二種ニ區別スルハ不當ナリトイヘリ何レモ沿革上ノ觀念若クハ言語ニ拘泥シテ現在ノ法制ヲ誤解スルモノナリ保險ハ海上保險ナル損害保險ニ初マリ初メハ保險トイヘハ常ニ海上保險ナリ航海ニ關シテ生シタル損害ヲ填補スルモノナリ損害保險ナリ故ニ保險トイヘハ悉ク損

害保險ナリ後ニ火災保險ヲ生シタルモ同シク損害ヲ填補スルモノナルヲ以テ保險ハ損害保險ナルコト益明カト爲リタリ而シテ學者ノ腦中ニハ保險トイヘハ損害ヲ填補スルモノナラサルヘカラストノ念ヲ生シタリ從テ後ニ生命保險ヲ生シタルモ尙從來ノ思想ニ合セシメントシ此保險ニモ亦損害ナカルヘカラストシ種々ノ工風ヲ爲シ遂ニハ損害ニ非サルモノヲモ損害ナリトカ損害ト看做ストカイヒ被保險利益ナキニ有リトイヒ或ハ被保險利益ノ範圍ヲ擴張シ遂ニハ其意義ヲモ變セントスルニ至リシナリ

一方ニ此ノ如キ論者アルト同時ニ他方ニハ反對論者アリテ生命保險ハ保險ニアラス故ニ損害填補ノ觀念ナクトモ可ナリ生命保險ニハ保險ノ名アルノミニテ其實ナシトイヘリテールハ生命保險ハ冒險貸借ナリトシヘツクハ生命保險ハ貯金<sup>フエツク</sup>契約ナリトシケニツヒハ生命保險ハ保險料ヲ以テ保險金請求權ヲ買フ賣買ナリ早ク死亡スレハ多ク得ル希望アルヲ以テ希望賣買ナリトイヘリ尙保險ハ年金契約ナリトイフ者モアリ

然レトモ生命保險モ法律ニ保險ト稱スル以上ハ之ヲ保險トセサルヘカラス學者ノ隨意ニ保險ニ非ストイフモ何等ノカナシ生命保險ハ損害保險ト根本ノ觀念ヲ

異ニスル保險ナリトイフハ可ナレトモ全然保險ニアラストイフハ不可ナリ又法律ニ保險ヲ二大別シテ損害保險及ヒ生命保險トセルニ生命保險モ亦損害保險ナリトイフハ法律ヲ離レタ空論ナリ法律ニ保險ヲ規定シ損害保險及ヒ生命保險トスル以上ハ兩者ヲ保險トシテ兩者ニ共通スル基礎ヲ求メ更ニ此兩者ニハ又特別ノ性質アルヲ以テ分チテ二種ノ保險トシタルナリトイハサルヘカラス茲ニ於テカ先ツ兩種ノ保險ニ共通ナル基礎的觀念ノ何タルヲ知ル必要ヲ生ス或學者ハ凡テノ保險ハ經濟上不利ヲ生スヘキ一定事故ノ生シタル場合ニ損害ヲ填補スル契約ナリトシ損害填補ヲ保險ノ特質トシ之ヲ以テ生命保險ヲモ説明シ得トシ生命保險ニ於ケル人ノ死亡ハ人ノ生産能力ヲ剝奪ス又遺族ヲシテ埋葬費其他ヲ支出セシム養老保險ニ於ケル人ノ老朽ハ又其人ノ生産能力ヲ減少シ家族ノ扶養料ヲ多カラシム疾病災害等ノ人ニ損害ヲ加フルコト知ルヘシトイヘリ

エーレンベルヒゴールドシユミット等此說ナルカ如シ然レトモ此說ハ現今ノ生命保險ヲ十分説明スルニ足ラス現今ノ生命保險ハ單ニ一定ノ保險料ニ對シテ一定ノ金額ヲ支拂フコトヲ約スル定額約束ニシテ毫モ被保險者ニ損害ヲ生シタルヤ否ヤ又其損害ノ大ナリヤ否ヤ等ヲ問ハス之ヲ説明シテ損害ノ填補額ハ損害ノ

生シタル後ニ計算スヘキモ面倒ヲ慮カリ豫メ定メオクナリトイフ辯明ハ不十分ナリ或生命保險ニアリテハ毫モ損害ノ生スルト否トヲ省ミサレハナリ故ニエーレンベルヒ氏ハ此說ヲ主張シナカラモ稍自ラ疑ヲ懷キ初メ獨逸保險契約法案ニテ損害保險ト生命保險ヲ別離シテ規定シタルニ賛成シオレリ

近頃ニ至リテ伊國ノゴツビー及ヒビバンテハ凡テノ保險ノ統一觀念トシテ新說ヲ出セリ

ゴツビー曰ク保險ハ或需用ノ増加若クハ需用ヲ満足セシムル手段ノ減少ニ因リ個人ノ不利益ニ變シテ一ノベダルフヲ惹起スル一定事變ニ對スル豫防ヲ目的トスル制度ナリベダルフニ對スル保護ナリトベダルフハ廣クシテ必スシモ損害ニアラス損害ニアラサルモ尙經濟的害惡ト爲リ得ヘシ人カ死スレハ損害ナキモ經濟的害惡アリト此說ヲ評スル者曰ク此說ハ保險ヲ損害ノ填補トスル說ヨリモ進歩セリ損害ナキニアリトイヒ或ハ損害ニアラサルモノヲ損害ト看做スヨリ可ナリ經濟的害惡トシ損害ヨリ廣キ文字ヲ用非居レハナリ然レトモ此說モ損害填補說ト五十歩百歩ノ間ニアリ生命保險ニハ經濟的害惡ナキニ一定金額ヲ支拂フコトアレハナリ例ハ蕩兒ノ死亡ニヨリテ保險金ヲ得或ハ或人ノ死亡ニ因リ大ナル

遺贈ヲ得テ經濟上利益ト爲ルモ尙保險金ヲ得ルコトアレハナリトイヘリ  
 ビバンテ曰ク凡テノ保險ニ共通ナル點ハ此制度ハ絶對ニ技術的基礎ニ建テラレ  
 タル大經營ナル點ニアリ統計學ニ基キ保險料ト保險金額トヲ計算シ保險料ト危  
 險ヲ同額ナラシムル點ニアリ唯此事アレハ以テ保險ヲ爲スニ足リ損害填補ノ目  
 的アルヤ否ヤハ問フ所ニアラストイヘリ此說ハ保險者ノ經營方法ヲ以テ保險ノ  
 特質トスルモノニシテ目的ヲイハサル缺點アリ前記ゴツビー氏ハ保險ヲ手段ナ  
 リ經濟的手段ニシテ之ニ基キテ經濟的害惡ヲ豫防スル目的ヲ有ストイヒ此點ニ  
 於テビバンテノ說ヨリ優レリ尙ビ氏ノ說ヲ評スル者ハ此說ニヨルトキハ統計  
 學ノ進歩セサル間ハ保險ナカラシ又此說ニヨリテハ保險ト他ノ制度ヲ分チ難シ  
 整備セル富籤モ此要素備ヘオレハナリトイヘリ  
 フブカナル維納大學教授ハ此頃說ヲ出シ保險ノ統一觀念ハ當事者カ保險ヲ取結  
 フ目的ニ求メサルヘカラス保險契約ヲ爲ス目的ハ或人ヲ未來ニ於ケル榮枯盛衰  
 ニ對シテ經濟的ニ確保スルニアリ保險ハ此目的ヲ有シ之ニヨリテ多クノ射倖契  
 約賭事等ト區別セラル保險ニハ此目的アレハ足リ此目的ナケレハ成立セス此目  
 的アレハ足リ其實際ノ結果如何ヲ問ハス實際ニハ損害ハ生セサルコトアラン經

濟的不利益ナキコトアラン然レトモ之カ爲メニ保險ノ效力ニ影響ヲ及ホスコト  
 ナシ結果ノ如何ニ拘ハラズ目的ハ經濟的不利益ヲ確固スルニアリ何等カノ不安  
 アリシカ故ニ保險ヲ取結ヒタルナリ即チ保險ノ統一觀念ハ契約ヲ爲ス目的ニア  
 ルニ世人ハ從來其結果ヲ見タルヲ以テ遂ニ損害保險ト生命保險トヲ統一シ得サ  
 リシナリトイヘリ

此等ノ說ニハ各特色アリテ法律ニ規定スル保險ノ基礎的觀念ノ一部ヲ説明スル  
 カアリ然レトモ餘リニ深遠ニシテ現行法ノ規定ヲ離ルコト遠シ廣大ニシテ保險  
 以外ノ制度ニモ共通ナル傾アリ

法律ヲ本トシ凡テノ保險ニ共通觀念トシテ論スル者ノ中ニモ種々アリテ危險ヲ  
 以テ貫カントスルアリ然ハ被保險利益ヲ以テ貫カントスルアリ或ハ此兩者ヲ合  
 セテ要素トスルモノアリ或ハ危險ノ平均及ヒ事故發生ノ不定ヲ併セ要素トスル  
 モノアリ今二三ノ保險ノ定義ヲ示シ學者ハ如何ニ保險ノ統一の定義ニ苦心セル  
 カヲ示サン

エンデマン曰ク保險契約トハ保險者カ偶然ナル一定事故ノ發生シタル場合ニ一  
 定金額又ハ損害額ヲ支拂フコトヲ約スル有償契約ナリト此ノ如クシテ氏ハ前半

ニ生命保險ヲ入レ後半ニ損害保險ヲ入レントセリ凡テノ保險ヲ網羅シタル如クナルモ單ニ生命保險ノ定義ト損害保險ノ定義ヲ併合シタルニ過キスシテ化合シタルニ非ス保險ノ統一的定義ニアラサルナリコザツク曰ク保險契約トハ偶然ナル一定事故ノ發生シタル場合ニ或金額ニ對シ請求權ヲ有スルコトニツキ利害關係者ニ直接間接ニ此請求權ヲ與フル有償契約ナリトイヘリ能ク損害保險ト生命保險ヲ網羅シタル廣大ナル定義ナリ然レトモ廣大ニ失シテ此中ニ有償保證富籤ノ如キモノヲ入レ保險ニ特別ナル定義ニアラサルモノト爲レリ

其他諸學者ノ下シタル定義種々アルモ何レモ損害保險ノミニ相當スルカ生命保險ヲモ入ルトスレハ保險外ノ契約モ入り來リ過不及ナク凡テノ保險ヲ示スモノナシ故ニ昔ハ共通ノ大定義ヲ試ミタルコトアリシモ生命保險ノ發達スルニ伴ヒ漸々之ヲ分クントシ又法律ニ之ヲ統一セス學者モ之ヲ統一セサル傾向アリ學者ノ統一ヲ試ムル者ハ今モ絶ヘストスルモ法律ニハ之ヲ分ツテ通常トスルニ至リ我商法及ヒ獨逸商法トモ之ヲ明別セリ而シテ我商法理由書ニハ「生命保險カ他ノ保險ト同シク純然タル保險ノ一種ニ屬スルヤ否ヤハ學說上爭アル所ナルヲ以テ本案ハ進ンテ此學說上ノ爭ヲ決スルノ冒險ヲ斷行セス之ヲ學說ノ將來ニ一任シ

唯本章ニ於テハ性質ノ異ナレル二種ノ保險ヲ箇々ニ規定スルノ便宜ニシテ且正當ナルヲ確信ストイヒ獨逸商法草案理由書ニハ「法律ヲ以テ概括的ニ保險ノ觀念ヲ定ムルハ殆ト不能ナルノミナラス實際上其必要ナシ何トナレハ或契約カ保險契約ナルカ否カニ付キテ疑問ノ生スルハ極メテ稀ナルノミナラス偶々此カル疑問ノ生スルコトアリトスルモ其場合ニハ一般的规定ニヨリテ解釋スルヨリモ寧ロ保險法規ノ全體ヨリ解決スルヲ可トスレハナリトイヘリ何レモ保險ノ單一觀念ヲ與フルコト殆ト不能トイフモノナリ

保險ニ共通ノ定義ハ下シ難シ然レトモ或點ニ於ケル共通ノ事項ハ摘出シテ説明スルコトヲ得ヘシ

之ヲ經濟若クハ制度ノ點ヨリイフトキハ何レノ保險モ大規模ニヨリテ行ハレサルヘカラス正確ナル數理的計算ノ上ニ基カサルヘカラス單ニ個々ニ爲スモノハ所謂保險ニ非サルヘシ然レトモ法律上之ヲ必要トスルカ否カハ各國ノ法律ニヨリテ異ナレリ我國ノ保險業法ハ保險ハ株式會社ニ非サレハ爲スヲ得ストスルヲ以テ少クトモ保險業法ノ上ニ於テハ保險ハ専ラ大規模ノ上ニ爲サル、ナリ然レトモ他國ニテハ必スシモ然ラス次テ法律上個々ノ保險契約ニ就テイフトキハ保



險契約ニハ大規模ナル要素ヲ必要トイフヲ得ス商法ノ上ニ於テハ規模ノ大小ハ  
 毫モ保險ノ成立ニ關係ナキナリ

法律上ヨリイフトキハ保險契約ハ必ス有償契約ナリ又雙務契約ナリ時トシテハ  
 當事者雙方ニ對シ相對商行爲ト爲リ又附屬商行爲ト爲リ時トシテ被保險者ニ對  
 シテ毫モ商行爲ト爲ラス此等ノコトハ論スル必要ナシ

保險契約ハ獨立ノ契約ナリ二個ノ意味ニ於テ獨立ナリ一ハ保險契約ハ獨立ニ成  
 立スルモノニシテ他ノ契約ニ附屬スルニ非ス曾テ海上運送契約ニ附屬スト思ハ  
 レタルコトアルモ今ハ決シテ然ラス運送契約ト全ク分離獨存スル契約ナリ又一  
 ハ保險契約ナル特殊ノ契約存スルモノニシテ賣買契約又ハ貸借契約ノ一例ニア  
 ラサルナリ

保險契約ハ條件附又ハ期限附ヲ契約ノ内容トスルモノナリ一定事故ノ發生ニ際  
 シテ金錢ヲ支拂フト一定期限ノ到來ヲ時期トシテ支拂フナリ之ヲ契約ノ内容ト  
 シ決シテ契約ノ外ニ條件若クハ期限ヲ附スルニ非ス保險契約ト民法ニ所謂條件  
 附契約トノ異ナルコトハ殆ト疑ナキモ生命保險ノ或モノト民法ニ所謂期限附契  
 約トスルモノトノ差ハ時トシテ明白ナラサルコトアリ而モ生命保險ハ長ク繼續

シ保險契約者ハ定期ニ保險料ヲ支拂ヒ凡テノ情況ニ於テ普通ノ期限附契約トハ  
 異ナル所アルナリ

保險契約ハ射倖的契約ナリ佛國民法ハ射倖契約ヲ示シテ當事者ノ雙方又ハ一方  
 ノ損益ニ付キ其效力ヲ將來ノ不確定ナル事件ニ繫ラシムル合意ナリトイヘリ然  
 ラハ一定事故ノ發生ニヨリテ金額ノ給否ヲ決スル保險契約ノ射倖契約ナルコト  
 明カナリウインドシヤイドハ射倖契約ヲ定義シテ當事者ノ一方又ハ相手方カ契約  
 上ノ利益ヲ受ルヤ否ヤハ偶然ナル一定事故ノ發生ニ懸ル契約ナリトイヘリ然ラ  
 ハ保險ハ射倖契約ナルコト明カナリ氏ハ尙射倖契約ヲ説キテ射倖契約ニ於テハ  
 一方ノ利益ハ必ス他方ノ損害ト爲リ當事者ノ利害相反スル性質ヲ有ス從テ冒險  
 的性質ヲ帶フトイヘリ保險契約ハ實ニ此性質ヲ帶フルモノナリ故ニ保險ハ此點  
 ニ於テ冒險貸借ニ類シ又賭博ニ類ス或ハ稱シテ保險契約ニアリテハ當事者ハ利  
 益ヲ受ケス被保險者ハ損害ノ填補ヲ得ルヲ目的トシ生命保險ニアリテモ損害ノ  
 填補ヲ受クル目的ナリ少クトモ利益ヲ得ルニ非ス又保險者モ特別ニ利益ヲ得ル  
 意ナシ營業ヨリ生スル利益ハ他ノ營業ト共通ニ得ルモノニシテ保險ニ特別ノ利  
 益ナルモノナシ保險金額ト保險料ノ間ニハ常ニ均衡ヲ分チ過不及ナキヲ保險制

度ノ目的トストイヘリ保險制度ノ全體ヨリ觀察スルトキハ然レトモ保險契約ハ個々ニ觀察スルモノナリ然ラハ個々ノ契約ニ於テ或者ハ利益ヲ受ケ或者ハ損失ヲ蒙ルコト明白ナルヲ以テ保險ハ如何ナル意味ニ於テモ射倖契約ナルコト明カナリ

保險契約ハ特ニ善意ヲ要スル契約ナリ保險者ハ一ニ保險契約者又ハ被保險者ノ言ニ信賴シテ契約ヲ取結ヒ保險料ヲ定メ保險ヲ繼續シ又保險金額ヲ支拂フモノナレハナリ被保險者ヨリイフモ亦然リ故ニ被保險者カ危險ノ發生ヲ知リテ契約スルカ保險者カ危險ノ不存ヲ知リテ契約スルトキハ無効ナリ又被保險者ハ契約ノ取結ニ先チテ告知ヲ爲スヘク契約後ノ危險ノ變更ハ通知スヘキモノトス他ノ契約ニハ之ニ類スルモノナシ又アリトスルモ程度ニ於テ著ルシク異ナレリ元來保險ハ危險ヲ基礎トシテ成立スル委運的ノモノナルヲ以テ其根本ニ於テ他ノ契約ニ異ナル善意ヲ要スルナリ

保險契約ノ諾成契約ナルカ否カハ時代ニヨリ國ニヨリ又保險ノ種類ニヨリテ異ナレリ佛國ノ商令佛國商法等ハ海上保險ヲ書面契約ト爲シタル如シ然レトモ判決ハ之ヲ諾成契約ニ解スルニ勉ムル如シ英國ニ於テハ生命保險ハ書面契約ナリ

トイン者アリ普國ニテハ海上保險及ヒ生命保險ハ書面契約ナリシヲ獨逸法ニテ改メタリ之ヲ總スルニ初メハ書面契約ナリシヲ漸々諾成契約トシ我國ノ如キハ悉ク之ヲ諾成契約トシタリ

### 損害保險ト生命保險

保險ヲ分チテ損害保險及ヒ生命保險トス我商法ハ保險ヲ大別シテ此二種トシ先ツ損害保險ノ總則ヲ規定シタリ規定ノ形式ニ於テ當ヲ得タルモノナリ損害保險ト生命保險ハ其性質ニ於テ異ナルヲ以テ到底同一ニ規定シ難シ生命保險モ保險ニシテ多クノ點ニ於テ損害保險ト等シキヲ以テ生命保險ハ眞ノ保險ニ非ストカ生命保險契約ハ金額支拂ノ契約ニ過キスト云フハ非ナレトモ而モ生命保險モ亦損害保險ノ一ナリトカ或ハ生命保險ヲ損害保險ト同視シテ商法ニ二種ノ保險ニ共通ノ總則ヲ置クヘシト云フハ不可ナリ

損害保險ハ常ニ損害ヲ填補スルモノナリ然レトモ生命保險專ラ終身生命保險ヲ例トスハ必スシモ常ニ損害ヲ填補スルモノニ非ス損害ノ有無ニ拘ハラズ保險金額ヲ支拂フコトヲ約スルモ有效ニシテ此ノ如ク約スルハ却テ通常ナリ損害保險ニ於テ要スル損害ハ物質的損害ナリ金錢ニ見積リ得ル損害ナリ然レトモ生命保

險ニハ此ノ如キ損害ヲ要セス生命保險ニモ必ス損害アリト云フ者ハ損害ノ意義ヲ極メテ廣ク解スルカ或ハ事實上損害ナキニ強ヒテ損害アリト云フナリ人カ死亡スルトキハ勞働スルヲ得サルカ故ニ夫レ丈ケ損害ヲ生スト云フモ老衰シテ自己ノ衣食ニモ他人ノ力ヲ借ル者カ死亡シタレハトテ社會ニ何等金錢上ノ損害ヲ生セス死亡スレハ葬式費用ヲ要スルカ故ニ損害ヲ生スト云フモ其損害ハ生命保險ノ損害ニ非スシテ葬式費用保險ノ損害ナリ又損害保險ニ在リテハ保險契約者自ラ被保險者ト爲リ損害ノ生シタルトキ自ラ其填補ヲ受クルヲ通常トスルモ生命保險ニテハ被保險者自ラ決シテ保險金額ヲ受取ルコトナク必ス他人ヲシテ受取ラシメサルヘカラス

損害保險ト生命保險トハ根本ニ於テ異ナルヲ以テ之ヲ同總則ノ下ニ置クハ困難ナリ而シテ二者ヲ包含スル保險契約ノ完全ナル定義ヲ下スハ不能ナリ諸學者ノ下セル定義ヲ見ルニ或モノハ多クノ保險ヲ脱出セシメ悉ク網羅スルモノハ概博ニシテ保險以外ノ契約ヲモ入レ正確ナルモノハ損害保險及ヒ生命保險ヲ各別ニ定義シタルモノヲ合スル長文ナリ而シテ簡潔ナリトシテ傳稱セルモノニハ定義者カ普通ノ文字ニ自己製造ノ意義ヲ附スルモノ多シ比較的完全ナリト稱セラル

、獨人エーレンヘルヒ氏ノ定義ハ左ノ如シ

保險契約トハ當事者ノ一方カ報酬ヲ受ケ不確定ニシテ且經濟上ノ損害ヲ生スヘキ事故ノ發生ニ際シテ財産ノ給付ヲ約スル獨立契約ナリ

此定義ハ損害保險ニ適當ナルモ生命保險ニ當ラス之ニ用キル文字ヲ民法商法ニテ解スル意義ト同意義ニ解スルトキハ之ヲ以テ終身生命保險ヲ説明スルヲ得ス此定義ハ保險契約ニハ不確定ナル事故ノ發生ヲ要スト云フモ人ノ死亡モ確定ノ事故ナリ唯何時ニ死亡スルカヲ知ラサルノミ不確定ノ事故トハ發生不發生ノ不確定ナルコト及ヒ發生ハ確定ナルモ何時ニ發生スルカハ不確定ナルコトノ二者ヲ合ムト云フハ註釋ニ依リテ知り得ルコトナリ次テ保險ニハ經濟的損害ヲ要スト云フモ老衰者、浪費者、瘋癲、白痴者等カ死亡スルトキハ毫モ經濟的損害ヲ生セス其親族ニ精神上ノ打擊ヲ生スルコトアラシモ經濟上ハ却テ利アリ而モ彼等モ亦生命保險ノ當事者ト爲リ得ルナリ即チ此二種ノ保險ハ到底同一ノ定義ニ包容シ得サルモノトス故ニ我國ノ如ク之ヲ別節ニ分チタルハ可ナリ

## 第一節 損害保險

損害保險ニハ多クノ種類アリ苟クモ公益ニ反セサル限りハ如何ナル保險ヲ爲スモ可ナリ之ヲ區別シテ有體物ニ關スルモノ及ヒ無體物ニ關スルモノトシ前者ノ中ニ家屋保險、船舶保險等ヲ入レ後者ノ中ニ運送貨物保險責任保險等ヲ入ル又損害ヲ生スヘキ事故ニ依リテ區別シ火災保險、海難保險、盜難保險、雹霜保險等トス又二個以上ノ標準ヲ合セテ家屋ノ火災保險、貨物ノ航海保險等トスルコトアリ最近ニ生シタルモノハ失職保險、選舉保險等ナリ一九一一等ノ英皇戴冠式ノ頃ヨリ英京倫敦ニ天候保險ナルモノヲ生シ屢實行セラレタルモ其有效無效ニ關シテハ學者間ニ議論アリ

我國ハ各種ノ保險ヲ悉ク認ムルモ商法ニ名稱ヲ附シテ特ニ規定スルモノハ僅カニ火災保險、運送保險及ヒ海上保險ニ過キス此レ現在我國ニ最モ多ク行ハレ且特別ノ規定ヲ爲スヘキ程度ニ達シタルハ此二種ナルニ由ル而モ商法ノ認ムルモノヲ決シテ之ニ限定スルニ非ストシ總則ヲ置キテ如何ナル損害保險ニモ適用シ得ルモノトシ次テ各種ノ保險ヲ規定セリ

我商法ニ特ニ規定スル有名保險ハ火災、運送及ヒ海上ノ三種ナレトモ今ヤ世界ニハ此他ノ種々ノ保險ハ存在セリ其中ノ或モノ殊ニ新ラシキモノヲ示サン

盜難保險 米國ニ存ス米國ニテモ其初メハ一八九二年ナリ然レトモ其發達割合ニ早クシテ一九〇九年ノ統計ニヨレハ其收入保險料二百七十萬弗餘ト爲リ之ニ對スル支拂保險金ハ九十萬弗ニ達セリ即チ收入保險料ニ對スル三割ナリ

節動保險フレイクイ 米國ニ存ス米國ニテモ極メテ新ラシキ保險ナリ節動機ノ破裂ニ基ク凡テノ損害ヲ保險スルモノナリ節動機自體ノ損害ハ勿論節動機破裂ノ爲メニ被保險者ノ財産ニ及ホス損害他人ノ財産生命身體ニ及ホスヨリシテ賠償ヲ爲スニヨリテ生スル損害ヲ填補スルモノナリ起原ハ淺キモ發達ハ割合ニ速カニシテ一九〇八年ノ統計ニヨレハ收入保險料十萬弗之ニ對スル支拂保險金ハ三萬五千弗ニシテ一九〇九年ニハ收入保險料十二萬弗之ニ對スル支拂保險金ハ一萬三千弗ナリキ即チ一九〇九年ニハ會社ノ利益頗ル多カリキ

雹保險 此保險ハ寒キ農業國ニ生ス先ツ獨逸ニ生シ次テ佛國ニ生ス那翁第三世農業ヲ獎勵シテヨリ其發達著ルシ一八八八年ヨリ進歩ハ一層著シク同年ニ於ケル契約高ハ五億法ナリシニ一八九八年ニハ七億法餘ト爲リ一九〇九年ニハ八億八千萬法餘ト爲リタリ會社ニハ株式ト相互ノ二種アルモ相互ノ方ハ多ク一九〇九年ニハ株式會社四ニシテ相互會社ハ十五ナリキ損害ハ非常ノ高ニ上ホルコト

アリ一八八八年以來ノ統計ニヨルニ最少ナルハ保險料百ニ對スル三十一ニシテ他ハ之ヨリ大ナリトシ殊ニ一九〇八年ノ如キハ百ニ對スル百二十六ト爲リ會社ノ大損失ト爲リタリ此レ近害ハ其區域廣大ニシテ而モ防止ノ方法完備セサルニ因ル其發達ハ前途尙遠シトイフヘシ

失職保險 白耳義ニ存ス職工等カ其職ヲ失ヒタル場合ニ給付ヲ爲スモノナリ獨逸ニモ之ニ倣ヒテ失職保險ヲ設クルコトヲ計劃セリ保險者ハ或職工組合又ハ市設保險者トシ職工ヲシテ之ニ保險料ヲ支拂ハシメ失職ノ際ニ一定ノ給付ヲ得セシムルナリ但之カ爲メニハ職工ハ一ヶ月以上其市ニテ職業ニ從事スルコトヲ要ストスルコトアリ又失職ハ同盟罷工又ハ自己ノ過失怠慢等ニ因ラサルヲ要ストスルコトモアリ然レトモ未タ計劃中ニ屬シ制定ノ時ハ何時ナルカヲ知ラス但シ失職保險ノ或モノハ生命保險ニ入ルナリ

災害保險 英米ニ久シク行ハル人カ旅行其他ノ場合ニ災害ヲ蒙ムリタル際填補ヲ受クル保險ナリ保險契約者カ契約中災害ニ罹リ業務ニ從事スルコト能ハサルニ至リタル場合ニ其不能ノ全部ナルカ一部ナルカニ從ヒ災害保險金ヲ多ク又ハ少ク受クルナリ全部不能ハ日常必要ノ事ニモ從事シ得サルヲイヒ一部不能ハ大

事ニ從事シ得サルヲイフ此保險ノ起原ハ一八六三年米國ニテ旅客保險會社ヲ設立シテ旅行中ニ災害ヲ受ケタル旅客ヲ保險シタルニアリトイフ普通ノ保險ト異ナリテ保險者被保險者トモニ惡事ヲ爲スコトアルヲ以テ相互ニ注意スヘシ而シテ保險者ニアリテハ往々種々ノ口述ヲ設ケ或ハ資力不十分ナル爲メニ支拂ヲ爲サ、ル場合アルヲ以テ之ヲ監督スル爲メ米國ニテハ保險會社ヲシテ百萬弗ノ株式ヲ拂込マシメテ保險局ニ供託セシム供託金ヨリ生スル利息ハ會社ノ有ニ歸スルモ若シ未拂保險金アルトキハ保險料ヲ以テ其金額ヲ支拂ハシメ會社ハ保險料ヲ以テ支拂フコト能ハサル場合ニハ供託金ヲ處分シテ之ニ應セシム又被保險者ニアリテハ種々ノ詐術ヲ用キテ保險金ヲ獲得セントシ不法行爲ニ因ル害ヲ普通ノ災害ナリトイヒ或ハ小災害ヲ大災害ト詐ハルコトアリ而モ之ニ對シテハ官ヨリ監督スル特別ノ方法ナキヲ以テ保險者自ラ克ク注意スヘシ但災害保險ノ多クハ生命保險ニ入ルナリ

選舉保險 此保險ハ未タ生セス然レトモ英國ノロイド組合ニ屬スル保險業者ハ今考慮中ナリ議員候補者カ落選シタル場合ニ其失費ヲ填補スルコトヲ約スルモノナリ保險料保險金額等ハ候補者ノ人物選舉區ノ情況等ニヨリテ異ナルヘク候

補者ノ當選ノ見込ノ多少ニヨリテ異ナルモノトシ其計算甚タ困難ナルモ必スシ  
モ絶望ニアラス

### 第一款 總 則

#### 損害保險契約ノ性質

損害保險契約ハ當事者ノ一方カ偶然ナル一定ノ事故ニ因リテ生スルコトアルヘ  
キ損害ヲ填補スルコトヲ約シ相手方カ之ニ其報酬ヲ與フルコトヲ約スル契約ナ  
リ三八四

損害ノ填補ヲ約スル者ヲ保險者ト云ヒ報酬ヲ與フルコトヲ約スル者ヲ保險契約  
者ト云ヒ填補ヲ受クヘキ者ヲ被保險者ト云ヒ而シテ保險契約者ト被保險者トハ  
同一人タルヲ通常トス損害ノ填補ハ金錢ヲ以テスルヲ通常トシ之ヲ保險金額ト  
云ヒ報酬モ金錢ヲ以テスルヲ通常トシ之ヲ保險料ト云ヒ偶然ナル一定ノ事故ヲ  
保險事故又ハ危險ト云フ

損害保險契約ハ左ノ如キ性質ヲ有ス

#### 一 保險契約ハ損害填補ノ契約ナリ

損害填補ノ契約ナルヲ以テ其要素トシテ損害ノ生シ得ルヲ要ス損害トハ金錢

ニ見積リ得ル損害ナリ時トシテハ損害ノ實現ニ先チテ其額ヲ評定スルコトア  
リ實現スル損害額ト合セサルコトアルモ許スナリ損害ヲ損害保險ノ要素トシ  
テ一方ニ賭博ノ如キ利益ヲ得ントスルモノト分チ又他方ニ於テ損害ノ有無ヲ  
問ハサル生命保險ト分ツ損害ヲ要素トスルヲ以テ損害ヲ受クヘキ位地ノ者ニ  
非サレハ被保險者ト爲ルコトヲ得ス損害ヲ受クヘキ位地トハ事故ノ發生ニ關  
シテ金錢上ノ利害ヲ有スルコトナリ此利害關係ヲ被保險利益ト云フ

#### 二 保險契約ハ射倖契約ナリ

保險者ハ偶然ノ事故ニ因リテ生スヘキ損害ヲ填補スルモノナリ偶然ノ事故ト  
ハ發生スルカ發生セサルカ知レサル事ナリ隨テ契約ハ射倖ノ性質ヲ有ス天運  
ニ委スルヨリシテ委運ノ契約ト云フ事故ノ發生不發生ヲ條件トシテ填否ヲ分  
ツヨリシテ條件附契約ト云フコトアリ之ニ依リテ手形ノ如ク必ス支拂フコト  
ヲ約スル無條件ノ契約又ハ生命保險ノ如ク確定事故タル人ノ死亡ニ因リテ金  
錢ヲ支拂フモノト分ツナリ時トシテハ生命保險ニ於テモ死亡ハ何時ニ生スル  
ヤ知レサルヲ以テ不確定ノ事故ナリト云フ者アルモノハ不確定ナル文字ノ通  
常ノ意味ニ非ス

一定ノ事故トハ事故ノ種類ノ一定ヲ示スナリ社會上ノ事故ハ千差萬別ニシテ保險者ハ到底凡テノ事故ヨリ生スル損害ヲ填補シ得サルヲ以テ之ヲ一定ノモノニ限ルナリ保險ハ一定事故ニ關スルヲ要スルモ保險者ハ多クノ保險ヲ兼業シ保險契約者ハ多クノ保險ヲ附スルコトヲ得

偶然ノ事故ハ或意味ニ於ケル危險ナリ故ニ保險契約ノ定義ニ於テ保險者ハ危險ノ發生ニ際シ損害ヲ填補スルコトヲ約スト云フコトアリ誤ニ非サルモ危險ハ事故其モノヲ意味スル外危險ノ増加又ハ減少ト稱シテ事故ノ發生スヘキ必<sup>ズ</sup>諒<sup>ハシ</sup>ヲ意味スルコトアリ埃國ノ保險學者ハ保險法ニテ危險ト稱スル文字ニ五<sup>五</sup>意義アリト云ヘル程ナルヲ以テ保險ノ定義ニ危險ナル文字ヲ用ヒサルヲ可トス

三 保險契約ハ誠意ノ契約ナリ

誠意ノ契約トハ當事者双方殊ニ保險契約者ハ契約ヲ取結フ際ニ誠意ナルヲ要スルコトヲ示スナリ廣意ニ於テハ凡テノ契約ハ誠意ノ契約ナリ當事者ハ何レノ場合ニ於テモ誠實ナラサルヘカラス詐言シ又ハ隱秘スヘカラス然レトモ他ノ契約ニ在リテハ或程度ノ疎漏ヲ咎メス例ハ賣買契約ニ於テハ買主自ラ注意スヘシトノ格言アリテ賣主ヨリ進ンテ凡テノ瑕疵ヲ指示スルヲ要セサルモ保

險ハ大射倖ノ性質ヲ有シ而シテ保險者ノ責任ノ負擔ハ殆ント繋リテ保險契約者ノ一言一行ニアルヲ以テ契約取結ノ際ニハ特ニ其言行ニ注意セシムルナリ保險契約者ノ告知ノ義務ハ此ヨリ生ス尙契約ノ取結ニ關シテ述フル所ヲ參照スヘシ

四 保險契約ハ諾成契約ナリ

保險契約ハ當事者ノ意思表示ノミニテ成立シ他ニ何モノヲモ要セス口頭ニテ契約スルモ書面又ハ容態ヲ以テスルモ可ナリ昔時ハ契約ノ成立ニ保險證券ノ作成ヲ要シタルコトアリ或ハ第一回保險料ノ支拂ヲ要シタルコトアリテ保險料ノ原語タル「プレミ」ハ第一拂込ヲ意味スルモ意思主義ノ發達ニ從ヒ諾成契約ト爲リタリ然レトモ當事者ハ屢特約ニテ契約ノ成立ヲ證券ノ作成ニ繋ラシムルコトアリ

損害保險契約ノ取結

損害保險契約ノ取結ニ關シ契約ノ要素トシテ注意スヘキモノ左ノ如シ

- 一 當事者 當事者ハ保險者及ヒ保險契約者ナリ何レモ自然人又ハ法人ニテ可ナル理ニシテ或國ハ其如何ヲ問ハス然レトモ我國ハ保險事業ハ株式會社ニ非

サレハ營ムコトヲ得ス同一ノ會社ニシテ生命保險ト損害保險ヲ併セ營ムヲ得  
ストスルヲ以テ保險者ハ損害保險業ノミヲ營ムル株式會社ニ限ルコトト爲ル

(商施九七)

二 目的 契約ニハ目的ヲ要ス契約ノ目的ハ當事者ノ行爲及ヒ不行爲ナリトス  
ルコトアレハ行爲不行爲ノ目的タル物又ハ權利トスルコトアリ賣買契約ノ目  
的ハ賣主ヲシテ物ノ所有權ヲ移轉セシメ買主ヲシテ代價ヲ支拂ハシムルコト  
ナリト云ヒ或ハ物及ヒ金錢ナリト云フカ如シ之ニ從フトキハ保險契約ノ目的  
ハ保險者ヲシテ保險金額ヲ支拂ハシムルコト及ヒ保險契約者ヲシテ保險料ヲ  
支拂ハシムルコトナリト云フヲ得レハ又保險金額及ヒ保險料ナリト云フコト  
ヲ得ヘシ

然レトモ商法ニ於ケル文字ノ用法ハ民法ニ於ケルト異ナリテ保險契約ノ目的  
ヲ被保險利益トセリ時トシテハ物又ハ權利ヲ保險ノ目的ト云ヘリ保險ノ目的  
ノ性質又ハ其自然ノ消耗ニ因リテ生シタル損害ハ保險者之ヲ填補スル責ニ任  
セスト云フ場合ノ如シ

三 偶然ナル事故 之ニ依リテ保險ヲ他ノ契約ト分ツコトヲ得保險契約ノ要素

ニシテ危險ナル名稱ノ下ニ説明セラル

期間ヲモ保險契約ノ要素トスル者アルモ保險契約ニハ期間ノ定マラサルモノア  
レハ契約當時ニ事故カ發生シ居ルモノアリ期間ハ體様ヲ爲スモ要素ニ非ス

保險契約ノ成立

保險契約ハ一般ノ契約ト等シク申込及ヒ承諾ヨリ成ル何レヨリ申込ミ何レカ承  
諾スルカヲ問ハサルモ實際ニ於テハ保險契約者ヨリ申込ミ保險者ハ承諾ス此申  
込及ヒ承諾ニ關シテ特別ノ規定ヲ設ケスシテ一般契約ト同視スルモノアリ我商  
法及ヒ獨逸ノ保險法ノ如シ即チ申込ニ承諾ノ期間ヲ定メテ爲シタルトキハ申込  
ヲ受ケタルモノカ其期間内ニ承諾ノ通知ヲ達セシメサルトキハ申込ハ其效力ヲ  
失ヒ承諾ノ期間ヲ定メスシテ爲シタルトキハ申込ヲ受ケタル者カ相當ノ期間ニ  
承諾ノ通知ヲ達セシメサルトキハ申込ハ效力ヲ失フナリ(民五二一、五二四)然レト  
モ保險ニハ成ヘク正確且迅速ニ申込ニ關スル事ヲ結着セシメ申込人ヲシテ速カ  
ニ自己ノ爲シタル申込カ如何ニナリシカヲ知ラシムル爲メ特別ノ規定ヲ設クル  
モノアリ例ハ瑞西保險法ハ保險契約ノ申込人ハ二週間其申込ニ拘束セラレ其間  
ニ保險者ヨリ承諾ヲ得サルトキハ申込カ效力ヲ失フトシ即チ二週間ノ間ニ保險



ノ成否如何ヲ知ルコトヲ得セシメタリ(瑞法一條)

申込ニハ特別ノ方式ヲ要セス一般契約ニ於ケルト等シク書面ヲ以テスルモ口頭ヲ以テスルモ可ナリ之ヲ法律ノ規定トスルモ實際ニハ後ノ争ヲ避クル爲メ書面ヲ以テスルヲ通常トシ而モ多クハ保險者ノ作成シタル申込證ニ署名シテ申込ムナリ恰モ會社ノ株式引受ヲ申込ムニ際シ發起人ノ作成シタル株式申込證ニ署名シテ之ヲ爲スニ等シ或國ハ之ヲ法律ノ規定トスル傾アリ例ハ瑞西ノ新法ハ保險約款ハ保險者ノ作リタル申込證ニ記載スルカ若クハ申込前ニ申込人ニ交付スルコトヲ要シ之ニ反スル申込ハ申込人ヲ拘束セストスルカ如シ(瑞法三條)

被保險者ハ何時ニ申込ヲ爲スモ可ナリ午前ニ爲スモ午後ニ爲スモ夜中ニ爲スモ可ナリ然レトモ會社ノ營業中ニ爲ササルトキハ會社ハ申込ヲ受ケサルモノト見ラルコトアリ申込ヲ受ケタリトスルモ承諾ヲ爲ササリシト推定スルコトアリ故ニ被保險者ハ會社ノ營業時間内ニ申込ヲ爲スヲ得策トス之ニ關スル大阪地方裁判所ノ判決アリ荷主タル奥吉豊次郎對日本海上保險會社代表者右近權左衛門ノ訴訟ニシテ海上保險ニ關スルモノナリ(大地四〇年三月)

荷主カ會社ニ對シ保險契約ノ申込ヲ爲シタルコトハ争ナキ所ナルヲ以テ果シ

テ會社カ該申込ニ對シ承諾ヲ爲シタリヤ否ヤニ付キ審案スルニ荷主カ此點ノ立證ニ供シタル證據ニ依リテハ未タ以テ會社カ荷主ノ申込ヲ承諾シタリトノ事實ヲ確ムルニ足ラサルノミナラス其申込アリタルハ明治三十九年三月十七日午後七時ニシテ會社ノ營業時間後ナリシコト争ナキ所ナレハ會社カ該時日ニ右申込ニ對シテ承諾ヲ與フルノ餘地ナカリシコトヲ推知シ得ヘク又翌十八日ニ在テハ同會社ハ既ニ危險ノ發生ヲ悉知セルコト是亦争ナキ所ナルヲ以テ會社カ危險發生ヲ知リナカラ保險ノ申込ニ應シタルモノト認メ難キカ故ニ荷主ハ到底之ヲ採用スルニ由ナシ

保險契約ノ成立ニ要スル承諾ニモ方式ヲ要セス口頭ヲ以テスルモ書面ヲ以テスルモ可ナリ又默示ニテモ可ナリ其默示ハ金錢ノ受取ニテモ可ナリ保險料ヲ受取ルトキハ保險ノ申込ヲ默諾シタリト見ルコト多カラシ然レトモ保險料ト稱スルモノ、受領ヲ以テ常ニ直チニ保險申込ニ對シテ承諾ヲ爲シタルモノト決定スルヲ得ス時トシテハ先ツ金錢ヲ受取り置キ後ニ承諾シテ保險ヲ成立セシメタル際ニ其金錢ヲ保險料ニ充當セント欲シテ受取り便宜上初メヨリ保險料トイフコトアリ其實保險料ニアラス故ニ默示ノ承諾アルカ否カヲ知ルニハ深ク實情ヲ調査

スルヲ要ス保險者カ保險料ト稱スルモノヲ受取ルモ未タ保險申込ノ承諾ヲ爲シ  
 タリトセスト判決セラレタル例アリ大阪控訴院ノ判決ナリ(大控三七年六月)  
 證據ニ徴スレハ其契約ハ申込ニ止マリ未タ完成ヲ告ケサリシモノト推定セサ  
 ルヲ得ス尤モ保險料ハ危險擔保ノ報酬ニシテ保險契約ヲ俟チテ始メテ授受ノ  
 權義ヲ發生スルモノナレハ契約ニ先チ授受セラルヘキモノニアラス然ルニ前  
 掲ノ證言ニヨレハ一方ニ於テ保險料ノ授受ヲ證言シナカラ他方ニ於テハ契約  
 ノ不成立ヲ確言シ恰モ成否兩枝ニ涉リ相容レサル如キ觀ヲ呈スレトモ證人ノ  
 證言中ニ代理店ノ保險契約締結ノ權限ハ金高三千圓迄ニ限ラレ之ヲ超過スル  
 モノハ其權内ニ屬セス被保險者ノ申込ニ係ルモノハ金額五千圓ナレハ即チ代  
 理店ニ於テ締結權ナキモノナル旨證言セルヲ視レハ其代理店ニ於テハ被保險  
 者ノ申込ヲ受クルノ權能ナク從テ本社ノ意ニ反シテ契約ヲ締結シ保險料ヲ授  
 受スルコトヲ得サルヲ以テ其受取リタル金圓ハ成約ヲ豫想シテ保險料ニ充當  
 ノ目的ニテ便宜上預カリ置キタルモノト認メ得ヘク現ニ甲第四證ニ豫テ御預  
 カリ申置候保險料御返却致度候云々トアルニヨリ其推定ヲ確實ナラシムルモ  
 ノトス

本判決ハ代理店カ其中込ヲ承諾スル權限ナキニ申込ヲ受ケ同時ニ保險料ヲ受取  
 リタルモノナルヲ以テ之ヨリシテ直チニ保險會社自ラ申込ト保險料ヲ受ケタル  
 場合ヲ論決スルヲ得サルモ保險ノ成立ニハ承諾ヲ要シ單ニ金錢ヲ受取ルノミニ  
 テハ未タ直チニ承諾ヲ爲シタリトイフヲ得ストノ論證ト爲スニ足ル  
 保險契約ノ成立ニハ保險料ノ支拂保險證券等ヲ要セス此等ハ決シテ法律ニ必要  
 トスル成立條件ニアラス然レトモ保險者ハ往々保險料ノ支拂保險證券ノ作成交  
 付ノ一或ハ兩者ヲ合セテ成立條件トスルコトアリ保險料ノ支拂ヲ成立條件トス  
 レハ之ヲ支拂ハサルトキハ保險證券ヲ交付スルモ未タ保險契約ヲ成立セス又保  
 險證券ヲ成立條件トスレハ之ヲ作成交付セサレハ保險料ヲ支拂フモ保險契約ヲ  
 成立セス之ニ關スル大阪地方裁判所ノ判決アリ(大地三七年)

保險證券ノ一部ヲ閱スルニ保險契約ノ效力ハ證券作成ノ日ヨリ確定スルハ勿  
 論トアルノミナラス保險料假領收書ニハ本領收書ハ保險申込書ト同様ノ效力  
 ニシテ會社ハ何等ノ責任ヲ有セストアリテ保險證券ハ明治三十六年三月五日  
 ニ於テ交附セラレタルコト當事者間爭ナキニヨリ係爭保險契約ノ效力ハ全然  
 右保險證券作成ノ日ヨリ發生シタルモノナルコト毫モ懷疑ノ餘地ナキモノト

ス況ンヤ之ヲ普通ノ情理ト感念トニ照シテ考フルモ契約ノ申込ヲ爲シ未タ之ニ對スル承諾ナキ間ハ契約ハ成立セサルヲ以テ其效力モ亦發生スルコトナキハ勿論ナルニヨリ保險契約申込當時ノ状態ニ在リテハ申込人ハ其時ヨリ直チニ保險料支拂ノ債務ヲ履行スル意思ナク被申込人ハ其時ヨリ直チニ危險ノ責ニ任ストノ意思ナキモノト認ムルヲ相當トス左レハコソ保險申込ト同時ニ拂込ヲ爲シタル保險料ノ領收書ニハ被申込人ハ保險料拂込ニ因リテ直チニ危險ノ責ニ任セサル者ヲ明記スルニ至リタリ然ルニ被申込人ノ負フヘキ責任ノ對價タル保險料支拂ノ時期ニ關シテハ該證中一モ記載スルコトナク唯乙第一號證ニ於テ申込ノ日ヲ以テ保險契約ノ締結日ト爲スヘキ旨ヲ掲ケタルヨリ契約ノ效力ヲシテ契約ノ成立以前ニ遡及セシムヘキ變態ヲ來タシ從テ申込人ノ日ヨリ保險料支拂ノ債務ヲ負擔セシムルカ如キ論結ヲ生スレトモ當時申込人ニ於テ斯ル論結ヲ豫見シテ保險料支拂ノ債務ヲ負擔シタルモノト認定スヘカラス何トナレハ乙第一號證所載ノ文字ハ一見シテ直チニ保險料支拂ノ時期ニ關スルモノト認ムルヲ得サレハナリ而シテ乙第二號證ニハ明治三十六年一月二十九日即チ申込ノ日ヨリ保險期間ヲ開始スル旨記載シアルモ這ハ被告カ乙第

一號證ノ申込ニ對シ承諾ノ意思ヲ表示シタルモノニ外ナラスシテ被申込人ヨリ新タニ申込ヲ爲シタルニアラサルヲ以テ縱令申込人カ其交附ヲ受ケタル儘經過シタリトスルモ爲メニ申込當日ヨリ保險料ヲ支拂フヘキ債務ヲ負擔シタルモノト論定スヘカラス之ヲ要スルニ保險料支拂ノ時期ヲ契約ノ成立以前ニ遡及セシメントスル意思ハ双方一致セサルモノナルニヨリ申込人カ申込ノ當日拂込ミタル保險料ハ保險證券作成ノ日即チ明治三十六年三月五日ニ於テ支拂フヘキ分ノ前拂トシテ計算スルヲ相當ナリトス

保險契約契約ノ要素ニ錯誤アルトキハ成立セサルハ一般契約ニ等シ又無効ノ行爲ナリトモ當事者カ其無効ナルコトヲ知リテ追認ヲ爲シタルトキハ新ナル行爲ヲ爲シタルモノト看做スコトモ一般契約ニ等シ民法ニハ無効行爲ニ關スル規定ヲ設ケ(民一一九)無効ノ行爲ハ追認ニ因リテ其效力ヲ生セス但當事者カ其無効ナルコトヲ知リテ追認ヲ爲シタルトキハ新ナル行爲ヲ爲シタルモノト看做ス(トイヘルハ保險契約ニモ適用アリ大審院ハ之ヲ適用スル判決ヲ爲シタリ(大三九年二月)

保險會社ヨリ保險料ノ増額ト保險期間ノ減縮トヲ要求セラレ乃チ被保險者ハ新タニ甲種八號證ノ四ヲ提出シ増額ヲ拂込ミテ前契約ヲ變更シタル旨主張シタルコト明カナルヲ以テ彼此對照スルトキハ前掲判文ノ旨趣ハ保險會社カ當初締結シタル保險契約ノ無効ナルコトヲ知リテ之ヲ追認シ即チ當事者間ニ新ナル保險契約ノ成立シタルモノト看做スヘキ事實ノ存立シタルコトヲ表明セント欲スルニアルヤ之ヲ知ルニ難カラサレハナリ

抑モ無効ノ法律行爲ハ追認ニ因リテ效力ヲ生スヘキモノニ非サルコトハ實ニ本論旨ノ如クナリト雖モ民法第一一九條但書ニ當事者カ法律行爲ノ無効ナルコトヲ知リテ追認ヲ爲シタルトキハ新ナル行爲ヲ爲シタルモノト看做ス旨ノ規定アリテ恰モ如上ノ場合ニ該當シ而シテ商法ノ規定ハ勿論商慣習モ亦此規定ト牴觸スルモノ存セサルヲ以テ之ヲ本件ノ如キ保險契約ニ適用スルヲ得ヘキコト毫モ疑ヲ容ルヘキニ非ス

由之是ヲ觀レハ原判決ハ文詞簡約ニ失シ且用語切當ナラサル非難ヲ免レスト雖モ詞ヲ以テ意ヲ害スヘキニ非サレハ本論旨ハ上告ノ理由トナラス

### 代理店

保險會社ハ諸地方ニ代理店ヲ置キテ營業スルハ通常ナリ而シテ各人ヲシテ代理店ニ申込マシメ或ハ自ら代理店ヲ經テ保險金ヲ交付ス此代理店ノ性質權限等ニ關シテ我商法ニ何等規定スル所ナキヲ以テ問題ノ生シタル場合ニハ其情況ニ應シ民商法ノ代理委任又商法ノ代理商仲立人等ノ規定ヲ適用若クハ準用スルヨリ外ナシ

獨逸ノ新保險法ハ代理店ニ關シテ詳細ナル規定ヲ設ク(獨保四四、四五、四六、四七)

獨逸保險法ハ代理店ヲ分チテ二種トス

一 媒介ノミヲ爲ス代理店 此代理店ハ保險契約ノ取結、延期若クハ變更ノ申込又ハ其中込ノ取消ヲ受ケ保險契約繼續中ニ爲スヘキ告知ヲモ受ケ、保險契約者ノ意思表示ヲ受ケ保險者ノ作成セル保險證券又ハ延期證券ヲ交付スル權限ヲ有スルモノトス此外ニ若シ保險者ノ署名シタル保險料計算書ヲ有スルトキハ保險料ヲ受取ル權限ヲモ有スルモノトス

保險者カ或事項ヲ知ルト否トカ保險ニ影響ヲ及ホス場合ニ於テ代理店カ其事項ヲ知ルモ保險者カ之ヲ知ルト看做サス

二 多クノ代理權アルモノ 此代理店ハ契約ノ變更又ハ延期ヲ爲シ又契約ヲ解

## 除スル權限ヲモ有スルモノトス

此二種ノ代理店ノ權限トモニ法定權限ニシテ其代理店ノ權限ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス  
 此二種ノ代理店中第二種ノ代理店ハ權限大ニシテ普通ノ代理人以上ノ權限ヲ有シ保險申込人カ此代理店ニ申込ムトキハ保險者ニ申込ミタルト同一ノ效アルコト言フヲ待タス然レトモ第一種ノ代理店ニ申込ミタル場合ニ關シテハ議論アリ獨逸學者中獨逸新法ノ解釋トシテ此代理店ヘノ申込ハ保險者ヘノ申込ト爲ラストイフ者モアレハ解釋トシテハ保險者ヘノ申込ト爲ルモ立法論トシテハ而カスヘカラストイフ者モアリ

獨逸契約法ハ代理店ヘノ申込ハ保險者ヘノ申込ト爲ルトイフナリ代理店ハ他人ノ意思表示ヲ本人ニ代ハリテ受領スヘキ代理人ナリ行動的代理人ニアラストスルモ受動的代理人ナリ故ニ彼ニ爲ス保險ノ申込ハ保險者ニ對シテ爲シタルト同視ス法案理由書ニモ代理店ハ申込ヲ受クル權限ヲ有シ其當然ノ結果トシテ代理店ニ爲ス申込ハ保險者ニ對スル申込ト看做サレ申込人カ申込ニ依リテ拘束セラレヘキ期間ハ代理店ニ申込ミタル時ヨリ起算スヘシ決シテ代理店ヨリ此申込ヲ

保險者ニ通知シタル時ヲ待ツニアラストイヘリ

之ニ反對スル者ハ保險契約法(四三條)ハ代理店ニ與フルニ申込受領ノ權限ヲ以テスルモ之カ爲メニ代理人ト爲ルコトナシ若シ代理店ニシテ之ニ因リテ代理人ト爲リタルモノトスレハ代理店ヘノ申込ハ保險者ヘノ申込ト爲ルモ代理店ハ之ニ因リテ代理人ト爲ルニアラスシテ單ニ申込ヲ保險者ニ通知シ得ル機械ト爲リ使者ト爲ルノミ保險者カ代理店ニ此權限ヲ與ヘタル結果ハ申込人カ代理店ニ申込ミタルトキハ保險者ハ右代理店ハ余ト無關係ナリトイヒ得サルニ過キス申込ニ使者ヲ用ユルモ可ナレハ保險者カ申込ヲ受クルニ使者ヲ用ユルモ可ナリ而シテ保險者カ此種ノ代理店ヲ設ケタルハ申込ヲ受クル使者ヲ作リタルノミニシテ之ヲ代理人トシタルニ非ス故ニ申込人カ代理店ニ申込ムモ代理店ヨリ保險者ニ通知シ來ルニ非サレハ申込ト爲ラス從テ此時マテハ申込ニ關スル期間ニ拘束セラレコトナシトイヘリ此說ノ不可ナルコト辯明ヲ要セス  
 代理店ハ承諾ヲ爲ス權限ヲ有スルカ? 保險契約ハ被保險者ヨリ申込ミ保險者之ヲ承諾スルヲ通常トスルモ稀ニハ保險者ヨリ申込ミテ被保險者之ヲ承諾スルコトアリ例ハ或人カ保險者ニ對シテ或保險ヲ申込ミタルニ保險者ハ絕對ニ承諾セ

スシテ承諾ニ或條件ヲ附シタリトセンニ法律上ハ承諾ナキナリ故ニ何等ノ契約ヲモ生セス而シテ保險者ヨリ通知シタルモノハ新ナル申込ナリ之ニ對スル相手方ノ承諾ニ因リテ保險契約ヲ成立スルモノトス此ノ如キ場合ニ代理店カ承諾ヲ受領スル權限アルヤ第二種ノ代理店ナルトキ或ハ少クトモ代理店カ普通ノ代理人ナルトキハ承諾ヲ得ル權限ヲ有スルコト明カナルモ然ラサル場合ニハ疑アリ獨逸法ノ下ニハ代理店ノ申込受領ノ權限ニ關シテ規定シアリテ吾人ハ之ヨリ解シ代理店ニ爲ス申込ハ本人ニ爲ス申込ナルコト明カナリトイフモ承諾受領ニ關シテハ規定ナキヲ以テ疑ヲ存ストイフナリ單純ナル理論ヨリイフトキハ申込受領ノ權限ノミヲ有スル者ハ承諾ヲ爲ス權限ナカラン又實際ヨリ見ルモ申込受領ノ權限ヲ與ヘタルノミニテ必スシモ常ニ承諾受領ノ權限ヲモ與ヘタリトイヒ難シ唯代理店カ保險者ヨリ或人ニ向ケ或申込ヲ爲スヘキ權限ヲ與ヘラレタル場合ニハ此申込ニ對スル承諾ヲ受領スル權限ヲモ與ヘラレタルモノト解スヘキコト多カラン此ノ如ク解セサレハ其代理店ハ單ニ機械的ノ使者ト爲ルノミニシテ餘リニ無意味ナレハナリ即チ代理店カ或人ニ對シ余ハ保險者ヨリ君ニ或申込ヲ爲スヘキコトヲ命セラレタリ故ニ之ヲ申込マントイヒ其人ハ宜シ余ハ承諾シタリ

トイフ際余ハ其返事ヲ受クル權利ナシ君ノ返事ヲ先方ニ通知シ得ルノミトイフハ餘リニ機械的ニシテ滑稽ナレハナリ

### 告知義務

保險契約者ハ告知義務ヲ負フ告知義務ニハ三種アリ保險契約取結ノ際ニ於ケルモノ契約ノ存續中ニ於ケルモノ及ヒ事故發生ノ時ニ於ケルモノ是レナリ然レトモ今ハ保險契約ノ取結ヲ説クモノナルヲ以テ第一種ノ告知義務ノミヲ説クヘシ之ヲ告知ノ義務トイヒ義務トイフハ或ハ不當ナランモ多數ノ學者ハ告知義務トイフヲ以テ暫ラク之ニ從フ

告知義務ハ損害保險及ヒ生命保險ヲ通シテ存在ス即チ保險ニハ此義務アルヲ原則トシ例外トシテ或保險ニナキノミ例ハ雹霜保險旅行保險ニ於ケル如シ此等ノ保險ニ於テハ保險契約者ノ知ル所ハ保險者モ知ル所保險者ノ知ラサル所ハ保險契約者モ知ラサル所ナルカ故ニ別ニ告知スヘキモノナケレハナリ告知ハ保險契約者之ヲ知レルニ保險者カ知ラサル事項ニ關シテ生スルモノナレハナリ然レトモ畢竟ハ程度問題ナリ年々農業ヲ爲ス者殊ニ自己ノ農地ニ農業ヲ爲ス者ハ霜害ノ性質程度等ヲ知ルコト保險者ヨリ密ナルヘク唯其知ト不知ト差大ナラサルヲ

以テ殊更ニ此種ノ保險契約者ニハ告知義務ヲ負ハシメサルノミ  
一般ノ保險ニアリテハ保險契約者ニ告知義務アリ契約ノ取結ニ際シテ或告知ヲ  
爲サ、ルヘカラス之ヲ現行法トシ多數國ノ採用スル所ナリ之ニ關シテハ三主義  
ヲ存ス

一 保險ニアリテハ保險者ハ一ニ保險契約者ノ言ニヨリテ危險ノ程度ヲ測定ス  
ルヲ以テ保險契約者ヲシテ進ンテ一切ノ事情ヲ告知セシメサルヘカラス一切  
ノ事情トイフトキハ稍大ニ過クトスレハ重要ナル一切ノ事情トスヘシ保險ニ  
影響ヲ及ホスヘキ一切ノ事情トスヘシ之ニ關シテハ保險契約者ニ無限ニ告知  
ノ義務ヲ負ハシメサルヘカラストスルモノ我國ハ此主義ナリ

二 保險ニアリテハ保險契約者ヨリ進ンテ一切ノ重要ナル事情ヲ告知スヘキ理  
ナルモ何カ重要ナル事情ナルカハ保險契約者ノ容易ニ知り得サルコトニシテ  
却テ保險者ハ營業者トシテ知ルヲ以テ保險者ヨリ質問シタル事ヲ重要トシテ  
答辯セシメ其質問セサルコトハ進ンテ告知セサルモ可トシ殊更ニ黙秘スルト  
キハ制裁ヲ加フトスルモノ獨逸新法ハ此主義ノ如シ

三 保險ニアリテハ保險契約者ニ答辯義務ヲ負ハシムルニ止ムヘシ保險ニアリ

テ保險者カーニ保險契約者ノ言ニヨリテ保險ニ關スル事情ヲ知リタルハ保險  
ノ幼稚ナル時代ナリ保險技術ノ進歩セサル時代ノ事ナリ然レトモ今ヤ此技術  
進歩シ保險者ハ自ラ危險ノ事情ヲ測定シ得ルニ至リタルヲ以テ最早保險契約  
者ノ言ヲ待タスシテ危險ヲ測定シ得ルナリ然ラハ危險ノ測定ヲ理由トスル告  
知義務ハ廢止スヘシ而シテ保險者カ危險ノ測定ニ必要ナリト思惟スルモノア  
ラハ進ンテ尋問シ保險契約者ヲシテ回答セシムヘシ回答モ素ヨリ一種ノ告知  
ナレトモ從來ノ告知トハ質問ナキニ進ンテ爲ス告知ヲイヒ必ス常ニ爲スヘキ  
モノナリシヲ今ヤ必スシモ常ニ爲スヲ要セス保險者ヨリ質問ナキトキハ何事  
ヲモ告知スルヲ要セストイフモノナルヲ以テ告知義務トイフヨリモ回答義務  
トイフヲ可トストイフモノ未タ此主義ヲ其儘ニ實現スル國ナキモ第二種ノ主  
義ハ第一種ヨリ此第三種ノ主義ニ移ラントスル過渡的ノモノトシ此主義ハ漸  
々勢力ヲ得ル傾向アリ學者中ニハ既ニ之ヲ唱フル者多ク獨逸ニアリテモギ  
ルケベ、レンドク、レ、ンベツク等之ヲ主張セリ余モ此主義ニ贊成ス

上述ノ理由アル外ニ保險契約者ノ位地ヨリ見ルモ此ノ如クセサルヘカラス保險  
契約者ハ保險ニ經驗ナキ者ナリ又保險ノ取結ニ關シテ多クノ費用ト勞力ヲ費ヤ

シ得サルモノナリ然ルニ彼等ヲシテ何か重要ナル事項ナルカヲ調査シテ悉ク之ヲ告知セシメ之ニ反スルトキハ保險ヲ無効トスルトキハ遂ニハ保險ヲ取結ヒ得サルニ至ラン如何ナル時代ニモ此情況アルモ現代ニ至リテハ一層然リトス而シテ他ノ一方ニアリテ近代ハ保險ノ技術進歩シ保險者ハ能ク重要事項ノ何タルヲ知ルヲ以テ自ら進ンテ保險契約者ニ質問セシムルコト、スルモ毫モ不都合ヲ見サルナリ

保險者ハ告知義務ノ履行トシテ如何ナル事項ヲ告知スヘキカニ關シテ亦二主義アリ一ハ知ルト知ラサルトヲ問ハス重要ナル事項ヲ悉ク告知セシムルモノニシテ又一ハ知レルモノ、ミヲ告知セシムルモノナリ前ノ主義ハ保險契約者ニ酷ナリトシテ多ク賛成セラレス多クハ後ノ主義ヲトレリ余ハ我國モ亦後者ニ屬スト信ズ商法三九九條ノ二ニ曰ク「保險契約ノ當時保險契約者カ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ重要ナル事實ヲ告ケサルトキハ……保險者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得トイヘリ惡意ニテ告ケサルトキトハ知リナカラ告ケサルコトナリ知リタル事ヲ告クヘシトスルモノナルヲ以テ知ラサル事項ニ關シテハ告知義務ナシトスル主意ナリ大過失ニ因リテ告ケストイフコトハ大過失ニテ事實ヲ知ラサルコト

、知ル事實ヲ大過失ニテ告ケサルコトノ兩様ニ解セラルモ後者ニ解スルハ相當ナリ從テ吾人ハ我國ハ告知義務ニ關シテ知實主義ヲトルトイフナリ

保險契約者ノ告知スヘキ重要事實トハ危險ニ影響ヲ及ホスモノナリ一層具體的ニイヘハ保險者カ之ヲ知リシナラハ保險ヲ承諾セサリシカ或ハ承諾スルモ其保險料ニテハ承諾セサリシカ或ハ現在ニ異ナル條件期限等ヲ附シタランモノナリ或學者ハ我商法ハ告知義務違反ノ制裁ヲ保險契約ノ解除トスルヲ以テ重要事實トハ保險者カ之ヲ知リシナラハ保險ヲ取結ハサリシナランノ事實ノミトイフモ然ラス危險ニ影響ヲ及ホスモノハ一切之ニ入ルナリ然ラハ何か果シテ重要ナル事實ナルカハ結局ハ事實問題トシテ各場合ニ決セサルヘカラス之ヲ決スルニ當リテハ客觀的ニ決ス故ニ若シ或事實カ實際ニ重要ナルトキハ保險契約者カ重要ナリト思ハサル場合ニテモ告知スヘキナリ之ヲ餘リニ嚴ニスルトキハ保險契約者ハ遂ニ保險ヲ取結ヒ得サルニ至リ寛ニスルトキ法律ニ告知義務ヲ規定シタル主意ヲ破フルヲ以テ判官ヨク其中庸ヲ得ルコトニ勉ムヘシ東京地方裁判所ハ火災保險事件ニ關シ「保險申込者カ保險ノ目的タル家屋ニ付キ所有權ヲ有スルヤ否ヤハ損害保險ノ性質上危險ノ測定ニ重要ナル事項ニアラサルヲ以テ假ニ保險



申込者カ本件家屋ノ所有者トシテ契約ノ申込ヲ爲シタル事實アリトスルモ本件契約ハ無効ナリトイフヲ得サルヲ以テ保險者ハ保險金支拂ノ義務アルモノトストイヘリ(東地四二年七月保險申込人カ家屋ノ所有者ナルカ否カラ重要ナル事實ニ非スト認定シタル例ナリ人ニ依リテハ之ヲ重要ナル事實ト認定スルモノモアラシ)

保險契約カ保險契約者ノ代理人ニ依リテ取結ハレタル場合ニハ兩人トモ知ル事實ヲ告知スヘシ保險契約カ他人ノ爲メニ取結ハレタル場合ニハ保險契約者及ヒ被保險者トモニ告知ノ義務ヲ負フトハ獨逸新法ノ規定ナリ告知義務ノ違反ノ制裁ニ關シテモ諸主義アリ保險契約ヲ全然無効トスル國アリ全然無効トセスシテ保險者ヲ拘束セスト爲サント主張スル學者アリ保險者ヨシテ解除シ得セシムルニ止ムル國アリ單ニ保險金額ノ減少ニ止マラシメント主張スル學者アリ

保險契約ヲ全然無効トスルモノハ我舊商法ナリ此場合ニハ保險者ハ保險金ヲ支拂フヲ要セサルハ勿論ナリ此際保險契約者ハ保險料ノ返還ヲ請求シ得ルカ之ヲ得トスル者ハ曰ク我商法ニハ保險契約カ無効ナル場合ニ保險契約者カ善意ニシ

テ且重大ナル過失ナキトキハ保險料ノ返還ヲ請求スルコトヲ得(三九九)トシ惡意ナルカ大過失アル場合ニハ返還ヲ請求シ得ストスルヲ以テ告知義務違反ノ場合ニハ返還ヲ請求シ得サルナリ保險ナキニ保險料ヲ支拂フコトト爲ルモ开ハ保險者ノ危險負擔ニ對スル報酬ナリ保險者ハ形式タリトモ一旦危險ヲ負擔シタリ故ニ之ニ對スル報酬ヲ與ヘテ可ナリトイヘリ然レトモ保險ハ無効ニシテ保險者ハ毫モ危險ヲ負擔セサルニ形式上負擔シタリトイフハ不可ナリ若シ此際保險契約者カ保險料ノ返還ヲ請求シ得ストスレハ开ハ其保險料ハ損害賠償及ヒ懲罰的ノ性質ヲ有スト説クヘシ保險者ハ保險契約ヲ取結ヒテ勞力ト費用ヲ費ヤシタリ然ルニ保險契約者ノ義務違反ノ爲メニ契約カ無効ナルトキハ之ニ對シテ賠償ヲ請求シ得ルハ當然ナリト説キ而シテ損害賠償ナルトキハ損害ナキトキハ得ラレス又損害ノ額ニ應スル額ニ止マリ保險料全額ヲ其儘ニ保有スルヲ得サルヲ以テ之ヲ豫定ノ違約金又ハ懲罰ナリ保險契約者カ必要ナル告知ヲ爲スヘキ義務ヲ負ヘルニ之ヲ爲ササリシヲ以テ此損失ヲ課スト説クヘシ單ニ懲罰ノモノト説ク者アルモ夫ニテハ不十分ナリ若シ保險者ニシテ之カ爲メニ何等ノ損害ヲ蒙ラサルコトニ必スルトキハ法律ハ常ニ保險料ヲ其儘ニ保有セシムト規定セサルヘシ序

テニイハンニ保險者カ保險料ノミニテ損害ヲ補フニ足ラサルトキハ更ニ之ヲ請求シ得ルナリ保險者ノ損害賠償請求權ハ保險料保有ノ規定ノ爲メニ剝奪セラレタルニ非ス

保險契約ヲ解除シ得トスルモノ 我新商法(三九九ノ二)獨逸保險法ハ然リ保險契約者カ告知義務ニ違反スルトキハ保險者ハ契約ヲ解除シ得トシ此解除權ハ保險者カ保險契約者ノ義務違反ヲ知リタル時ヨリ一ヶ月内ニ行使セシム保險者ハ解除ノ時マテニ取得スヘキ保險料ハ之ヲ取得シ其他ノモノハ返還スルヲ原則トス又解除前ニ生シタル事故ニ關シテハ默秘事項カ事故ノ發生及ヒ保險者ノ給付ニ影響ヲ及ボサル場合ニ限り保險金額ヲ給付セシム

保險金額ヲ減少スヘシト主張スルモノ 最近ニ學者ノ主張スル所ニカ、リ未タ國法ト爲ラス彼等ハ曰ク保險契約者ヲシテ告知義務ヲ負ハシムルハ保險者ヲシテ十ニ危險ノ測定ヲ爲シ得セシムル爲メナリ而シテ多ク知ルトキハ多クノ危險アリトシテ保險料ヲ高クスルカ保險金額ヲ少クシ少ク知ルトキハ少クノ危險ナリトシテ保險料ヲ廉クスルカ保險金額ヲ多クス告知ハ畢竟保險者ヲシテ保險料又ハ保險金額ヲ増減スル材料ノミ故ニ告知ナキトキハ保險金額ヲ減少シ得

セシムレハ足り必スシモ無効又ハ解除セシムルニ及ハストイヘリ告知義務ヲ舊物トシ代フルニ回答義務ヲ以テセントスル者ハ之ヲ主張ス常ニ保險契約者ノ利益ヲ慮カルモノナリ之ニ反對スル者ハ此ノ如キハ曖昧ヲ増スモノナリ假ニ純理ニ於テ可トスルモ事實ノ不告ハ危險ノ測定ニ何程ノ影響ヲ及ボシタルカ從テ保險金額ヲ幾許減少スヘキカヲ知ルトコト難ク一事件毎ニ多クノ爭ヲ生スルヲ以テ寧ロ一刀兩斷ニ契約ヲ無効又ハ解除トスヘシ尙純理ヨリイフモ事實ノ不告ハ單ニ保險料又ハ保險金額ノ多少ニ影響スルニ止マラスシテ大ニ契約取結ノ有無ニ影響ス保險者カ或事項ヲ知ルトキハ其保險料ニテ承諾セシテ尙多クヲ要求シタルナラン又其保險金額ニテハ承諾セス之ヨリモ少クシタルナラン然レトモ或事實ヲ知ルトキハ全ク保險ヲ取結ハサリシコトアラン而シテ重要事項ハ契約取結ノ有無ニ大影響ヲ及ボスト見ルハ至當ナルヲ以テ契約ヲ全然無効又ハ解除トスルヲ可トス減少主義ニヨルモ必スシモ常ニ保險金額ノ減少ニ止マラサルヘシ不告ノ事實カ大ニ重要ナルトキハ保險金額ヲ尤モ減少シ減少ノ極ハ毫モ給付セサルニ至リ結果ニ於テ無効ト等シキコトアラン減少主義ハ此ノ如キ場合ヲモ認ムルモノナルヤ或ハ單ニ保險金額ノ減少ニ止メ全然給付セサル場合ハ認めサル

保險契約者カ重要ナル事實ヲ告ケサルトキハ保險者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ  
 得但保險者カ其事實ヲ知り又ハ過失ニ因リテ之ヲ知ラサリシトキハ此限ニ在ラ  
 ス此但書ノ解釋ニ關シ說分カル甲說曰ク但書ノ場合ニハ保險契約者ニハ告知義  
 務ナシ告知ハ保險者カ知ラサル事項ヲ告知スルナリ知ル事項ヲ告知スルニ非ス  
 知ル事項ヲ告ク必要ナシ商法ノ條文ニハ(一)保險契約者ハ重要ナル事實ヲ告クル  
 コトヲ要ス(二)保險契約者カ重要ナル事實ヲ告ケサルトキハ保險者ハ契約ノ解除  
 ヲ爲スコトヲ得ト規定セリ而シテ但保險者カ其事實ヲ知ルトキハ此限ニ在ラス  
 トシ此但書ハ(一)即チ告知義務ノ規定ノミニ罹リ即チ保險者カ其事實ヲ知ルトキ  
 ハ保險契約者ハ告知義務ヲ免カルナリト論セリ法文ノ解釋トシテ往々此ノ如ク  
 分解スルコトアレトモ本條ニ關シテハ此ノ如ク分解スルニ及ハス乙說曰ク此條  
 文ハ此ノ如ク分解スルヲ得ス法律ハ或場合ニ契約ヲ解除スルヲ得トシ而シテ但  
 書ヲ以テ其解除スルヲ得サル場合即チ例外ヲ示シタルナリ然ルヲ解除ヲ規定ス  
 ル主タル規定ヨリ前文ヲ分離シ但書ヲ前文ノミニ適用スルヲ得ス此ノ條文ヲ分  
 解スルコトハ不可ナリ尙假ニ上述ノ如ク二個ニ分解シ即チ告知義務ノ規定ト義

務違反ノ制裁規定トスルモ但書ハ制裁規定ニ適用セサルヘカラスト論セリ法理  
 論又ハ立法論トシテハ兩說ノ正否ヲ深ク研究セサルヘカラサルモ我商法ノ適用  
 トシテハ何レノ說ヲ採ルモ結果同シ

余ハ此マテハ告知義務トハ重要ナル事項ヲ告クル義務ナリトイヘリ之ヲ告知義  
 務ノ主要ナルモノトシ又正確ニ解スルトキハ之ノミニテモ足ルナリ重要ナル事  
 實ヲ告クルトハ重要ナル事實ヲ眞實ニ告クルコトニシテ不實ヲ告ケサルコトナ  
 レハナリ然レトモ見方ニヨリテハ重要ナル事實ヲ告ケサル消極的ノ事即チ不告  
 若クハ隱秘ト積極的ニ不實ヲ告クル事トハ異ナリトイフヲ得我商法ハ之ヲ書キ  
 分チ殊ニ前者ニアリテハ重要ナル事實トイヒ後者ニアリテハ重要ナル事項トイ  
 ヘリ故ニ別ニ説明スルヲ可トス先ツ事實ト事項ノ差如何ト問ハンニ余ハ此場合  
 ニ差ナシト信ス事實トイフモ可ナレハ事項トイフモ可ナリ

不實ノ告知ハ告知義務ノ違反ナリ我商法ハ不實ノ告知ヲ事實ノ不告ト同視シ其  
 制裁トシテ何レモ契約ノ解除トセリ然レトモ各自ノ解釋ニ於テ主觀客觀ヲ論ス  
 ルニ當リテハ二者ノ間ニ差アリ保險契約者ニ事實不告ノ責ヲ負ハシムルニハ彼  
 ハ事實ヲ知ルヲ要シ不告ナル客觀的原素ノミニテハ足ラス知リナカラトノ主觀

的原素ヲ要スルナリ然レトモ不實告知ニアリテハ必スシモ主觀的原素ヲ要セス  
保險契約者カ不實ノ告知ヲ爲スニ當リ不實ト知リナカラ告クルコトアリ即チ  
惡意ナク或ハ知ラスシテ告クルコトアリ即チ事ノ眞偽ヲ知ラスシテ告クルナリ  
惡意ニ非ス無鐵砲ナリ而モ契約ノ解除ト爲ルナリ或學者ハ此場合ニモ契約ノ解  
除ト爲ルニハ保險契約者ハ事ノ不實ナルヲ知ルヲ要ス即チ主觀的原素ヲ要スト  
イフモ余ハ之ニ同意セス

獨逸ノ主義ハ前ニ述ヘタリ初メ獨逸ニアリテ海上保險ニ關シテハ事實ノ不告ニ  
ツキ制裁ヲ附スルハ保險契約者ノ惡意ノ場合ニ限り不實ノ告知ニツキテハ其善  
意惡意ヲ問ハサルコト明カナリキ然レトモ一般ノ保險ニモ之ト同一ニスヘキヤ  
否ヤニ關シテハ學者ノ意見分カレレビスリヒテンフェルス等ハ同一ナリトイヒコ  
ザックリチーガー等ハ然ラストイヒタリキ今ヤ保險契約法ニテ定メタルヲ以テ  
最早從來生シタル如キ議論ヲ生スルコトナシ

保險法カ保險契約者ニ告知義務ヲ負ハシムルハ各國同一トシ其理由ニ至リテハ  
國ニヨリ又學者ニヨリテ説ク所ヲ異ニス他ノ諸説アリ

危險測定説 保險ハ危險ノ大小ヲ基礎トシ之ニヨリテ保險料ヲ定メテ營業スル

モノニシテ先ツ事故發生ノ必諒程度ヲ知ルヲ要ス然レトモ事故ノ發生ニハ種々  
ノ事情アルヲ以テ之ヲ基礎トシテ計算セサルヘカラスナルニ保險者自ラ之ヲ知ラ  
ス故ニ尤モヨク之ヲ知ル保險契約者ヲシテ告知セシムルナリ即チ告知ハ保險者  
ヲシテ技術的統計的ニ計算ヲ爲サシムル基礎ヲ與フル爲メナリトイヘリ時トシ  
テ技術説ト稱シレリ等ノ唱フル所タリ此説ヲ採ル者多シ尙此論者ハ獨逸保  
險法案理由書ニ「保險ヲ適當ニ營マント欲セハ保險者ハ其引受ケントスル危險ノ  
種類及ヒ大小ニ關シ精密ナル智識アルヲ要ス而シテ此智識ヲ得ルニハ保險契約  
者ノ協力ヲ要スルヲ以テ危險事情ヲ告知スルヲ保險契約者ノ義務トシタリトイ  
ヘルヲ引照スルヲ常トス此説ニモ一理アリ保險者ヲシテ營業セシムルニハ保險  
ノ基礎タル危險測定ヲ全カラシメサルヘカラス然レトモ這ハ各個ノ保險契約ニ  
關スルモノニ非スシテ保險營業ヲ論スルモノナリ各個ノ契約ニ此ノ如キ點マテ  
モ考フヘカラスト駁スル者アリ

誠意説 或ハ保險學者殊ニ英米ノ學者ハ保險ハ最高誠意ノ契約ナリ最高ノ誠意  
ヲ要スルカ故ニ保險契約者ハ誠意ニ何事ヲモ告知セサルヘカラストイヘリ而シ  
テ或者ハ此告知義務ハ全ク私法上ノ觀念ニ基クトイヒ他ノ者ハ私法ニ基クモ公

益ニ大關係ヲ有スト説クナリ何故ニ保險ハ最高誠意ノ契約ナルカニ遡リテ考フルトキハ保險者カ測定ニ困難ナル危險ヲ基礎トシテ保險料ヲ定メ或ハ保險ヲ引受クルカ故ナリ從テ保險契約者ハ彼ニ何事ヲモ告知セサルヘカラストイフニ至リ一步ヲ進ムレハ測定説ニ歸スルナラン保險ハ最高誠意ノ契約ナリトスレハ保險契約者ニ告知ノ義務アリトスルコト明白ト爲ルモ何國ノ法律ニモ保險ハ最高誠意ノ契約ナリト明言セス學者ハ契約ノ性質ヨリ此ノ如ク推解スルノミ而シテ此ク推解スル順序トシテ危險ノ豫知シ難ク種々ノ方法ニヨリテ測定セサルヘカラサルコトヲ考ヘ自ラ測定説ニ歸ストイフナリ

平等説 契約ノ當事者ハ平等ノ關係ニ存セサルヘカラスト一方ハ萬事ヲ悉知ストスレハ他方モ萬事ヲ悉知セサルヘカラスト保險者ハ保險契約者ニ何事ヲモ告知スルヲ要スルト等シク保險契約者モ保險者ニ何事ヲモ告知セサルヘカラスト保險アリテハ保險者ヨリモ何事ヲモ告知セサルヘカラストシ保險者ハ之ヲ告知セリ唯實際ニ於テ彼ヨリ告知スル事實少ナキノミ然ルニ保險契約者ヨリ告知スヘキ事實ハ多キカ故ニ實際ノ結果ニ於テ差ヲ生スルノミトイヘリ或ハ説キテ保險契約ハ射倖契約ナリ當事者双方トモニ未定ヲ目的トシテ契約ヲ爲スナリ未定ハ双

方ニ平等ナラサルヘカラスト未定ノ平等ヲ得ルニハ兩方トモニ十分ノ告知ヲ爲サルヘカラスト十分ノ告知ハ保險ノ射倖的性質ヨリ出ツトイフコトアリテ之ヲ射倖説ト稱ス獨逸ニ於テハリヒテンフェルス之ヲ主張セリ

合意説 契約ハ合意ニ基クモノナリ合意ハ契約ノ要素ニ關シテ存スルヲ要ス而シテ契約ノ要素ハ契約ニヨリテ異ナレリ或ハ契約ニ要素ナラサルモノニシテ他ノ契約ニハ要素ナルコトアリ一般契約ニ要素ナラサルモノニシテ保險契約ニハ要素ナルモノアリ又契約ノ成立ニハ單ニ契約ノ要素ニ關シテ意思ノ合致アルヲ要スルノミナラス要素トイヒ得サル原素ニ關シテモ意思ノ合致アルヲ要スナキトキハ場合ニ從ヒ契約ヲ無効トスルコトアレハ解除スルコトアレハ或ハ確定ニ成立セシメテ義務違反者ニ賠償ノ責ヲ負ハシムルコトモアルヘシ保險契約ニテハ當事者ハ危險ニ關シテ意思ノ合致アルヲ要ス危險ニ關スル意思ノ合致トハ事故ノ種類事故ト被保險物ノ關係及ヒ事故發生ヨリ生スヘキ損害ナリ此點ニ合致アルニハ保險者ハ事故ノ發生ニ關スル重要ナル事實ヲ知ラサルヘカラスト而シテ自ラ知ルコト困難ナルヲ以テ保險契約者ヲシテ告知セシメ之ヨリシテ告知義務ヲ生

ストイヘリ此説ヲ採ル者多ク殊ニマルスノ如キハ精細ニ之ヲ論述セリ此説ヲ貫クトキハ保險者ハ重要ナル事實ヲ知ラサルトキハ契約ハ常ニ瑕疵アルモノトシ客觀的ニ知不知ヲ決シ不知ナルトキハ常ニ瑕疵アリトシ決シテ保險契約者ノ知リテ告ケサルカ知ラスシテ告ケサルカヲ問フヘカラス即チ保險契約者ノ主觀的分子ヲ省ミルヘカラス從テ之ヲ省ミル規定ヲ本説ニテ説明センニハ保險契約者ニシテ若シ其知ル所ヲ告クルトキハ最早重要ナル一切ノ事實ニ關シテ凡テ意思ノ合致アルモノト看做ストイフカ或ハ此場合ニハ合致ナケレトモ法律上合致アルモノト同視ストイフカ或ハ此場合ニハ合致ナキモ便宜上理論ヲ曲ケテ合致ナクトモ可トスト言ハサルヘカラス此等ハ合意論者カ各自自國ノ規定ヲ説明スルニ當リテ苦ム點ナリ

尙合意説ノ一トシテ保險契約ニアリテハ保險契約者ハ重要ナル事實ヲ告知スルコトヲ契約スルモノナルヲ以テ此黙約ニ從ヒテ告知スル義務ヲ負フトイフモノアリ此説ハ告知義務ノ理由ヲ十分ニ説明ストイフヲ得ス黙約スルトキハ如何ナル契約ニアリテモ黙約者ハ之ニ從ヒテ履行スヘキハ當然トシテ保險契約ニ限ラサルナリ吾人ハ唯保險契約者ニ限リテ何故ニ此黙約ヲ爲スモノト看做スカヲ知

ラントスルニ關シテ爭フナリ

此外ニ特ニ告知義務ノ法理論ヲ説明セント欲スルニハ非サルモ其説明ニ一歩ヲ進メント欲シテ保險契約者ノ告知義務ハ賣主ノ瑕疵擔保ノ義務ニ類ス賣主ハ賣買ノ目的物ヲ示シ瑕疵ヲ隱秘スヘカラスアルト等シク保險契約者ハ保險ノ目的ノ何タルヲ示シ且事實ヲ隱秘スヘカラストイフ者アリ素ヨリ何レモ有償ノ双務契約ニシテ相類スル點アリ然レトモ法律ハ賣買ニ關シテ殊更ニ賣主ニ告知義務アルコトヲ規定セサルニ保險ニ關シテ保險契約者ニ告知義務アルコトヲ規定セルヲ以テ吾人ハ此區別ノ理由ヲ問フナリ

### 他人保險

保險契約ハ自己ノ爲メニ保險契約ヲ取結フハ通常ナリ然レトモ又保險契約ハ他人ノ爲メニ之ヲ取結フコトヲ得(四〇一、四〇二)

他人ノ爲メニスル保險ハ又他人ノ計算ニ於テスル保險トイヒ初メハ海上保險ニ於テ存シ法律モ亦海上保險ニ關シテ規定シタルノミ海運ニアリテ船主ハ貨主ニ對シテ多クノ責任ヲ負フヲ以テ自己ノ爲メニ保險ヲ附スルコトアリ或ハ貨主ノ爲メニ之ヲ附スルコトアリ又間屋カ多クノ貨物ヲ海運ニ附スルニ際シテハ委託

者ノ爲メニ保險ヲ取結フコトアリ法律モ之ヲ認メテ規定シタルナリ獨佛等ノ商法然リ(獨七八二佛三三二)海運ニアリテ船主ハ此保險ヲ爲ス必要アリトセハ陸運ニ於テモ運送人ハ此保險ヲ爲ス必要アリ問屋ニ必要ナレハ倉庫業ニモ必要ナリ從テ今ヤ凡テノ損害保險ニ認メラレテ損害保險ノ總則ニ規定セラレ尙進ンテ或國ハ遭難保險ノ如キ生命保險ニモ之ヲ認メテ法律ニ規定シ益其範圍ヲ擴張セントセリ我國ハ損害保險ノ總則ニ之ヲ規定シ保險契約ハ他人ノ爲メニモ之ヲ爲スコトヲ得トシ而シテ之ヲ生命保險ニモ準用セリ(四〇一、四三三)

他人ノ爲メニ爲ス保險ニシテ其他人ヨリ委任ヲ受ケテ爲スモノト委任ヲ受ケスシテ爲スモノトアリ

甲 委任ヲ受ケテ爲ス場合 此場合ノ中ニハ委任ヲ受ケテ代理人ト爲リ而シテ保險者ト契約ヲ爲スモノアリ此場合ハ本間ノ中ニ入ラス如何ナル契約ニテモ本人ノ委任ヲ受ケテ代理人之ヲ取結ヒ本人ヲ權利者義務者トスルハ通常ニシテ保險ニ特別ノコトニ非サレハナリ此場合ニハ代理人ハ保險者ニ對シテ何等ノ權義ヲ有セス本人之ヲ有ス又他人ノ委任ヲ受クルモ委任ハ受任者ト他人トノ間ノ關係ニ止マリ受任者ハ代理人ニ非サルコトアリ此場合ニハ保險者ニ對シテ義務ヲ

負フ者ハ保險契約者ニシテ權利ヲ有スル者ハ被保險者ナリ茲ニ他人保險トイフハ此場合ノミナリ而シテ民法ニ第三者ノ爲メニスル契約トシテ規定スルニ相當ス民法ニハ(民五三七)契約ニ依リ當事者ノ一方カ第三者ニ對シテ或給付ヲ爲スヘキコトヲ約シタルトキハ其第三者ハ債務者ニ對シテ直接ニ其給付ヲ請求スル權利ヲ有ス前項ノ場合ニ於テ第三者ノ權利ハ其第三者カ債務者ニ對シテ契約ノ利益ヲ享受スル意思ヲ表示シタル時ニ發生ストシ本間ノ場合ニハ保險契約者ト保險者ノ間ニ保險契約アリテ保險者カ被保險者ニ對シテ保險金額ヲ給付スヘキコトヲ約スレハナリ故ニ保險法ニ特別ノ規定ナキトキハ被保險者ハ保險者ニ對シテ直接ニ保險金ヲ請求スル權利ヲ有シ此權利ハ被保險者カ保險者ニ對シテ保險契約ノ利益ヲ享受スル意思ヲ表示シタル時ニ發生スルナリ然レトモ本間ノ場合ハ被保險者ハ保險契約者ニ委任シタル場合ナルヲ以テ初メヨリ保險契約上ノ利益ヲ享受スル意思ヲ表示シタルモノトシ再ヒ表示スルコトヲ要セス

乙 委任ヲ受ケスシテ爲ス場合 此場合ノ中ニハ其旨ヲ保險者ニ告ケサルモノト告ケタルモノアリ告ケサル契約ノ效力ニ關シテハ國ニヨリテ異ナレリ獨逸其他ノ國ハ之ヲモ有效トスルモ我國ハ此ノ如キハ弊害ヲ生ストシテ無効トシ告ケ

タル場合ニノミ有效トス而シテ有效ノ場合ニハ被保險者ハ當然其契約ノ利益ヲ享受シ常ニ自由ニ之ヲ處分スルコトヲ得獨逸法ハ被保險者ハ其權利取得ノ後ニモ之ヲ行使スルニハ保險證券ヲ有スルヲ要ストカ證券ナケレハ保險契約者ノ同意ヲ要ストカ或ハ保險契約者ハ保險契約上ノ權利ヲ處分スルヲ得トカ規定スルモ我國ニハ之ヲ規定セス(獨七四、七五、七六)被保險者ハ保險金請求權ヲ得ルニ止マリ保險料支拂ノ義務ヲ負ハス唯保險契約者カ破産シタル場合ニ保險金請求權ヲ續有セント欲スルトキハ自ラ保險料ヲ支拂フヲ要スルノミ(四〇六)

此場合ノ契約モ民法ニ規定スル第三者ノ爲メニシタル契約ニ當ルナリ然レトモ前述ノ如ク民法ニハ第三者ノ權利ハ第三者カ利益享受ノ意思ヲ表示シタル時ニ發生ストセルニ商法ニハ被保險者ハ當然契約ノ利益ヲ享受ストシ利益ヲ強得セシメタリ從テ批難者ヲ生シ利益ハ自己ノ利益ナリ之ヲ得ント欲スル者ニハ與フヘキモ欲セサル者ニ與フルヲ要セス現今ハ相續遺贈ノ如キ場合ニモ受益者ノ意思ヲ問フニ保險契約上ノ利益ヲ受クルコトニ關シテ受益者ノ意思ヲ無視スルハ不可ナリ又人ハ自己ノ知ラサル中ニ保險金請求權ヲ取得セリトスルハ滑稽ナリトイヘリ辯護者ハ曰ク事ノ明確ヲ欲スルニハ被保險者ヲシテ當然利益ヲ享受セ

シメサルヘカラス保險契約者カ保險者ト保險契約ヲ爲シタルニ契約ハ未タ成立セズ被保險者ノ意思表示ヲ待チテ成立ストスルトキハ保險者ハ迷惑ス左レハトテ契約ヲ成立セシメ保險契約者ニハ保險料支拂ノ義務ヲ生セシメナガラ他方ニハ保險金請求權ヲ生セシメサルハ不權衡ナリ又之ヲ生セシメ一旦保險契約者ノ有ニ歸セシメ被保險者ノ意思表示ヲ待チテ移轉セシムルハ不可ナルヲ以テ初ヨリ當然被保險者ニ生ストスルヲ可トス利益ハ強得セシメラル、モ可ナリ享有ヲ欲セサルトキハ拋棄スレハ可ナリ又此ノ如キ強得ハ運送ニ於ケル荷受人ニモ存シ保險ニ限ラストイヘリ余ハ前説ヲ可トス假ヒ保險タリトモ利益ヲ強得セシムヘカラス實際ニハ或ハ之ヲ便トセンモ少クトモ理論上人ニ利益ヲ強イ不知ノ間ニ契約上ノ權利ヲ取得セシムルハ非ナリ

他人保險ノ法理上ノ性質ニ關シテハ種々ノ説アリ

直接代理説 保險契約者ハ被保險者ノ代理人ト爲リ彼ノ爲メニ契約ヲ爲シ被保險者ヲシテ當事者タラシムルナリト此説ハ一部分ヲ説明スルニ止マルナリ之ニヨルトキハ被保險者ハ之ニヨリテ保險金請求權ヲ直チニ取得スルコトヲ説明スルモ保險料ヲ支拂フヲ要セサルコトヲ説明スルニ足ラス



間接代理説 保險契約者ハ自ラ契約シ自ラ當事者ト爲リテ權利義務ヲ負フナリ而シテ自己ノ得タル權利義務ヲ必ス被保險者ニ歸屬セシム即チ保險契約者ハ取次人ナリト此説モ一部分ヲ説明スルニ止マルナリ之ニヨリテ保險契約者カ自ラ保險料支拂ノ義務ヲ負擔スルコトヲ説明シ得ルモ被保險者カ直接ニ保險金請求ヲ取得スル點ヲ説明スルヲ得ス

混合説 直接代理説ハ此契約ノ一半ヲ説明シ間接代理説ハ他ノ一半ヲ説明スルニ止マル宜シク合シテ全部ヲ説明スヘシトエーレンベルヒノ説ク所ナリ保險契約者ハ被保險者ノ爲メニ直接代理ヲ爲シ彼ヲシテ直接ニ保險金請求權ヲ得セシメ間接代理ヲ爲シテ自ラ保險料支拂義務ヲ負フナリ故ニ此契約ハ二種ノ代理ノ一半ヲ割キ合シテ一種特別ノ制度トシタルナリトイフナリ巧ミナル如クナルモ不可ナリ直接代理ニテモ間接代理ニテモ此ノ如ク分割シ得ルモノナルヤ比喩トシテハ可ナルモ學説トシテハ未タシ

第三者利益説 此契約ハ民法ニ規定スル第三者ノ利益ノ爲メニスル契約ノ一例ナリ保險契約者ハ被保險者ニ利益ヲ得セシメント欲シテ保險者ト契約ヲ爲シ自ラ義務ヲ負ヒ權利ノミヲ被保險者ニ與フルナリ故ニ此契約ニ關シテハ民法ニ規

定スル第三者ノ爲メニスル契約ノ原理ニ從ヒ解決スヘシ(民五三七)ト此説ニ對スル批難ハ所謂第三者ノ爲メニスル契約ノ觀念未タ發達セサルヲ以テ之ニテ説クハ未タ説明ノ全キヲ得タルモノニ非ス又第三者ノ爲メニ爲ス契約トハ保險契約者ハ自己ノ被保險利益ヲ保險ニ附シ第三者ヲシテ其利益ヲ得セシムル契約ニシテ本問ニ於ケル如ク被保險者ノ被保險利益ヲ保險ニ附シ自己ハ保險料ヲ支拂フニ止マルモノヲ容レス此説ハ淺薄ナル説ナリ未タ深く法理ニ入りテ説明セス保險契約者ハ被保險者ノ爲メ保險契約ヲ爲ストイフヲ換言シテ或人カ第三者ノ爲メニ契約ヲ爲ストイヒシニ過キス固ヨリ此見地ヨリイフトキハ此契約ハ第三者ノ爲メニ爲ス契約ノ一例ニ相違ナキモ更ニ深ク其所以ヲ説キ又普通ノ第三者ノ爲メニスル契約トノ異同ヲ説キ更ニ代理トノ關係ヲ説明セサルヘカラストイフニアリ

他人ノ爲メニスル保險ノ一例トシテ獨逸ノ學生災害保險ヲ示サン(生命保險ニ屬スル一例ナレトモ便宜上茲ニ示スナリ)

獨逸ニ於テハ商業學校ハ災害ニ關シ學生ノ爲メニ保險者ト保險契約ヲ取結フ例アリ學校ハ保險契約者トシテ保險料ヲ支拂フハ勿論自ラ保險金ヲ請求シ更ニ之

ヲ學生ニ與フ是レ學生ヲシテ直接ニ保險金ヲ請求セシムルトキハ種々ノ爭ヲ生シ殊ニ填補額ノ協定ニ困難ヲ生スレハナリ然レトモ一九〇八年ノ保險契約法發布後此點及ヒ他ノ點ニ關シテ多少ノ差ヲ生シタリ

獨逸新法ハ被保險者ノ爲メニ爲ス保險ノ保險金請求權ハ被保險者ニ屬スルハ勿論トシ之ヲ強行的規定トシタルヲ以テ保險者ト學校トノ契約ニヨリテ學校ハ之ヲ取得シ得サルニ至レリ故ニ爾後ハ保險者ハ填補額ノ確定マテハ一切ノ權利ヲ學校ノ手中ニ止ムヘシト約スルニ至レリ學校カ保險證券ヲ有スル以上ハ學生ハ直接ニ保險金ヲ請求シ得サルモ若シ學校カ之ヲ學生ニ讓渡ストキハ保險者ハ學生ト直チニ直接談判ヲ爲ス位地ニ立ツ處アルヲ以テ此ノ如ク約シテ學校ノミト直接交渉セントスルナリ

此保險ニ於テハ學校ハ保險者ニ對シテ告知ノ義務ヲ負フ學生モ保險者ニ對シテ告知義務ヲ負フカ否カハ議論アリ負フトイフ者多キモ其中ニ分レ學生ハ直接ニ保險者ニ對シテ告知スルヲ要ストイフ者ト學校ニ對シテ告知スレハ保險者ニ對シテ告知シタルコトト爲ルトイフ者アリテ後説ヲ採ル者多シハンノーバー商業學校ニ於テハ入學ノ際學生ニ對シ保險ニ關スル注意書ヲ與ヘ其中ニ災害發生ノ際ハ直チニ學校ニ告知スヘク忘ルトキハ保險金ニ關スル權利ヲ失フヘキ旨ヲ記載セリ

### 保險ノ開始

保險ハ保險契約成立ノ時ヨリ開始スルモノナリ換言スレハ保險契約ハ其成立ノ時ヨリ效力ヲ有シ保險契約者ハ之ニ從ヒテ保險料ヲ支拂フヘク保險者ハ其以後ニ生シタル損害ヲ填補スヘキモノトス之ヲ理論トス然レトモ時トシテハ便宜上此理ヲ貫カス保險契約ノ成立前ニ效力ヲ生セシムルコトアリ獨逸保險法ハ保險契約カ年月週ノ如キ時ヲ以テ定メタル場合ニハ保險ハ契約日ノ正午ヨリ開始スルモノトセリ故ニ午前ニ事故生シタル場合ニハ保險成立後タリトモ被保險者ニ保險金額ヲ得セシメス又午後ニ生シタル場合ニハ未タ保險契約ヲ成立セサルモ保險金額ヲ請求セシムルナリ前ノ場合ハ多クノ不都合又ハ問題ヲ生セサレトモ後ノ場合ニハ多クノ不都合及ヒ問題ヲ生ス保險契約者カ一時ニ事故ノ發生シタルコトヲ知リテ保險契約ヲ申込ミ保險者之ヲ承諾シテ保險ヲ成立スル場合ニモ損害ヲ填補スヘキモノナリヤ然リト言フ者事故カ午後ニ生シタルヲ以テ保險者ハ填補セサルヘカラス法律ノ規定トシテ已ムヲ得サルナリ法律ハ時間ノ爭ヲ起

サシメサル爲メニ一刀兩斷ニ此ノ如クシタルナリトイヒ然ラスト言フ者ハ保險契約者カ事故ノ發生ヲ知リナカラ保險ヲ申込ムハ危險ヲ擔保セシムルニアラスシテ或金額ヲ請求セントスルナリ既ニ保險ニ非ストイヘリ獨逸法ノ下ニハ何レノ解釋ハ正シキカハ別トシ此ノ如キ法律ハ不可ナリ宜シク保險ノ正理ヲ貫キ保險ハ契約成立ノ時ヨリ將來ニ效力アルモノトスヘシ唯當事者カ特權ヲ以テ其效力ヲ既往ニ遡ラシムルトキハ之ニ從フノミ獨保二二一

獨逸法ノ下ニハ保險ハ契約日ノ正午ヨリ開始スルヲ以テ保險者ハ午前ノ損害ハ填補スルヲ要セス午後損害ヲ填補スヘキノミ分割シ得ル損害ハ正午ヲ以テ分割シ午後ノ分ノミヲ填補スヘク分割シ得サルモノナルトキハ損害ヲ生シタリトイフ時機カ午後ナル場合ニ於テノミ之ヲ填補スルヲ要ス例ハ火災カ長屋ヲ午前ヨリ燒キ初メ正午マテニ三棟ヲ燒キ落シ正午ヨリ二棟ヲ燒キ初メテ燒落シタルトキハ保險者ハ二棟ノ損害ヲ填補スヘシ又盜賊カ千兩箱ヲ一ツ宛奪ヒ去リ午前ニ三個午後ニ二個ヲ盜ミタルトキハ保險者ハ二個分ヲ填補スヘシ火災カ午前ニ生シ火カ全家ニ廻ハリオルトキハ燒落ハ午後ナルモ既ニ午前ニ生シタル損害トシテ填補ヲ要セス然レトモ午前ニ火カツキ出シテ少々燃エ初メ正午ヨリ盛ニナリ

テ午後ニ燒落スルトキハ保險者ハ全部ヲ填補スヘシ盜賊忍ヒ入り午前ニ悉ク荷積ヲ爲スモ未タ奪ヒ去ラサルトキハ午前ノ損害ニアラス午後ニ奪ヒ去ルニ至リテ損害ト爲リ即チ午後ノ損害ナリ從テ保險者ハ全部ヲ填補セサルヘカラス保險ノ終了ノ場合ニ關シテイフモ亦同シ保保者ハ終了前ニ生シタル損害ハ填補シ然ラサルモノハ填補セス分割スヘキトキハ分割シ不可分ナルトキハ損害ヲ生シタリト斷定シ得ル時期ハ保險ノ終了前ナル場合ニノミ填補ノ責ヲ負フ終了ノ日ニ於ケル終了ノ時ニ關シテハ何等特別ニ定ムル所ナキヲ以テ當事者ノ定マル所ニ委シ當事者之ヲ定メサルトキハ其日ノ終了スルトキ即チ午後十二時ヲ以テ終了スルモノト解スヘキナリ

### 被保險利益

保險契約ハ金錢ニ見積ルコトヲ得ヘキ利益ニ限り之ヲ以テ其目的ト爲スコトヲ得(三八五)民法ニハ債權ハ金錢ニ見積ルコトヲ得サルモノト雖モ之ヲ以テ其目的ト爲スコトヲ得トスレトモ(民三九九)保險契約ノ目的ハ金錢ニ見積ルコトヲ得ヘキ利益ニ限ルトシタリ名ケテ被保險利益ト稱シ事故ノ發生ニヨリテ損害ヲ受クヘキ利害關係ナリ保險思想ノ幼稚ナル時代ハ船舶又ハ積荷ノ所有者ハ其船舶又

ハ積荷ヲ保險ニ附シ之ヲ保險契約ノ目的ト稱シタリシモ積荷ヲ保險ニ附シ得ルハ積荷ヲ所有スルカ故ナリ積荷カ沈没スルトキハ損害ヲ蒙ムルカ故ナリ然ラハ物ノ質權物ニ關スル債權ヲ有スル者モ保險ニ依リテ救済ヲ得ヘク保險ハ畢竟損害ヲ蒙ムル處ニ對スルモノトシ遂ニ廣ク被保險利益トイフニ至リシナリ

損害ハ必スシモ現實ニ存スルモノニ生シタル損害ニ止マラス正當ナル計算ニ依リ將ニ得ントスル利得ヲ得サルニ至ルコトヲモ含ムナリ初メテ此思想ヲ生シタルハ運送貨ノ保險ナリ運送貨ノ保險トハ未收ノ運送貨カ得ラレサル場合ニ保險者ヨリ之ヲ得ントスルモノナリ現實ニ生スル損害ニ非スシテ得ヘキモノヲ得ラレサリシ損害ナリ

被保險利益ハ保險契約ノ目的ナリ保險ノ要素ナリ故ニ茲ニ利益ナケレハ茲ニ保險ナシトノ格言ヲ生シタリ保險契約ヲ取結フモ被保險利益ナカリシトキハ其契約ハ初メヨリ成立セス又被保險利益ニ超過スル保險金額ヲ以テ契約ヲ取結フトキハ其超過部分ニ付テハ保險契約ヲ無効トス(三八六)被保險利益ノ價額ハ保險契約者カ之ニ關シテ保險ヲ附シ得ル最大ノ額ナリ稱シテ保險價額ト云フ

抑被保險利益ノ性質ニ關シテハ種々ノ說アリエレンベルヒハ被保險利益トハ

一定ノ事實ヨリ人ニ財産上ノ損害ヲ被ラシムヘキ關係ナリ被保險利益ノ觀念ハ可能的損害ナル消極的觀念ノ積極的裏面トシテ認ムルコトヲ得ヘシトイヘリ

被保險利益ハ單ニ經濟上ノ利益ヲ指スモノナルヤ經濟上ノ利益ト合セテ法律上ノ利益ヲ爲スモノナルヤハ問題ナリ大多數ノ者ハ之ヲ經濟上ノミノ問題トシエレンベルヒハ被保險利益ノ觀念ハ純粹ナル經濟上ノ觀念ニシテ毫モ法律上ノ觀念ヲ交ヘストイヘリコーネスレーマンケルケル其他多クノ學者ハ此說ナリ我

東京地方裁判所モ此說ナリ曰ク(東地四二年七月)

保險契約ノ目的タル被保險利益ハ法律上ノ利益ニアラスシテ經濟上ノ利益ヲ指稱スルモノナルヲ以テ物件ノ所有者ニ限ラス總テ保險ノ目的タル物件ノ滅失毀損ニ付キ經濟上ノ利害關係アルモノハ其物ニ付キ被保險利益ヲ有スルモノト解セサルヘカラス

然レトモ此ニハ反對者アリテ被保險利益ハ經濟上ノ利益タルト同時ニ法律上ノ利益ナリ被保險利益ニイヘル利益ハ被保險者ノ主觀的觀念ナルカ一般價格ノ觀念タル客觀的觀念ナルカハ人ニヨリテ説ク所ヲ異ニスルモ被保險利益アルニハ被保險者ニ財産的損害ノ生スヘキ可能アルヲ要スルハ明カナリトシ而シテ財産

ハ經濟的内容ヲ有スル法律上ノ觀念ナルヲ以テ被保險利益ノ觀念ハ必ス法律ニ  
 觸レサルヘカラストイヘリ此結果トシテ被保險利益ノ有無大小等ハ經濟ノ變動  
 ニ伴ヒテモ變動スレハ法律ノ變更ニ伴ヒテモ變更ス即チ或物カ經濟上無價ト爲  
 ルトキハ其物ノ所有者カ其物ノ滅失ニヨリ毫モ財產上ノ損害ヲ受ケサルヲ以テ  
 被保險利益ナキニ至ルヘク又或物カ維然トシテ經濟上ノ價值ヲ有スルモ所有者  
 カ法律上毫モ其物ト關係ナキニ至ルトキハ被保險利益ナキニ至ルトイヘリ  
 余思フニ兩者ハ根本ニ於テ異ナル所ナク唯見方説キ方ノ異ナルノミ大多數ノ學  
 者カ被保險利益ハ單ニ經濟上ノ觀念ニシテ法律上ノ觀念ニアラストイヘルハ利  
 益ハ利害關係ナリ利害關係ハ財產的關係ナリ財產ノ事ハ經濟上ノ問題ナリトイ  
 フニ過キス而モ經濟問題ナリトイフ中ニ法律ニ基ケル經濟問題ナリトコトヲ  
 合ムナリ蓋シ保險法ノ下ニハ法律ニ認メサル財產若クハ經濟ナルモノナケンハ  
 ナリ現ニエーレンベルヒノ如キモ被保險利益ハ人ニ財產上ノ損害ヲ被ラシムヘ  
 キ關係ナリトイヒ財產ハ法律ニ認ムル財產ナルコト明カナレハナリ唯法律ニ認  
 ムル財產ヲ損害セラル、カ否カラ決スルニ當リテハ最早他ニ法律問題ヲ見スシ  
 テ可ナリ經濟的ニ此事實ハ財產ノ價值ヲ減少セシムルカ否カラ見レハ足ルトイ  
 フナリ

被保險利益ハ損害保險ノ目的ナリ瑞西ノ新法ハ法文ヲ以テ損害保險ノ目的ハ財  
 產上ノ利益ナリト明言セリ當事者ハ保險契約ヲ取結フニ當リテ之ヲ評價ス即チ  
 保險價額ノ評定ナリ一タヒ被保險利益ノ額ヲ定メタルトキハ常ニ之ニ據ラシム  
 ルモノト後ニ事故ノ發生シタル場合ニ再ヒ定メシメテ填補價格ト名ケ之ニ基キ  
 テ填補額ヲ定メシムルモノトアリ何レニスルモ一旦定メタル保險價格ニ重キヲ  
 置キ後ニ價格カ非常ニ減少セサル限リハ其價格ヲ填補價格トスルナリ(獨五七瑞  
 六五)

### 危險

危險ニハ三個ノ意義アリ

一ニ曰ク危險ハ事故ナリ保險ノ目的カ保險者ノ負擔セサル危險ノ發生ニ因リテ  
 滅失シタルトキト云フ場合ハ危險ハ火事洪水等ヲ意味ス又保險ノ目的ニ付キ保  
 險者ノ負擔ニ歸スヘキ危險カ生セサルニ至リタルトキト云フ場合ニモ事故ヲ意  
 味シ危險ハ敵ノ砲撃又ハ捕獲ヲ示スナリ此等ノ場合ニ危險ヲ事故ノ起ル必諒ト  
 解スルトキハ法文ハ意味ヲ爲サス(四一三四〇八)

二ニ曰ク危険ハ必<sup>フロムビリヤ</sup>諒(確カラシキコト)ナリ事故ノ發生スヘキ機會<sup>チャン</sup>ナリ危険ノ變  
 更増加ト云フ場合ノ如シ法文ニ危険カ被保險者ノ行爲ニ因リテ増加シタルトキ  
 ハ契約ハ其效力ヲ失フト云ヘルハ此意味ナリ被保險者カ住宅ニテ火藥煙花等ヲ  
 製造スルトキハ其建物ノ火災ニ罹ル機會多クナリ所謂危険ヲ著シク増加スルコ  
 トノ爲リテ保險ハ效力ヲ失フ此場合ノ危険ヲ事故ト解スルトキハ火災ノ増加ト  
 爲リ意味ヲ爲サス

三ニ曰ク危険ハ事故及ヒ必諒ノ何レニモ解セラレ又明カニ何レニモ解シ得サル  
 モノナリ保險契約ノ當事者カ特別ノ危険ヲ斟酌シテ保險料ヲ定メタル場合ニ其  
 危険カ消滅シタルトキハ保險料ノ減額ヲ請求スト云フ場合ノ如シ  
 此ノ如ク種々ノ意義アルモ多クノ場合ハ必諒ヲ示スモノト見ルヘシ

偶然ノ事故(危険)

保險契約ノ成立スルニハ偶然ナル事故ノ存在ヲ必要トス偶然ナル事故トハ或時  
 機ニ其事故カ生スルカ否カ不明ナルモノナリ兩方面ヨリ觀察スルコトヲ得一方  
 ニアリテハ不可能<sup>ワシイコト</sup>ナルヘカラス決シテ生シ得サル事故ニ關シテハ保險ヲ取結フ  
 要ナシ從テ取結ヒ得ストス他方ニアリテ確定ナルヘカラス必ス生スルコトヲ定

マレルモノニ關シテハ亦保險ヲ取結フ要ナシエーレンベルヒ曰ク不可能ナル事  
 故ニ對シ保險ヲ求メ又ハ確定シタル事故ニ對シ保險ヲ附スルハ背理ナリトス實  
 ニ然リ故ニ保險ニハ偶然ナル事故トシテ可能ニシテ不定ナル事故ノ存在ヲ必要  
 トス之ヲ保險ノ危険トイフ  
 保險ノ存在ニハ偶然ナル事故ノ存在ヲ必要トス不確定ノ事故ナカルヘカラス之  
 ヲ當然トシテ此コトハ今モ變更セス然レトモ其不確定ハ何時ニ存スヘキカ偶然  
 ハ當事者ニ無關係ノ偶然ヲ要スルヤ否ヤニ關シテ漸々變遷シ來レリ  
 初メハ保險契約ノ當事者カ契約ヲ取結フ際ニハ事故ノ發生カ不確定ナルヲ要シ  
 之ヲ客觀的不確定トイフ後ニ至リ事故ハ現ニ發生シオルカ或ハ發生セサルコト  
 確定スルモ苟クモ當事者カ之ヲ知ラサルトキハ不確定ナリトシ其事故ニ關シテ  
 保險ヲ取結フコトヲ許シ之ヲ主觀的不確定トイフ昔ハ必ス客觀的不確定ヲ要シ  
 タルモ今ハ漸々主觀的不確定ニテモ可トシ其中ニハ客觀的不確定ヲ原則トシ例  
 外トシテ主觀的不確定ヲ許スモノアレハ或ハ原則トシテ何レヲモ認ムルモノア  
 リ瑞ノ新法ハ前ノ主義ナリ第九條ニ於テ契約取結ノ際危険カ既ニ消滅スルカ又  
 ハ保險事故カ既ニ發生シタルトキハ保險契約ハ無効トス下シテ第十條ニ「速送

保險契約及ヒ外國ニ在ル目的物ニ關スル火災保險契約ニ付テハ本法第九條ノ規定ヲ適用セストイヘリ我國及ヒ獨逸新法ハ後ノ主義ニシテ保險契約ハ過去ノ危險ニ對シテモ當事者カ其生セサルヘキコト又ハ既ニ生シタルコトヲ知ラサルトキハ之ヲ取結フコトヲ得トイヘリ日三九七獨二

偶然ノ事故ハ當事者外ノ原因ニヨリテ生スルモノタルヘシ當事者殊ニ被保險者ノ故意又ハ過失ニ因リテ生スルトキハ偶然ノ事故トセス少クトモ偶然ノ事故ニヨリ損害ヲ生シタリトシテ填補ヲ爲サ、リキ然レトモ此點モ漸々變更シ被保險者ノ利益ヲ寬和シ來レリ即チ或事故カ被保險者ノ過失ニ因リテ生スルモ尙保險金ヲ得ヘキモノトセリ故ニ學者ハ説キテ保險ニ於ケル偶然事故トハ單ニ相對ニ止マリ絶對ノモノニ非ストカ、偶然事故ハ損害カ之カ爲メニ不利益ヲ被ムル者ノ意思ニ因ラサル事ナリトカ、偶然ナル觀念ハ保險契約ノ成立要素ニ非スシテ保險ノ技術ノ要素ナリトカイヘリ學者ノ説明ハ暫ラク措キ多クノ國ハ被保險者ノ輕過失ニヨリテ事故カ生スルモ保險金ヲ得ルモノトセリ我國ハ事故カ保險契約者ノ輕過失ニ因リテ生シタル場合ニモ保險者ヲシテ責任セシメ瑞西ハ事故カ保險契約者ノ輕過失ニ因リテ生スルモ重過失ニ因リテ生スルモ保險者ヲシテ其責

ニ任セシメ唯重過失アルトキハ重過失ハ程度ニ應シ保險金ヲ減少セシム日三九六、四三一、瑞一四、二獨逸ハ多少異ナリテ一般保險ニ關シテハ事故カ保險契約者ノ輕過失ニ因リテ生スルトキハ保險者ヲシテ責任セシメ責任保險ニアリテハ保險契約者ノ輕過失ハ勿論重過失アルモ保險者ヲシテ責任セシメ遭難保險ニアリテハ保險契約者又ハ遭難者ノ輕過失ハ勿論重過失アルモ保險者ヲシテ責任セシム而シテ生命保險ニアリテハ更ニ區別シ保險契約者カ故意ニ被保險者ヲ死ニ致サシメタルトキハ保險者ハ責任セストシ保險金受取人カ故意ニ被保險者ヲ死ニ致シタルトキハ保險者ハ彼ニ保險金ヲ支拂フヲ要セサルモ保險者ノ相續人ニ之ヲ支拂フコトヲ要ストス獨六一、一五二、一六九、一七〇、一八一

### 保險證券

保險契約ハ諾成契約ニシテ其成立ニ書面ヲ要セス又證據トシテモ之ヲ要セス然レトモ實際ニハ必ス證書ヲ作成シ或場合ニハ特約ニテ之ヲ契約成立ノ要素トシ又或場合ニハ之ヲ唯一ノ證據トス殆ント常ニ保險契約ト一體ヲ成スヲ以テ歐米ニテハ保險證券ヲ示ス、ポリシーナル語ヲ以テ保險契約自體ヲ示スコトアリ用語ヲ保險ト保險證券ニ共用シ例ハ、ダハリユードポリシト云フトキハ定價保險證

券ヲモ示セハ定價保險ヲモ示ス如シ「ポリシー」ハ伊太利語ノ「ポリツツア」ヨリ來リ  
拉丁語ノ「ポリシタシオ」ナリ約束ヲ意味シ後ニハ約束ヲ證明スル證書ヲ意味シ遂  
ニ保險制度ニ専用セラレテ保險證券ヲ示シ又保險契約ヲ示スニ至リシナリ然レ  
トモ我國ニテハ一ヲ保險契約トシ他ヲ保險證券トシ二者ノ區別極メテ明白ナリ  
保險證券ヲ説明スルニ當リ成ルヘク質物引換證及ヒ倉庫證券ト比較研究スヘシ

一 保險者ハ因求證券ナリ

保險者ハ保險契約者ノ請求ニ因リ保險證券ヲ交付スルコトヲ要ス(四〇三)被保  
險者ハ被保險者タル資格ニテハ之ヲ請求スルコトヲ得ス故ニ保險契約者ニシ  
テ之ヲ請求セサル以上ハ保險契約ハ成立シ保險契約者及ヒ被保險者ノ存スル  
ニ拘ハラズ保險證券ナク被保險者ハ普通ノ證據方法ニ依リテ保險金額ヲ請求  
セサルヘカラス

二 保險證券ハ形式證券ナリ

保險證券ニハ左ノ事項ヲ記載シ保險者之ニ署名スルコトヲ要ス

一 保險ノ目的

二 保險者ノ負擔シタル危險

三 保險價額ヲ定メタルトキハ其價額

四 保險金額

五 保險料及ヒ其支拂ノ方法

六 保險期間ヲ定メタルトキハ其始期及ヒ終期

七 保險契約者ノ氏名又ハ商號

八 保險契約ノ年月日

九 保險證券ノ作成地及ヒ其作成ノ年月日

保險證券ハ通常金錢證券ナリ此點ニ於テハ手形ニ類シ貨物引換證倉庫證券ト區  
別セラル

保險證券ハ法定ノ證據證券ニ非ス商法ニハ保險證券ヲ作リタルトキハ保險ニ關  
スル事項ハ其證券ノ定ムル所ニ依ルト云ハス又保險證券ハ保險契約ヲ證スルニ  
必要ナリトモ云ハサレハナリ是レ保險證券ノ貨物引換證及ヒ倉庫證券ト異ナル  
所ナリ然レトモ法律ニ證券ナル名稱ヲ附シ保險契約者ノ請求ニ因リ保險者ヲシ  
テ交付セシムルヲ以テ保險契約ノ證據ト爲ルヲ知リ又請求者ト發行者ノ關係ヨ  
リシテ專ラ保險契約者ノ利益ニ存スルヲ知ルナリ或學者ハ貨物引換證倉庫證券



等ニハ證券ノ所持人ト其發行者ノ間ニ於テ契約ニ關スル事項ハ證券ノ定ムル所ニ依ルコトヲ明言シ保險證券ニハ之ヲ明言セサルモ保險證券ノ性質上當然同一ノ證據力アリト云フモ誤ナリ保險證券ニハ此ノ如キ證據力ナシ有リト云フハ保險證券ノ性質ヲ誤解セル外ニ貨物引換證倉庫證券等ニ關シ殊更ニ掲ケタル明文ヲ蛇足ニ歸セシムルモノナリ

保險證券ハ法定ノ引換證券ニ非ス故ニ保險者ハ保險金額ヲ支拂フニ當リ一般ノ原則ニ依リテ證券ノ引渡ヲ請求シ得ルハ格別トシ保險法ノ規定ニ依リテ特別ノ引換請求權ヲ有スルコトナシ亦貨物引換證倉庫證券等ト異ナル所ナリ

保險證券ハ引渡證券ニ非ス保險證券ハ純然タル債權證券ナルヲ以テ引渡證券ト考フル餘地ナシ保險契約者カ保險證券ヲ引渡スモ保險ノ目的ノ引渡ト爲ラサルコト説明ヲ要セス

保險證券ノ裏書讓渡ヲ以テ當然保險債權ノ讓渡ト爲ルコトナシ保險債權ハ被保險利益ト分離シテ讓渡シ得ルモノニ非ス保險ノ目的ハ保險債權ト分離シテ讓渡シ得ヘク分離シテ讓渡シタルトキハ保險債權ハ消滅シ證券ハ效力ヲ失フ保險ノ目的ト保險債權ヲ合セテ讓渡シタルトキハ保險證券ヲモ讓渡スルハ通常ナルモ

證券ノ讓渡ハ常ニ保險ノ目的及ヒ保險債權ノ讓渡ノ效力ヲ生スト云フヲ得ス畢竟スルニ保險證券ハ單獨ニ讓渡スコトヲ得サルモノナリ

保險證券ハ當然ノ指圖證券ニ非ス保險證券ハ記名證券ニシテ記名式ニ伴フ讓渡ヲ爲サ、ルヘカラス之ヲ指圖式ト爲シ得ルヤ否ヤモ問題ニシテ余ハ否定論者ナリ假ニ指圖式ト爲シ得トスルモ被保險利益ナキ者ニハ保險證券ヲ讓渡シ得サルヲ以テ普通ノ指圖證券トハ異ナルヘシ又指圖式ト爲シ得ト假定スルモ之カ爲メニハ指圖文句ヲ入レサルヘカラス決シテ當然ノ指圖證券ニ非ス

保險證券ノ消極的性質ハ尙多キモ上述ニ依リ保險證券ノ貨物引換證券ト異ナルコトヲ知リ同時ニ有價證券ニ非サルコトヲ知ラン有價證券ヲ定義シテ券面記載ノ權利ヲ行使スルニハ其證券ノ占有ヲ必要トスルモノトスルモ保險證券ハ有價證券ニ非ス何トナレハ保險證券ハ保險債權ノ行使ニ必要ナラス證券所持人ト保險者ノ關係ヲ定ムルニモ必要ナラス又債權ノ讓渡ニモ必要ナラサレハナリ又有價證券ヲ定義シテ法律上券面記載ノ權利ハ證券ニ體現シテ證券自ラ權利ナルカ如キモノトスルモ保險證券ニハ此化體又ハ體現ナキヲ以テ有價證券ニ非サルナリ

保險證券ハ保險契約者ノ請求ニ因リ交付スルコトヲ要ス(四〇三)ルハ我國ノ規定ナルモ他國ニハ請求ヲ俟タスシテ必ス交付セシムルモノアリ獨逸ノ如シ保險證券ハ形式證券ナルモ左程ニ嚴格ナル形式證券ニアラスシテ當事者ハ之ニ多クノ事項ヲ記載スルコトヲ得通常ハ保險者ノミ或記載ヲ爲シ就中自己ノ免責其他自己ノ利益ト爲ルコトヲ記載ス其條項多ク且其意義困難ニシテ保險契約者ハ一見シテ之ヲ解スルヲ得ス不識ノ中ニ受取り而モ其條項ヲ承諾シタルモノト看做サル、ナリ稀ニハ之ヲ一覽セストカ一覽シタルモ主意ヲ知ラサリシト辯スル者アルモ其辯明ハ容易ニ許サレス又保險者ハ一層自己ノ權利ヲ鞏固ナラシメント欲シ保險證券中ニ保險契約者ハ證券中ノ條項ヲ悉ク承諾シタルモノト看做スト記載スルコト多シ茲ニ至リテ保險契約者ノ不利益愈甚シ我商法ニハ之ニ關シ何等ノ規定ヲモ設ケサルヲ以テ如何トモスルヲ得サレトモ獨逸保險法ハ此點ニ關シテ保險契約者ヲ保護セント欲シ保險者ハ保險契約者ヲシテ一定ノ期間(此期間ハ一ヶ月ヲ下ルコトヲ得ス)證券ノ文言ニ對シ異議ヲ述フルコトヲ得セシメ保險契約者カ其期間内ニ異議ヲ述ヘサル場合ニハ保險者ハ保險契約者ハ證券中ノ條項ヲ承認シタルモノト看做ストノ記載ヲ援用スルコトヲ得トシタリ弱者ヲ

保護スル適當ノ規定ナリ(獨三五)

保險證券ハ記名證券ナリ其要件ニ保險契約者ノ氏名アリテ必ス之ヲ記載セサルヘカラス而シテ我國ニハ別ニ之ヲ指圖式トスルコトヲ認メス又保險ノ性質ヨリシテ法律ニ特別ノ規定ナケレハ指圖式ト爲シ得サルモノト信ス無記名式ト爲シ得サルハ當然ナリ獨逸法モ保險證券ヲ指圖式(運送保險ニアリテハ例外)又ハ無記名式ト爲スコトヲ許サス無記名ト爲スモ純然タル無記名證券ト見スシテ免責證券トシテ取扱フノミ即チ債務者ハ所持人ニ支拂フ權利アルモ支拂フ義務ナシトスル證券トシテ取扱フコトアルノミ可ナリ保險證券ノ如キモノハ成ヘク指名證券トシ己ムヲ得サル場合ニ限り指圖證券ト爲スコトヲ許スヘク少クトモ我國ノ現狀ニ於テ然リ

告知書謄本此ハ我商法ニナク獨逸保險契約法ニアルモノナリ告知書謄本トハ保險契約者カ保險者ニ告知シタル事項ヲ記載シタル書類ノ謄本ナリ保險契約者カ告知義務ニ基キテ告知シタル事項ハ保險者ハ記錄シ置キテ後ノ證據ノ爲メニ保存スルヲ常トス保險契約者カ自ラ如何ナル事項ヲ告知シタルカヲ記載シ置クモ可ナランモ保險者ノ記錄ト阻害スルトキハ爭ヲ生スヘク又常人タル保險契約者

カ之ヲ記載スルハ困難ナルヲ以テ保險者ヲシテ其賸本ヲ保險契約者ニ交付セシム必スシモ當然交付スルヲ要セストシ保險契約者ヲシテ請求シ得セシムルニ止メタリ此亦弱者タル保險契約者ヲ保護スル適當ノ規定ナリ(獨三)

### 損害保險契約ノ效力

保險契約ノ效力ハ契約ノ當事者雙方ニ權利義務ヲ生セシムルニアリ一方ノ權利ハ相手方ノ義務ト爲ルヲ以テ何レノ方面ヨリ説明スルモ同一ナレトモ我商法ヲ説クニハ義務ノ方面ヨリスルヲ適當トス

保險契約ノ當事者ハ保險者ト保險契約者ノミナリ被保險者ハ當事者ニ非ス然レトモ契約ヨリ生スル權利ヲ取得スルヲ以テ屢當事者ニ類スル義務ヲ負ハシメラ

保險者ノ義務ハ保險金ヲ支拂フニアリ之ヲ最重トシ他ニ保險證券ヲ交付スル等ノ如キ附隨的ノモノアリ

### 保險者ノ義務(保險金額)

保險者ノ義務ハ事故ノ發生ニ因リテ生シタル損害ヲ填補スルニアリ保險ノ期間ヲ定メタルトキハ其期間中ニ生シタル損害ヲ填補シ期間ヲ定メサルトキハ契約

ニ入ル場合ニ生シタル損害ヲ填補ス或事故カ契約ノ期間中ニ起リ其沈靜シタルハ契約期間後ナルトキハ之ヲ期間中ノ發生トシ之ニ因リテ生シタル損害ヲ填補スヘシ

損害ヲ填補スル方法ハ限定セサルヲ以テ家屋保險ニ於テ家屋ヲ新築シ船舶保險ニ於テ船舶ヲ給付スルモ可ナラン此事最モ保險ノ主意ニ協ハンモ實際ニ爲シ難ク又實際ニ爲ストキハ多クノ争ヲ生スルヲ以テ當事者ハ之ヲ好マス隨テ實際ニ於テハ填補ハ常ニ保險金額ノ支拂ト爲ルナク故ニ保險金額ノ支拂ヲ例トシ損害ヲ填補スル場合填補ノ額等説明スヘシ

損害ノ填補ハ契約ニテ定メタル事故ノ發生ニ因リテ損害ヲ生シタル總テノ場合ニ爲スヘシ海上保險ナルトキハ航海ニ關スル事故ニ因リテ損害ノ生シタル場合ニ填補シ火災保險ナルトキハ火災ニ因リテ損害ノ生シタル場合ニ填補シ而シテ航海事故又ハ火災ノ如何ナルヲ問ハサルヲ以テ若シ廣汎ノ保險ヲ欲セルサトキハ特約ニテ過失火ニ限ルカ或ハ放火雷火等ヲ除外スヘシ

保險者ハ一定ノ事故ヨリ生スル一切ノ損害ヲ填補スルヲ原則トシ三個ノ例外アリ(三九五、三九六)

一 變亂ニ因リテ生シタル損害

變亂ノ著シキモノヲ戰爭暴動等トシ其他如何ナルモノヲ入ルカハ事實問題ナリ保險事故ハ凡テ偶然ノ事故ナルモ通常ノモノハ種々ノ材料ニ依リテ大體ノ數ヲ知り得ラル然レトモ變亂ハ一種特別ナルヲ以テ此場合ニ填補ヲ要セストシタルナリ此規定ハ保險者ノ意思ヲ推測シ其利益ヲ計リシモノナルヲ以テ保險者ハ特約ニテ填補ヲ約スルモ可ナリ其場合ニハ保險料ハ多額ト爲ラン日露戰爭支那革命等ニ際シテ各種ノ保險ハ此適用ヲ見タリ

二 保險ノ目的ノ性質若クハ瑕疵又ハ其自然ノ消耗ニ因リテ生シタル損害

商法ハ保險契約ノ目的ト保險ノ目的トヲ異ナリトシ前者ヲ被保險利益トシ後者ヲ事物トセリ家屋保險ニハ家屋ヲ保險ノ目的トシ債權保險ニハ債權ヲ保險ノ目的トスルカ如シ家屋保險ニ在リテ所有者カ之ヲ保險ニ附スルトキハ保險ノ目的ハ所有權ニシテ賃借人カ保險ニ附スルトキハ賃借權ナリト云フヲ正確トスルモ更ニ進ンテ其權利ノ目的タル有體物ヲ保險ノ目的ト云フモ可ナリ商法ハ此意義ニ用ユルコト多シ  
保險ノ目的ノ性質ニ因リテ生スル損害トハ爆發スヘキ火藥カ自然ニ發生シ目

的ノ瑕疵ニ因リテ生スル損害トハ龜裂アル陶器カ其龜裂ヨリ破壊シ自然ノ消耗ニ因リテ生スル損害トハ家屋カ使用ノ爲メニ自然ニ破損スル損害ナリ此等ノ損害ノ或モノハ偶然ノ事故ニ因リテ生シタリト云フヲ得ス或モノハ自然ノ事故ニ因リテ生スルモ物自身ニ損害ヲ生スヘキ原因ヲ包メルヲ以テ保險者ニ填補セシムルヲ不適當ト認ムルナリ當事者ハ特約ヲ以テモ此損害ノ填補ヲ約スルヲ得ス他ノ契約トシテ爲スハ別論トシ保險契約ヲ以テ之ヲ爲スヲ得ス商法ニ變亂ノ場合ニ特約ヲ認ムル旨ヲ明言ナシカラ此場合ニ言ハサルヨリシテ立法ノ主意ヲ知ル

三 保險契約者若クハ被保險者ノ惡意若クハ重大ナル過失ニ因テ生シタル損害

此損害ヲ填補スルハ公益ニ害アルヲ以テ填補セシメス填補ノ特約ヲ爲スモ無効トス尙他ノ方面ヨリ見ルニ保險ハ偶然ノ事故ニ因リテ生スヘキ損害ヲ填補スルモノナルニ當事者ノ惡意ニ因リテ生スル損害ハ偶然ノ事故ニ因ルモノニ非スト言フコトヲ得大過失ハ惡意ト同視スルハ他ノ場合ニ於ケルト等シ  
被保險者ハ契約ノ當事者ニ非サルモ損害ノ填補ヲ得ヘキ者ナリ故ニ其惡意若クハ大過失ニ因ル損害ヲ事故ニ因ル損害ト主張シ得セシメス被保險者ハ或點

ニ於テ保險契約者ヨリモ直接ノ關係者ト見ルヘキモノナリ  
 填補スヘキ損害ノ額ハ保險者ノ支拂フヘキ金額即チ保險金額ナリ全部保險ノ場  
 合ニハ保險價額ニ等シク一部保險ノ場合ニハ保險金額ノ保險價額ニ對スル割合  
 ニ依リテ定ム全部保險ノ全滅ノ場合ニ於テハ保險價額填補スヘキ損害額及ヒ保  
 險金額ノ三者ハ全然同一ナリ

填補スヘキ金額ハ定價保險ト不定價保險ニ因リテ異ナレリ  
 定價保險トハ契約取結ノ當時ニ保險價額ヲ定ムルモノニシテ不定價保險トハ結  
 約ノ當時ニ之ヲ定メサルモノナリ嚴格ニ云フトキハ定價保險ハ稍保險ノ原理ヲ  
 離ル所アリ何トナレハ保險ハ損害ノ填補ヲ爲スモノニシテ損害カ生シタル後ニ  
 非サレハ其額ヲ知り得サレハナリ例ハ家産ノ所有者カ契約當時其家屋ノ實價ハ  
 千圓ナリトシテ保險ニ附シ翌年其家屋ノ焼失シタルトキ千圓ヲ得ルトキハ或ハ  
 損害ヨリモ多クノ填補ヲ得ルコトアラン家屋ハ一年使用スレハ夫レ丈古クナレ  
 ハナリ又物價ノ下落ニ依リテ廉價ト爲ルコトモアルヘシ不定價保險ニテハ契約  
 ノ當時ニ價額ヲ定メス損害ノ生シタルトキ定メ之ニ應シテ保險金額ヲ支拂フヲ  
 以テ能ク理論ニ合ス然レトモ物ノ滅失後ニ其物ノ價ヲ定メ其價ヨリシテ保險價

額ヲ定ムルハ困難ナルヲ以テ多少理論ノ貫カサル點アルモ便宜ノ爲メ定價保險  
 ヲ爲スヲ通常トシ法律ニ之ヲ認ムルナリ英人ハ保險ヲ定價不定價ノ二種ニ區別  
 スルヲ常トス獨人モ亦此區別ヲ爲スモ此外ニ尙豫定定價保險ナルモノヲ作り契  
 約取結ノ當時豫メ保險價額ヲ假定シ損害ノ生シタル場合ニ之ヲ基礎トシテ現在  
 ノ價額ヲ算定セントセリ然レトモ理論ニ巧ミナルニ過キ實際ニ却テ不便ナリ

一 定價保險ノ場合

商法ハ損害保險ノ總則ニ於テ此價額ヲ定ムル標準ヲ示サス當事者カ之ヲ定ム  
 ル場合ニ關シテ規定スルノミ  
 當事者カ保險價額ヲ定メタルトキハ其定ニ從フ保險價額ハ被保險者ノ有スル  
 利害關係ノ額ナルヲ以テ最モ能ク之ヲ知ル者ハ被保險者自身ナリ故ニ被保險  
 者之ヲ定メ保險者之ヲ認ムルトキハ其算定額ヲ採用スルハ當然ナリ而シテ保  
 險者ハ場合ニ應シ之ト同額ノ保險金額又ハ其割合ニ應スル金額ヲ支拂フヘキ  
 ノミ然レトモ保險ハ主トシテ實際ノ損害ヲ填補スルヲ目的トスルヲ以テ保險  
 價額ノ定メ方ニシテ著シク過當ナルトキハ保險者ハ之ヲ適當ノ額ニ引下ケ其  
 割合ニ應シテ保險金額ヲ支拂フコトヲ得(三九四)其著シク過當ナルコトハ保險

者ヨリ證明スヘキモノトス此規定ハ保險者ヲ保護スル主意ノミナラス賭博ニ類スル行爲ヲ防カントスル公益上ノ理由モアリ  
價額ノ著シキ減少カ保險期間中ニ生シタルトキハ保險契約者ハ將來ノ保險ノ減少ヲ請求シ得ルモ然ラサルトキハ之ヲ請求スルヲ得ス隨テ多クノ場合ニ於テハ保險者ノ利益ト爲ル

## 二 不定價保險ノ場合

不定價保險ノ場合ニ填補スヘキ損害ノ額ヲ定ムル方法ニ關シテハ一ノ規定アリ即チ損害ノ生シタル地ニ於ケル其時ノ價額ニ依リテ之ヲ定ムトスルモノナリ(三九三)例ハ家屋保險ニ在リテ家屋カ滅失シタルトキハ其滅失地ニ於ケル滅失當時ノ價額トシ被保險者ニハ其代價ニ當ル金額ヲ支拂フナリ之ヲ原則トシ船舶積荷等ノ海上保險ニハ例外ヲ設ク法文ニハ「保險者カ填補スヘキ損害ノ額ハ其損害カ生シタル地ニ於ケル其時ノ價額ニ依リテ之ヲ定ム」ト云ヒ損害ノ價額ノ定メ方ヲ規定セルモ損害ノ額トハ空額ナリ實際ニハ必ス損害ヲ蒙ムリタル者ノ利害關係トセサルヘカラス而シテ之ヲ現實ニスルトキハ自ラ目的物ノ價額ト爲ルナリ

保險者ノ填補スヘキ損害額ノ中ニハ損害額ヲ計算スルニ要スル費用ヲモ算入ス若シ其費用及ヒ填補額カ保險價額ニ超過シタルトキハ保險者ハ超過額ヲ負擔セス

保險者ハ被保險者カ損害ノ防止ニ支出シタル必要又ハ有益ナリシ費用ヲ負擔シ其費用及ヒ填補額カ保險金額ニ超過スルトキト雖モ之ヲ負擔ス(四一四)是レ被保險者ヲシテ費用ヲ省ミスシテ損害ヲ防止セシムルハ多クノ場合ニ保險者ニモ利益ニシテ總テノ場合ニ社會ニ利益ナルヲ以テナリ同時ニ被保險者ノ濫費ヲ防ク爲メ必要及ヒ有益ノ費用ニ限リタリ

保險者ハ損害ヲ填補スヘキ者ナリ或損害ヲ生シタル後更ニ他ノ損害ヲ生スルトキハ合セテ填補スヘク一度ニ目的カ全滅スルトキハ全額ヲ填補スヘシ或損害ヲ生シタル後ニ保險ノ目的カ保險者ノ負擔セサル危險ノ發生ニ因リテ滅失スルモ保險者ノ責任ハ依然タリ(四一三)例ハ火災保險ニ附シタル家屋ノ一部カ燒失シ保險者ニ半額填補ノ責ヲ生シタル後其家屋ハ洪水ノ爲メニ流失スルモ保險者ノ半額填補ノ責任ハ消滅スルコトナシ保險者ハ其家屋ハ到底全滅ノ運命ヲ有セリト稱シテ自己ノ責任ヲ免カル、ヲ得ス

尙保險價額ニツキ一言センニ之ヲ定ムルニ保險契約取結ノ際ニ於ケルモノヲ標準トスル國アレハ事故發生ノ時ニ於ケルモノヲ標準トスル國アリ獨逸ハ後ノ主義ニシテ之ヲ填補價額トイフ理論上ハ契約ノ時ヲ標準トスルヨリモ事故發生ノ時ヲ標準トスルヲ正シトス而シテ事故發生ノ時ノ價ニ據ルヘキモノトスレハ其時ニ價ヲ計ラサルヘカラストシ獨逸法ハ之ニ關シ各種ノ保險ニツキ詳細ナル規定ヲ設ケタリ火災運送家畜ノ各保險ニツキ之ヲ設ク今火災ニツキ示サンニ建物ハ其地ニ於ケル其時ノ建築價格ヨリ建物ノ年輪及ヒ使用ニ應スル額等ヲ控除シタルモノヲ填補價額トス家具ニアリテハ其時ニ於ケル買價ヨリ新舊物ノ代價ノ差ヲ控除シタルモノヲ填補價額トシ商品ニアリテハ其時ノ價ヲ填補價額トス尙損害ノ計算手續ニ關シテ特別ノ規定ヲ設ケタリ

保險者カ保險金ヲ支拂フトキハ保險金受取人ヨリ領收書ヲ差出スヲ通常トス時トシテハ保險者ハ豫メ多クノ領收用證書ヲ作成シオクコトアリ惡人之ヲ濫用シ之ニ保險金受取人ノ署名捺印ヲ爲シ又金額ヲ記入シテ保險金ヲ詐取スルコトアリ又保險金受取人カ署名捺印シタルモノニ金額ノミヲ記入シテ保險金ヲ詐取スルコトアリ前ノ場合ニハ證書偽造行使罪及ヒ私印盜用罪ノ貳罪ト爲リ後ノ場合

ニハ證書偽造行使罪ヲ犯スコト、爲ル之ヲ誤マリテ證書變造罪トシ又前者ノ場合ニ一罪トスルハ擬律ノ錯誤ナリ此點ニ關スル大審院ノ判決アリ(大四〇年五月)被告ハ保險金受取人及ヒ保證人ノ記名捺印アリ且保險金領收ニ必要ナル文旨ノ記載アルモ全ク金額ノ記入ナキ領收證書ニ適當ノ金額ヲ記入シテ之ヲ行使シタルモノニシテ既ニ金額ノ記載アリテ完全ニ作成セラレタル領收證書中ノ或記載ヲ變換シタルニ非ス始ヨリ空白ナル場所ニ新タニ記入ヲ爲シ署名者ノ意ニ反シテ金參百圓ノ保險金領收證書ヲ形式上完全ニ作成シタルモノナレハ其行使ニ因リテ證書偽造行使罪ヲ構成スルヤ勿論ナリ

又其以前ニ捺印シアリタル受取人及ヒ保證人ノ印影ハ被告ニ於テ此等ノ者ノ意ニ反シ之ヲ不正ニ利用シタルモノナレハ右領收書ノ偽造行使ニ因リテ同時ニ各印章ノ盜用罪ヲ犯シタルモノナルコト亦辯ヲ俟タス

左レハ原判決カ右被告ノ所爲ヲ證書變造罪ニ問擬シ隨テ押收ニ係ル保險金領收證ノ一部分ノミヲ沒收シ私印盜用ノ點ヲ無罪ト爲シタルハ擬律ノ錯誤ニ陥リタルモノニシテ全部ノ破毀ヲ免レサルモノトス

保險金支拂ノ義務ハ二年ノ時効ニ因リテ消滅ス(四一七)

### 抵當權者ノ保險金追及

債權者カ債務者ノ家屋ニ抵當權ヲ有スル場合ニ其家屋カ滅失スルトキハ債務者ノ受取ルヘキ保險金ニ追及シテ辨濟ヲ求ムルコトヲ得ルヤ

民法ニハ先取特權ハ其目的物ノ賣却、質貸、滅失又ハ毀損ニ因リテ債務者カ受クヘキ金錢其他ノ物ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得トシ此規定ヲ質權及ヒ抵當權ニ準用セルヲ以テ本問ハ此等ノ物權ニ關シ同一ニ解釋セラルヘキモノナリ(民三〇四三五〇、三七二)唯我裁判所ニハ抵當權ニ關シテ問題ヲ生シタルヲ以テ茲ニ抵當權ヲ例トスル海商法ニ於テハ船舶債權者ノ先取特權ノ適用ニ關シテ屢本問ヲ生ス二問ニ分ケ第一問トシテ抵當權者ハ債務者ノ受クヘキ保險金ニ追及シ得ルカヲ述ヘ之ヲ肯定シタル後ニ第二問ニ移リ債務者カ其家屋ヲ讓渡シタル場合ニ抵當權者ハ讓受人ニ對シテモ之ヲ主張シ得ルカヲ述フヘシ

抵當權者ハ債務者ノ受クヘキ保險金ニ追及スルコトヲ得ス抵當權ハ物ノ滅失ニ因リテ受クヘキ金錢ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得トイヘルヲ以テ抵當物タル家屋カ滅失スルトキハ債務者カ受クヘキ保險金ニモ追及シ得ル如ク見エテ多クノ學者ハ此點ヨリ論シ我國ニハ此ノ如ク解スル學者ノ方ハ多キモ此レ一ヲ知リテ

未タニヲ知ラサルモノナリ被保險者カ保險金ヲ得ルハ保險契約ニ因リテ得ルモノニシテ物ノ滅失ニ因リテ得ルニ非ス物カ滅失スルモ保險契約ナキトキハ何モノヲモ得サルハ言フ俟タストシ保險契約ニテ豫メ此場合ニ備ヘタルヲ以テ之ニ因リテ受クルノミ物ノ滅失ハ保險金ヲ受クル動機ナリ時機ナリ期限ノ如キモノナリ保險ノ觀念ノ發達セサル際ニハ反對說ノ如ク解スルモ可ナレトモ保險ノ觀念ノ發達シタル今日ハ此ノ如ク解スヘカラス被保險者ハ自己ノ損害ニ備フル爲メニ殊更ニ保險契約ヲ取結ヒテ保險金請求權ヲ得タルナリ之カ爲メニ保險料ヲ自己ノ財産中ヨリ支出シタルナリ保險料ハ家屋又ハ船舶ノ如キ保險ノ目的物ヨリ出ツルニ非スシテ他ノ財産中ヨリ出ツルナリ然ルニ民法ニ規定セルモノハ如上代位ノ原則ヨリ出ツルモノニシテ物カ滅失シタル場合ニ物ニ代ハルヘキ金錢ニ追及セシムルモノナルヲ以テ毫モ物ノ代位ト見ルヘカラサル保險金ニハ追及シ得ル理ナシ被保險者ハ保險金ヲ得テ再ヒ家屋又ハ船舶ヲ購買スルコトアラン然レトモ又之ヲ購買セサルコトモアラン并ハ全ク別問題ナリ保險金ハ保險料ニ對當スルモノナルコトヲ知ラハ保險金ノ上ニ追及權ナキコトヲ速了シ得ルナリ尙抵當權者ニ保險金上ノ優先權ヲ與フルトキハ他ノ債權者ヲ害ス凡テノ債權者



ハ債務者ノ總財産ノ上ニ平等ノ權利ヲ有スルモノナリ唯或物ヲ抵當ニトリタル債權者ハ其物ノ上ニ優先權ヲ有スルニ止マル然ルヲ債務者ノ他ノ財産中ヨリ出シタル保險料ニ對スル保險金ニモ追及シ得セシムルトキハ夫レ丈不當ニ他ノ債權者ヲ害スル理ナリ

尙保險ノ精神ヨリイフモ此ノ如クシテ債務者ヲシテ保險ノ利益ヲ受ケシメサルヘカラス被保險者ハ自己ノ利益ノ爲メニ特別ノ契約ヲ取結ヒテ特別ノ金銭ヲ支拂フナリ然ルヲ此事ハ當然債權者ノ利益ニ歸シ自己ハ何等ノ利益ヲモ得ルコトナシトセハ遂ニ保險ヲ爲スコトナキニ至ラン素ヨリ保險ニ附シタル家屋ハ或聲價ヲ増シ隨テ容易ニ債務ノ擔保ト爲ルヘク又擔保ニ入レタル後ニ之ヲ保險ニ附スルトキハ夫丈債權者ヲ満足セシメ從テ家主ハ間接ノ利益ヲ得トイハンモ此ノ如キ利益ハ眞ノ利益ニアラス被保險者カ直接ニ自己ノ利益ヲ得ントシテ之ヲ取結フナリ故ニ保險金ヲ被保險者即チ債務者ノ有ニ歸セシメ若シ債務者ニシテ債權者ヲ満足セシメントスルトキハ保險金請求權ヲ債權者ニ移轉セシムレハ可ナリ余ハ此說ヲ主張シ獨逸ニハ此說ヲ主張スル者アリ殊ニ海法學者ニ多シトス抵當權者ハ保險金ニモ追及シ得トイフ說 此說ノ理由ハ學者ニヨリテ異ナレリ

獨逸學者中ニモ理由ハ種々ニ分カル

代位說(又代替說トモイフ)曰ク保險金ハ保險ノ目的物ニ代位スルモノナリ物ノ代替物ナリ故ニ物ニ追及シ得ル者ハ金銭ニ追及スルヲ得ヘク所謂物上代位ナリトウキンドシヤイド之ヲ主張ス從物說ニ曰ク從物ハ主物ノ處分ニ伴フハ當然ナリ保險金請求權ハ保險ノ目的物ノ從物ナリ故ニ保險ノ目的物ハ追及セラルヘキトキハ保險金モ追及セラルト默約說ニ曰ク物ヲ抵當ニ入ルル債務者ハ既ニ保險ニ附シタルカ或ハ將來ニ保險ニ附スルカヲ問ハス常ニ保險金ヲモ抵當權ノ目的ト爲スコトヲ暗黙ニ契約スルモノナリトデルブルヒ之ヲ唱フ尙エーレンベルヒハ一種ノ特別ノ理由ヲ附シ此場合ニアリテハ保險ノ目的物ハ其物及ヒ物上ノ抵當權ナリ抵當權ハ保險ノ目的ナルヲ以テ抵當權者ハ保險金ニカ、リテ請求シ得ルハ當然ナリトイヘリ獨逸ニハ本問ニ關シテ解釋分カル、モ建物ノ保險ニ關シテハ獨逸民法ハ明文ニテ之ヲ決シ抵當權者ハ保險金ニ對シ優先權ヲ有スルコト、シタリ(獨民一一二七、一一二八)

吾人ハ上述ノ諸理由ニ對シテ一々辯駁ヲ爲シ得ルモ今ハ之ヲ省ク而シテ今ヤ獨逸ニアリテ建物保險ニ關シテハ抵當權者ニ優先權アルコト明白ト爲リタルモ他

ノ保險ニ關シテハ然ラス而シテ尙議論アリテ一ニ明文ヲ生シタル爲メ却テ他ニハ優先權ナシト解セサルヘカラストノ消極說ヲ主張スル者ヲ生スルニ至レリ我國ニテ抵當權者ハ保險金ニモ追及シ得トイフ者ハ先ツ民法ニ抵當權者ハ債務者カ物ノ滅失ニ因リテ受クヘキ金錢ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得トイフ因リテナル文字ヲ誤解シ又保險ノ觀念ヲ入レサルナリ被保險者ハ保險契約ニ因リテ保險金ヲ得ルモノナリ物ノ滅失ハ其動機ニ過キササルニ物ノ滅失ヲ原因トシテ得ルカ如ク誤解スルナリ時トシテハ深ク保險ノ法理ニ進入シ被保險者ハ物ノ滅失ニ因リテ保險金ヲ得ルナリ被保險者ハ保險料ヲ出シタルニ對シテ保險金ヲ得ルニ相違ナキモ其保險料ハ家屋ノ賃貸料ヨリ出テ即チ家屋自身ヨリ出ツルナリ賃貸セシテ自ラ使用スル場合ニアリテモ自ラ使用料ニ當ルモノヨリ出ツルナリ故ニ表面上ハ保險料ナル特別財産ノ如クナルモ實質ハ家屋其レ自身ヨリ出テ從テ保險金ハ家屋ノ代位ナルヲ以テ抵當權者ハ之ニ追及シ得ルナリトイフ者ナリ保險ノ觀念ヲ議論中ニ入レタル點ニ於テ進歩ヲ爲スモノナレトモ保險料ハ家屋ノ損害ノ填補ヲ受クル爲メニ所有者ノ支拂フモノニシテ必スシモ家屋ノ使用料ヨリ支拂フモノニアラス我大審院ノ如キハ保險料ノ如キハ買入レタル家屋ノ危險

防禦ノ爲メ支拂フニ過キスシテ家賃ナル收入ト同等ノ關係ヲ有スルコトナシ要スルニ本件係争ノ保險料ハ所得稅法ニ於ケル必要ナル經費ニ該當セス(大四三年六月)トイヒ保險ト家賃トノ間ニハ關係ナシトイヘリ假ニ兩者ノ間ニハ關係アリトシ又賃貸セサル場合ニモ自ラ使用料ニ當ルモノアリテ所有者之ヲ積立テ以テ他日ノ再築ニ備ヘ或ハ危險ニ備フル爲メニ保險ヲ附シ保險料ハ此使用ノ如キモノナリトスルモノヨリ援引シテ保險料ハ家屋ノ使用料ヨリ出ツ使用料ハ家屋ノ再築用ニシテ家屋ニ代位スルモノナリ故ニ保險料ヲ支拂フタルコトニ對シテ得ル保險金ハ家屋ニ代位ストイフハ餘リニ迂曲シタル牽強附會ノモノナリ殊ニ此說ハ所有者カ保險金ヲ得ル爲メニ損益ヲ賭シ保險契約ナル射倖的契約ヲ取結ヒタル事實ヲ度外視スルモノナリ所有者ハ自己ノ不時ノ損害ニ備フル爲メニ殊更ニ保險契約ヲ取結ヒタルモノナルヲ以テ彼ニハ之ニ應スル結果ヲ得セシメサルヘカラス決シテ之ヲ當然債權者即チ契約ノ第三者ノ利益ニ歸スヘカラス被保險者ハ自己ノ爲メニ保險契約ヲ取結ヒタルモノニシテ他人ノ爲メニ取結ヒタルニ非ス又法律ニテ之ヲ他人ノ爲メニシタルモノト看做ス理由モナキナリ故ニ吾人ハ此說ニ反對スルモ我國ニハ此說ヲ採ル者多ク殊ニ佛國ノ現行法ハ此ノ如ク解

シ得ルヲ以テ我國ニテモ佛派ノ學者ハ殆ト皆此說ヲ主張セリ  
佛國ニテハ船舶債權者ノ先取特權ハ船舶ノ保險金ニ追及シ得ルヤ否ヤノ問題アリテ既ニルイノ海令以來ノ問題ナリバランハ保險金ハ船舶ノ對價ナリ船舶ヲ代表スルヲ以テ船舶債權者ノ先取特權ハ保險金ノ上ニモ及フトイヒエメリゴンハ保險金ノ上ニ及ハストイヘリ解釋トシテハ保險金ノ上ニ及ハストイフ說勝ヲ制シ來リシニ佛國ニ一八八九年二月ノ法律ヲ以テ明白ニ保險金ノ上ニモ及フト定メタリ其當否ハ別論トシ明文アルトキハ如何トモスルヲ得ス而シ佛國ニテモ明文ナキトキハ保險金上ニ及ハストスルヲ正シトスレハ明文ナキ國ニアリテハ同シク及ハスト解スルニ至當ナリ

余ハ我國法ノ解釋トシテ抵當權者ハ物ノ所有者タル債務者ノ受クル保險金ニ追及スルヲ得ストスルヲ以テ其債務者カ家屋ヲ讓渡シタル後ニ讓渡人カ其家屋ヲ保險ニ附シテ得ル保險金ニ追及シ得サルコト一層明カナリトシ最早議論ノ餘地ナシトスルモ上述ノ如ク我國多數ノ學者ハ抵當權者ハ債務者ノ受クヘキ保險金ニ追及シ得トスルヲ以テ之ヲ正シト假定シ更ニ次ノ問題ニ移ラン

抵當權者ハ債務者ヨリ讓受ケタル物ノ讓受人カ其物ヲ保險ニ附シテ得ル保險金

ノ上ニ追及スルヲ得ス保險契約ハ獨立ノ契約ナリ賣買契約ノ附屬物ニアラス故ニ或人カ他人ヨリ或物ヲ讓受ケ其物カ保險ノ目的物ナル場合ニ自己カ其物ヲ保險ニ附シタル場合ニ讓渡人ノ債權者ヨリ保險金ヲ追奪セラル、理決シテナシ讓受人ハ自己ノ家屋ニ自ラ保險ヲ附シタルナリ此保險金ハ物ニ代位ストイフコトハ殆ト想像出來サルナリ余ハ反對論ノ生スルサヘモ不思議ニ思フ程ナリ獨逸保險法ノ如ク物ノ讓渡ハ當然保險金請求權ノ讓渡トスル國ニテモ吾人ハ讓渡人ノ債權者ハ讓受人ノ有スル保險金ニ追及シ得スト信ス讓受後ハ保險ハ全ク保險者ト讓受人ノ間ニ存スル獨立ノ契約ナレハナリ況ンヤ我國ノ如ク物ヲ讓渡スモ保險ヨリ生スル權利義務ハ當然讓受人ニ移轉スルモノトセス單ニ移轉スルモノト推定シ而モ權利ノミ移轉シ義務ノ移轉セサル國法ノ下ニアリテハ一層物ノ讓渡ト保險トハ獨立トシ讓渡人ノ債權者ハ之ニ追及スルヲ得ストセサルヘカラス尙立法論トシテイフモ債權者ニ此追及權ヲ與フヘカラス若シ與フルトキハ抵當權ノ附着セル物ヲ讓受クル人ハ其物ヲ保險ニ附シ得サルニ至ラン保險ニ附スルモ自己ハ保險金ヲ得ラレサレハナリ反對說ヲ正シトスルトキハ物ノ讓受人ハ如何ニシテ自己ノ損害ニ備フルコトヲ得ルヤ又抵當權ハ讓渡人ノ債權者ニ追及セラ

レテ讓受人ハ物ヲ失フコトアリトシ此危險ニ對シテ保險ヲ附シタルトキハ如何  
債權者ハ之ニモ追及シ得ルヤ或ハ此ハ全ク別個ノ保險ナルヲ以テ追及ノ限リニ  
アラストスルヤ恐ラク反對論者ト雖モ之ニハ追及シ得サルヘシ此保險ハ決シテ  
物ニ附着ストイフヲ得サレハナリ而シテ吾人ハ此保險ト讓受人カ其物ニ關シテ  
爲ス保險トハ何レモ獨立ナル保險ニシテ物ニ附着スルニ非ス從テ債權者ニ追及  
セラレサル點ニ於テ同一ナリト思惟スルモノナリ我裁判所ニシテ債權者ハ追及  
シ得トイフ判決ヲ下シ地方裁判所ヨリ控訴院ニ至リ同説ヲ貫キ大審院ニ上告ト  
ナレリト聽クモ余ハ未タ大審院ハ之ニ如何ナル判決ヲ下シタルカヲ知ラス今反  
對説トシテ此ニ裁判所ノ判決ヲ示サン

抵當權者ハ物ノ讓受人ノ保險金ニモ追及シ得トノ説 此説ノ代表トシテ上記二  
個ノ裁判所ノ判決ヲ示サン

大阪地方裁判所ノ判決左ノ如シ(大地三九年六月)

先取特權ハ其目的物ノ賣却、質貸、毀損又ハ滅失ニ因リテ債務者ノ受クヘキ金銭  
其他ノ物ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得トノ民法第三〇四條ノ規定ヲ抵當權ニ  
準用スルニ付テハ同條ニ所謂債務者ナル文字ヲ汎ク抵當不動産ノ所有者ナル

意義ニ解釋シ抵當權設定者ハ勿論抵當不動産ノ第三取得者ヲモ包含セシムル  
ヘキヲ正當ノ解釋トス

又右規定ニ依レハ汎ク目的物ノ滅失ニ因リテ債務者ノ受クヘキ金銭其他ノ物  
トアリテ荷モ目的物ノ滅失ニ因リ受クヘキ物ナル以上ハ其法律ノ規定ニ依リ  
當然受クヘキ物ナルト特殊ノ契約ニ基キ受領スヘキ物ナルトヲ問ハサルカ故  
ニ抵當家屋ノ燒失ニ因リ家屋所有者ノ受クヘキ火災保險金ノ如キモ亦右法條  
ノ適用ヲ受クヘキモノト解スルヲ至當トス

即チ此判決ハ民法ニ物ノ滅失ニ因リテ債務者ノ受クヘキ金銭ノ中ニハ債務者カ  
特殊ノ契約ニ基キテ受領スヘキ金銭ヲモ入ル、ナリ誤解ハ茲ニアルナリ法律ニ  
ハ物ノ滅失ニ因リ受クヘキ金銭トイヘルニ特殊ノ契約ニ因リテ受クヘキ金銭モ  
此中ニ入ルトシ殆ト自ラ其誤解セルコトヲ自證セル如シ又民法ニハ債務者カ受  
クヘキ金銭トイヘルヲ能ク解シク抵當不動産ノ所有者トシ抵當不動産ノ第三取  
得者ヲモ包含セシムトイヘリ誤解ハ茲ニアルナリ法律ニ債務者トイヘハ債務者  
ナリ所有者トハ異ナレリ債權ノ債務者ト物ノ所有者カ一致スル場合ハ何レノ語  
ヲ用ユルモ可ナレトモ債務者ト所有者ト一致セサル場合ハ債務者トイヘハ債務

者トセサルヘカラス解釋者ノ隨意ニ債務者トイフモ債務者ニ非サル者ヲ含ムト解スルヲ得ス況ンヤ此ノ如キ解釋ハ第三者ノ權利ヲ害スルニ於テオヤ債務者ヲ債務者ト解スルトキハ何人ヲモ害セス抵當債權者ハ債務者ニ金錢ヲ貸與シテ物ヲ抵當ニトリシナリ故ニ物ヲ以テ擔保ヲ得レハ豫期ノ利益ヲ得ルナリ幸ニ債務者カ其物ヲ保險ニ付スル場合ニ其保險金ニ追及シ得ルトキハ豫期以外ノ利益ヲ得ルナリ然ルヲ尙一步ヲ進メ債務者以外ノ者カ保險契約ヲ爲シテ得ヘキ保險金ニマテ追及シ得トスルトキハ望外ノ利益ヲ得ルナリ債權者ニハ此ノ如キ望外ノ利益ヲ與フルヲ要セス若シ之カ爲メニ何人ヲモ害セストスレハ或ハ可ナランモ之カ爲メニ物ノ讓受人ノ利益ヲ害スルコト甚大ナルヲ以テ決シテ之ニ追及セシムヘカラス

大阪控訴院ノ判決左ノ如シ(大控三九年)

抵當權者ハ第三取得者ノ受クヘキ保險金ニ對シ抵當權ヲ執行シ得ルヤ否ヤノ點ヲ審案スルモ民法第三〇四條ハ同第三七二條ヲ以テ抵當權ニ準用スルノ結果第三〇四條ノ債務者ハ抵當權設定者ニ該當シ債務者カ抵當權ヲ設定シタルト第三者カ抵當權ヲ設定シタルトヲ問ハス均シク同條ノ適用ヲ受クヘキモノ

ニシテ抵當權設定者ヨリ其所有權ヲ繼承シタル第三取得者ヲ包含スルコト論ヲ俟タス

而シテ目的物ノ賣却、質貸、滅失、毀損ニヨリ抵當權設定者カ他ヨリ受クヘキ金錢物品ハ所謂物上代位ニテ抵當物ノ變形ニ過キサレハ其發生原因カ法律ノ規定ナルト契約ナルトヲ區別セサルナリ

從テ抵當權設定者又ハ第三取得者カ保險契約ニヨリ抵當物ノ滅失又ハ毀損ノ補償トシテ受取ルトコロノ保險金モ抵當權執行ノ目的物タルヲ免レス

此判決モ二段ニ分テ評スヘキモノナリ一言ニテイヘハ極メテ不論理ニシテ且粗漏ナルモノナリ目的物ノ滅失ニ因リ抵當權者カ受クヘキ金錢ハ物上代位ニテ抵當物ノ變形ニ過キストイフモ保險金ハ物ノ變形ニ非ス此點ハ既ニ説明シ置キタリ又第三〇四條ノ債務者ハ抵當權設定者ニ該當シ債務者カ抵當權ヲ設定シタルト第三者カ抵當權ヲ設定シタルトヲ問ハストイフハ自ラ矛盾ノ言ヲ爲スモノナリ債務者ハ抵當權設定者ニ該當ストイヒナカラ直チニ第三者カ設定スルモ同條ノ適用ヲ受クトイヘハナリ又債務者ハ抵當權設定者ニ該當ストイヒナカラ直チニ抵當權設定者ヨリ所有權ヲ繼承シタル第三取得者ヲ包含スルコト論ヲ俟タ

ストイヒ債務者トハ抵當權設定者ノ意ナルカ之ヨリ廣キ意ナルカラ曖昧ナラシメタリ又債務者トイヘハ債務者ナルニ第三取得者ヲ包含スルコト論ヲ俟タストイヒテ其之ヲ包含スル理由ヲ説明セサルハ極メテ粗漏ナリ恐クハ債務者又ハ抵當權設定者トイフトキハ債務者又ハ抵當權設定者ヲ指シ此以外ノ者ヲ指スコトヲ説明シ得サルカ故ニ論ヲ俟タスナント稱シテ遁レタルナラン余ハ未タ之ニ對スル大審院ノ判決ヲ見當ラサルヲ以テ不日搜出シテ研究スル所アラシ

保險者ノ求償權

保險者カ損害ヲ填補スルトキハ或權利ヲ取得ス亦保險契約ノ效力ナリ保險ノ目的カ全滅シタル場合ニ保險者カ保險金額ノ全部ヲ支拂ヒタルトキハ被保險者カ其目的ニ付キ有セル權利ヲ取得ス(四一五)例ハ家屋保險ニ於テ家屋カ全燒シ家畜保險ニ於テ家畜カ斃死セル場合ニ保險者カ保險金額ノ全部ヲ支拂フトキハ目的ノ全滅後ニ變形物トシテ存スル死灰ヲ取得シ且被保險者カ其家屋又ハ家畜ニ付キ有セル總テノ物權等ヲ取得スルナリ保險者カ如上ノ權利ヲ取得スルハ目的ノ全滅ノ場合ナリ海上保險ニ在リテハ被保險者ヲシテ保險ノ目的ヲ保險者ニ委付シテ保險金額ノ全部ヲ請求スルコトヲ得

セシムルモ六七(一)一般ノ損害保險ニテハ全滅ノ場合ニ非サレハ全額ノ請求ヲ許サス換言スレハ一般保險ニハ委付ヲ認メス是レ委付ハ物ノ全滅セサルニ全滅シタル如ク看做スモノナルヲ以テ海上保險ノ如ク特別ノ理由及ヒ沿革アルモノ、外ニ擴張スヘキニ非サレハナリ

全部保險ノ場合ニハ保險者ハ權利ノ全部ヲ取得シ一部保險ノ場合ニハ割合ニ應シテ權利ノ一部ヲ取得ス

損害カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル場合ニ保險者カ被保險者ニ對シ保險金額ノ全部ヲ支拂ヒタルトキハ被保險者カ第三者ニ對シテ有スル權利ヲ取得ス(四一六)所謂代位權ナルモノナリ例ハ家畜カ或者ノ過失ニ因リテ斃死シタル場合ニ所有者ハ過失者ニ對シテ損害賠償ヲ請求スル權利ヲ有スルモ自ラ請求スルヲ煩トシ保險者ニ對シテ保險金額ヲ請求スルコトアリ又船舶カ他船ノ過失ニ因リテ沈没シタル場合ニ船舶所有者ハ保險者ニ對シテ保險金額ヲ請求スルコトアリ此等ノ場合ニ保險者カ之ヲ支拂ヒテ被保險者ノ有スル賠償請求權ヲ取得ス保險者ハ第三者ノ過失ノ爲メニ保險金額ヲ支拂ヒシモノナルヲ以テ第三者ヲ直接ノ義務者ト爲シ得ンカナレトモ損害ト過失ノ關係ハ稍間接ト爲リ且保險金額ノ支拂ハ

第三者ノ過失ニ因ル損害ヲ云フヲ得ストノ論ヲモ生スルヲ以テ寧ロ被保險者ノ有セル權利ヲ取得シテ第三者ニ對抗スルヲ安全トス

一部保險ノ場合ニハ保險者ハ其割合ニ應シテ此權利ヲ取得ス或權利ハ不可分ナル場合ニハ保險者ト被保險者ト之ヲ共有スヘク共有ヲ許サル特質ナルトキハ保險者ハ此規定ノ適用ヲ受クル餘地ナシ

全部保險ノ場合ニモ一部保險ノ場合ニモ保險者ハ其負擔シタル金額ヲ悉ク支拂ヒタルトキハ被保險者ノ權利ヲ取得シ或時ハ單獨ニ或時ハ共同ニ之ヲ行使シ爲メニ被保險者ノ利益ヲ害スルモ可ナリ然レトモ保險者カ單ニ其負擔額ノ一部ヲ支拂ヒタルニ止マルトキハ未タ爲スヘキコトヲ悉ク爲シタルニ非サルヲ以テ被保險者ノ利益ヲ慮リ保險者ヲシテ被保險者ノ權利ヲ害セサル範圍内ニ於テ其取得シタル權利ヲ行使セシム

例ハ全部保險ニ於テ一萬圓ノ家屋カ或人ノ過失ニ因リテ全滅シ保險者カ一萬圓ヲ支拂ヒタルトキハ被保險者ノ賠償請求權ヲ取得シ如何ニ其權利ヲ行フモ可ナリ家屋カ半滅シ保險者カ五千圓ヲ支拂ヒタルトキハ如何ニ五千圓ノ賠償請求權ヲ行使スルモ可ナリ保險者ハ支拂フヘキモノヲ悉ク支拂ヒタルハナリ然レトモ

全滅ノ場合ニ五千圓ヲ支拂ヒ被保險者ノ有スル權利ノ半ハヲ得テ過失者ニ對シテ五千圓ノ賠償ヲ請求シ被保險者モ亦殘リノ五千圓ヲ請求シタル際過失者ノ資カハ七千圓ニシテ之ヲ二者ニ等分スヘキモノトスレハ被保險者ハ損害ヲ蒙ルヲ以テ保險者ヲシテ十分ニ其權利ヲ行使スルコトヲ得サラシメ先ツ被保險者ニ五千圓ヲ得セシムルナリ一部保險ノ例ヲ探ランニ一萬圓ノ家屋ヲ五千圓ニテ保險シ全滅ノ場合ニ五千圓ヲ支拂ヒタルトキハ保險者ハ如何ニ其權利ヲ行使スルモ可ナリ保險者カ過失者ニ五千圓ヲ請求シタルカ爲メニ被保險者ノ利益ヲ害スルモ可ナリ半額ノ場合ニ二千五百圓ヲ支拂ヘハ又如何ニ權利ヲ行使スルモ可ナリ然レトモ全滅ノ場合ニ四千圓半減ノ場合ニ二千圓ヲ支拂ヒタルトキハ負擔額ノ一部ヲ支拂ヒタルモノナルヲ以テ被保險者ノ利益ヲ害セサル範圍内ニ於テ其權利ヲ行使セサルヘカラス

以上ノ説明ニ於テ余ハ專ラ被保險者ノ例ニ採リタリ然レトモ法文ニハ第三者ノ行爲ニ因ル損害ノ場合ニハ保險者ノ取得シ得ル權利ハ保險契約者又ハ被保險者ノ有セル權利ナリト云ヘリ(四一六)保險契約者ト被保險者カ別人ナル場合ニハ保險者ハ保險契約者又ハ被保險者ノ何レカ一人ノ有スル權利ヲ取得スルモノ、如

ク爲ルモ茲ニ「又ハ」ト云ヘルヲ「及ヒ」ノ意義ニ解シ保險者ヲシテ正當ノ權利ヲ悉ク  
取得セシムヘシ

保險ノ目的物カ第三者ノ過失ニ因リテ滅失毀損シタル場合ニ保險者カ被保險者  
ニ損害ヲ填補シタルトキハ第三者ニ對シテ賠償ノ請求ヲ有スルコト今ヤ我國及  
ヒ獨逸ニハ明白ナルモ佛國ニハ未タ明白ナル規定ナキヲ以テ之ヲ論スルモノ多  
ク議論ハ保險法理ノ進歩ニ伴ヒテ屢變遷セリ而シテ生命保險ノ發達ニ伴ヒ之ト  
損害保險トヲ同一ニ論セント欲シ爲メニ又々新說ヲ出スモノアリ今ハ主トシテ  
佛國ニ於ケル議論ヲ述フヘシ損害保險ハ其初メ海上保險ノミニシテ今モ佛國商  
法ニ規定スルモノハ海上保險ノミナルヲ以テ專ラ海上保險ヲ例トシ或場合ニノ  
ミ火災保險ノ如キモノヲモ例トスヘシ

**積極說** 即チ保險者ハ第三者ニ對シテ求償權ヲ有ストイフモノナリ之ヲ通說ト  
ス然レトモ其理由トスル所ニツキ異說ヲ生シ一ヲ間接權利說トシ他ヲ直接權利  
說トス

**間接權利說** 代位說トモ稱スヘキモノナリ曰ク被保險者カ第三者ヨリ損害ヲ蒙  
ムリタルトキハ彼ニ對シテ賠償ノ請求權ヲ有ス然レトモ之ヲ行使スルハ煩ナル

ヲ以テ寧ロ保險者ニ保險金ヲ請求スルナリ之カ爲メニ第三者ノ賠償義務ハ消滅  
スルニ非スシテ賠償請求權ハ保險者ニ移轉シ保險者ハ之ヲ代位シテ第三者ニ請  
求ストボチエカ其著保險契約論ニ之ヲ主張シ船舶カ他船ノ過失ニ因リ衝突セラ  
レテ損害ヲ生シタルトキハ船主ハ相手船ニ對シテ損害ノ賠償ヲ請求シ得ルモ之  
ヲ請求セスシテ保險者ヨリ保險金額ヲ得タルトキハ相手方ニ對スル訴權ヲ保險  
者ニ讓渡セサルヘカラス同時ニ兩者ニ金額ヲ請求スルヲ得ス而シテ保險者カ保  
險證券ニ依リ相手船員ノ過失ヨリ生スル損害ニ對シ被保險者ニ保險金ヲ支拂フ  
トキハ被保險者カ相手ノ船主又ハ船員ニ對シテ有スル訴權ニ當然代位ストイヘ  
リ海上保險ニアリテハ諸學者此說ニ從ヒ遂ニ陸上保險タル火災保險ニマテモ及  
ホスニ至レリ

**直接權利說** 被害說トモ稱シ得ヘシ即チ保險者ハ第三者ノ爲メニ損害ヲ蒙ムリ  
タルヲ以テ其賠償ヲ請求ストイフニアリ代位說ヲ駁シ代位說ハ獨斷ニシテ法律  
上ノ根據ナシ民法(二五一條)ニハ或者カ代位權ヲ有スヘキ場合ヲ列舉スルモ其  
中ニ保險者ナルモノナシ他人ノ債務ヲ辨濟シタル者ハ債權者ニ代リテ債務者ニ  
請求スルコトヲ得トスルモ保險者ハ決シテ他人ノ債務ヲ辨濟スル者ニ非ス彼ハ



保險契約ニ基キテ自己ノ負擔セル義務ヲ履行スルニ過キス故ニ此中ニ入ラスト  
 イヘリ而シテ直接權利説ノ理由トシテ曰ク民法(一三八二條)ニハ他人ノ過失ニ因  
 リテ損害ヲ蒙ルタル者ハ加害者ニ對シテ其賠償ヲ請求スルコトヲ得トシ保險  
 者ハ第三者ノ過失ニ因リ保險金ヲ支拂フニ至リシモノナルヲ以テ被害者ナリ故  
 ニ加害者ニ損害賠償ノ請求權ヲ有ストイヘリ初メテ直接權利説ヲ唱導シタルハ  
 バルドツシユーニシテ其際ニハ尙クモ不法行爲ニ因リテ他人ニ損害ヲ加ヘタル  
 モノハ之ヲ賠償セサルヘカラス他人ノ費用ニ因リテ自己ヲ富マスモノハ其利得  
 ヲ返還セサルヘカラス有益ニ他人ノ物ヲ管理セル者ハ其他人カ第三者ニ對シテ  
 有スル訴權ヲ取得ストイヘル如キ不法行爲、不當利得及ヒ事務管理ノ原則ニ基キ  
 テ之ヲ維持シ法律ノ明文ノ據ル所ナキ場合ニ遭遇スルトキハ裁判官ハ條理ト公  
 平ニ基キテ判決セサルヘカラストイヘリ後ノ學者ハ氏ノ說ヲ採用シタルモ專ラ  
 不法行爲ノ原則タル民法第一三八二條ヲ根據トスルニ止マリ一八二九年ノ大審  
 院判決モ一八五二年ノ判決モ之ニ依リ今ヤ此說ハ佛國ニ於テ多ク行ハル

消極説 此頃ニ至リ消極説ヲ生シ保險者ハ求償權ヲ有セス被保險者ハ第三者ニ  
 對スル賠償請求權ト保險者ニ對スル保險金請求權トヲ有シ二重ニ行使シテ二重

ニ利得スルコトヲ得トシ之ヲ佛國法上ノ解釋トストイフ者ヲ生シ殊ニグルノー  
 ブル大學教授カピタン氏之ヲ唱導セリ其主張ノ大意左ノ如シ  
 保險者ハ事故ノ發生ニ際シ被保險者ニ保險金ヲ拂フハ保險契約ノ履行ナリ而シ  
 テ保險者ハ豫メ保險料ヲ得ルヲ以テ之ニ對シテ保險金ヲ支拂フモノニテ決シテ  
 不時ノ損害ニ非ス豫定ノ實行ナリ若シ會社カ此支拂ニ依リテ損害ヲ蒙ルトス  
 レハ开ハ自己ノ統計ノ粗漏ニ出ツルナリ會社ハ被保險者ニ生スヘキ事故ヲ詳細  
 ニ調査シ之ニ應シテ保險料及ヒ保險金額ヲ定ムヘシ若シ其調査ニシテ完全ナレ  
 ハ第三者ノ過失ニ因ル事故ノ際ニ被保險者ニ保險金ヲ支拂ヒタレハトテ毫モ損  
 失ヲ蒙ルコトナシ損失ヲ蒙ルハ自己調査ノ疎漏ニ出ツ尙一方ヨリ見ルニ抑  
 保險契約ナルモノハ射倖契約ナリ故ニ保險者ハ損スルコトモアレハ益スルコト  
 モアリ克ク利害ヲ計算シテ利益ヲ取得スルハ保險營業者ノ手腕ニ依ルナリ保險  
 者ヲシテ第三者ニ對シテ求償セシムルハ保險ノ射倖ノ性質ニ反ス保險者ハ保險  
 料及ヒ保險金額ヲ定ムル際ニ第三者ニ對スル求償權ノコトヲ計算ニ入レサルナ  
 リ又過失ニ基ク賠償請求權ハ公益ニ基キテ被害者ニ生セシムヘキモノニシテ契  
 約ノ履行トシテ金錢ヲ支拂ヒタル者ニ屬スヘキニ非ストイフニアリ其理由何レ

モ不可ナルコト明カナリ特ニ辨駁ヲ要セス  
 更ニ進ンテ曰ク保險者ヲシテ第三者ニ求償ヲ爲サシムル説ハ假ニ海上保險及ヒ  
 火災保險ニハ可トスルモ災害保險生命保險等ニハ適用セラレス海上保險ニアリ  
 テハ保險者カ被保險者ニ支拂フヘキ金額ハ被保險者ノ蒙ムリタル損害額ナリ而  
 シテ被保險者ハ第三者ノ爲メニ蒙ムリタル損害額ハ之ト一致ス故ニ保險者カ第  
 三者ニ請求スル金額ハ第三者ノ加ヘタル損害額ヲ超ユルコトナキ故ニ可ナリ然  
 ルニ災害保險ニ於テ保險者ヨリ被保險者ニ支拂フヘキ金額ハ一定ノ約定金額ニ  
 シテ損害額ニアラス故ニ被保險者カ第三者ヨリ加ヘラレタル損害ハ約定ノ金額  
 ヨリ大ナル事モアレハ少ナキコトモアリ而シテ災害保險ニ於テハ損害額カ少ナ  
 ル場合ニモ保險者ハ被保險者ニ約定金額ヲ支拂ハサルヘカラス此場合ニハ保險  
 者ハ果シテ其金額ノ總テヲ第三者ニ求償シ得ルカ若シ求償シ得トスルトキハ第  
 三者ハ保險契約ノ爲メニ自己ノ加ヘタル損害額ヨリ多クノ賠償ヲ請求セラル、  
 コト、爲リテ不可ナリ然ラハ保險者ヲシテ其損害額ノミヲ求償シ得ルニ止マラ  
 シメンカ求償説ヲ貫通セサルナリ何レニスルモ困難アリテ此困難ノ生スルハ求  
 償説ノ不可ナルヲ證明ストイヘリ此理由非ナリ災害保險ノ如キ生命保險ノ法理

ヲ以テ損害保險ヲ説明セントスルハ誤ナリ又災害保險ニ於テハ被保險者ハ損害  
 額以上ノ保險金額ヲ取得シ保險契約ニヨリテ利益ヲ得トイフハ果シテ眞ナルカ  
 災害保險ニアリテハ被保險者ハ利益ヲ得ルコトナカルヘシ若シ利益ヲ得ト假定  
 セハ其點ニ於テ保險ノ性質ヲ缺クモノナリ純然タル保險ヨリ出ツルニ非スシテ  
 勞働者等ヲ保護スル他ノ法理ヨリ出ツルモノナリ斯、ルモノヲ根據トシテ一般  
 ノ損害保險ヲ論スヘカラス又果シテ災害保險ニアリテハ被保險者ハ自己ノ損害  
 額以上ノ保險金額ヲ得ルモノトセハ保險者ハ被保險者ニ此金額ヲ支拂ヒ而シテ  
 其中第三者ノ爲メニ生シタル損害額ニ相當スルモノヲ第三者ニ求償セシムヘシ  
 之カ爲メニ求償説ヲ貫通セサルコト、爲ルモ可ナリ既ニ損害額以上ヲ支拂フト  
 イフ異例ノ場合ナルヲ以テ求償ニ關シテモ異例ヲ設ケ保險者ノ支拂ヒタルモノ  
 一部ヲ求償シ得セシメテ可ナリ此レノ却テ損害保險ノ法理ヲ貫通スルモノナリ  
 佛國ノ或裁判所カ此ノ如ク分割シ損害額ニ應スル部分ノミヲ求償シ得セシメタ  
 ルハ損害保險ノ性質ヲ貫キテ保險者ヲ保護シ又民法一三八二條ヲ良用シテ保險  
 者ニモ第三者ニモ不利益ヲ醸サ、リシ良判決ナリ  
 消極論者ハ保險者ハ第三者ニ對シテ求償權ヲ有セストイヒ而シテ進ンテ被保險

者ハ保險者ヨリ保險金額ヲ得タル上ニ第三者ニ對シテ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ヘシ即チ二重ニ取得スルコトヲ得トシ其理由トシテ曰ク他人ノ爲メニ損害ヲ蒙ムリタル者ハ加害者ニ對シテ其賠償ヲ請求シ得ルコト明カナリ此權利ハ他ノ契約ノ爲メニ妨ケラル、コトナシ保險契約ハ被保險者カ或場合ニ大金額ヲ得ント欲シテ年々小金額ヲ拂込ミ其場合ノ來リシ際ニ之ヲ得ルモノナリ第三者ノ行爲ニ因リテ事故カ發生シタル場合ニ被保險者ハ此契約ニ從ヒテ保險金額ヲ得ルモ決シテ之カ爲メニ第三者ニ對スル損害賠償權ヲ失ハス保險者ヨリ金額ヲ得ルハ保險料ヲ支拂ヒオリシ故ナリ保險契約アルカ故ナリ第三者ニ損害賠償ヲ請求スルハ自己カ損害ヲ蒙ムリシカ故ナリ第三者ニ不法行爲アルカ故ナリ二個ノ原因アルカ故ニ二個ノ請求權ヲ有スルモノニシテ嚴格ニイヘハ眞ノ二重ニ非ス尙同一ノ損害ニ對シテ二重ニ金額ヲ得トイフモ然ラス二重ニアラスシテ二個ナリ保險金額ハ損害金額ノ補充ニ過キス被保險者カ第三者ヨリ得ル損害賠償金額ノミニテハ足ラサルヲ以テ保險者ヨリ之ヲ得ルノミ被保險者ニハ二個ノ權利ヲ得セシメサルヘカラス然ラサレハ被保險者ヲシテ普通人ヨリモ不利益ノ地位ニ立タシム普通人ハ保險料ヲ支拂ハスシテ第三者ヨリ一切ノ損害賠償ヲ得ルニ被

保險者カ第三者ヨリ一切ノ損害賠償ヲ得タルトキハ最早保險者ニハ何物ヲモ請求スルヲ得スシテ保險料丈ヲ損スル理ナレハナリ此ノ如キハ不可ナルヲ以テ更ニ保險料ニ對スル保險金額ヲ得セシメサルヘカラストイフ此理由不可ナリ損害保險ハ損害ノ填補ニ止メサルヘカラス若シ被保險者カ他ニテ損害ノ填補ヲ得タルトキハ最早損害ナキヲ以テ保險者ニ請求スヘカラス之ヲ請求スルトキハ事故ノ發生ニヨリ利得スルコト、爲リ損害保險ノ主意ニ反ス其結果保險料丈ハ普通人ヨリ損スル理ナルモ己ムヲ得サルナリ若シ第三者ハ常ニ容易確然ニ損害ヲ賠償スト假定スレハ其點ニ於テ被保險者ハ普通人ヨリ不利益ナル位地ニアル然レトモ第三者ハ必ス過失ノ有無ヲ争ヒ過失アリト決シタル上ニテ其程度ヲ争ヒ程度ノ決シタル上ニテ金額ヲ争ヒ其上ニ支拂時期ヲ争ヒ時期定マルモ容易ニ支拂ヲ實行セス假ニ實行ストスルモ此事豫メ知ル能ハスシテ被保險者ハ心配ス故ニ保險ヲ附シ保險者ヨリ容易ニ得ルコト、シテ安心スルナリ保險料ハ此安心料ナリ恰モ航海保險ニアリテ船舶カ無事ニ航海スレハ被保險者ハ普通人ヨリ不利益ノ位地ニアルモ而モ到着前ニハ航海ノ安否ヲ知ラスシテ心配ナルカ故ニ保險ヲ附シテ安心シ安心料トシテ保險料ヲ支拂フニ等シ殊ニ損害カ第三者ノ過失ノ

外ニ何ニ因リテ生スルカ計ラレス故ニ全體ノ危険ニ付シテ保險料ヲ支拂フナリ故ニ單ニ一部ノ點ノミヲ觀察シ而モ皮想ノ觀察ニ止マリテ眞想ヲ誤マリ被保險者ハ普通人ヨリモ保險料ヲ支拂フ丈ノ不利益アリナントイフヘカラス尙此種ノ論者ハ保險ハ必スシモ損害保險ノミニ非スシテ生命保險モアリトカ損害保險ハ必スシモ常ニ損害填補ノ契約ニアラストカ損害保險ト雖モ損害填補ノ觀念ハ必スシモ契約ノ主要ナル要素ニ非ストカイヒ損害保險ノ根本の本質ヲ誤解セル嫌アリ生命保險ニアリテハ議論ハ全ク別ニセサルヘカラス生命ノ價值ハ無限ナリ又生命保險ニハ公益上種々ノ特則ヲ設クルコトアレハナリ今ハ損害保險ニ關シテイフノミ而シテ損害保險ニアリテハ佛法ノ下ニアリテモ保險者ハ求償權ヲ有スト解スルヲ至當トシ同時ニ被保險者カ保險者ヨリ填補ヲ得タルトキハ最早第三者ニ對シテ請求スルヲ得スト解スルハ至當ナラン佛國裁判所ハ近頃ニ至リ生命保險ニ關シテハ被保險者ニ二個ノ請求權アリト判決スルコトアルモ損害保險ニ關シテハ此ノ如キ判決ヲ下サス至當ノコトナリ

佛國ニアリテモ保險者ハ第三者ニ對シテ求償權ヲ有スト解スヘキモノトス佛國ニモ商法ニ之ヲ定ムル明文ナキヲ以テ論者ハ民法ニ依リ而シテ民法ノ代位ノ規定ハ或者カ債權者ニ代ハリテ債權者ニ併濟ヲ爲シタル場合ニ債務者ニ對シテ債權者ノ有スル權利ヲ代位取得ストイフモノニシテ保險ノ場合ニ相當セサルヲ以テ民法ノ不法行爲ノ規定ヲ適用シ保險者ヲ損害者トシ第三者ニ對シテ直接ノ權利ヲ有セシムルナリ然レトモ此トモ反對論アリ又自己ノ權利トシテ請求スルト被保險者ノ權利ヲ代位シテ請求スルトニヨリ權利ノ證明請求ノ方法其他種々ノ點ニ差ヲ生シ代位トシテ請求スルヲ便トスルヲ以テ今ヤ佛國ノ保險當事者ハ保險契約中ニ所謂代位約款ナルモノヲオキ保險者カ保險金額ヲ填補シタルトキハ保險者カ第三者ニ對シテ有スル權利ヲ取得スト定ム此權利ノ取得ニ對シテ特別ノ報酬ヲ支拂ハサルハ通常ナリ又保險料ヲ減セサルコトモ通常ナリ又被保險者ハ代位ヲ許シ即チ自己ノ賠償請求權ヲ保險者ニ移轉スルコトヲ約スルモ之ヲ擔保セス其請求ニ關シテ其カスルコトヲ約スルコトモアレハ約セサルコトモアリ

以上ヲ佛國ニ於ケル現狀トス一九〇四年ノ保險契約法草案(二六條)ハ此點ヲ決シテ損害カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル場合ニ保險者カ被保險者ニ對シ其負擔額ヲ支拂ヒタルトキハ保險者ハ被保險者カ其第三者ニ對シテ有スル凡テノ權利

ニ代位ス<sup>ト</sup>シ之ヲ凡テノ保險契約ニ適用セシメ而シテ其理由書ニ從來海上保險ニ適用シ來リタル此代位ノコトヲ凡テノ保險ニ及ホスコトハ條理ト公平ニ協フ被保險者ハ保險者ヨリ損害ノ填補ヲ得タル後ニ尙第三者ニ對シテ有スル賠償請求權ヲ保留スルハ不當ナリ保險者ヨリ填補ヲ得タル時ヨリシテ其損害ニ關シテ生スル凡テノ權利ヲ保險者ニ歸セシムルハ正當ナリトイヘリ而シテ佛國ハ代位ノ規定ヲ凡テノ保險ニ適用シ損害保險ト生命保險トヲ問ハサルヲ以テ一部ノ學者ハ之ニ反對シ獨瑞ノ如ク之ヲ損害保險ニノミ限ルヘシト主張セリ

今ハ損害保險ヲ説明スルノミナルヲ以テ本問ニ關シテモ之ヲ限定セン損害保險ニアリテハ保險者ニ賠償權ヲ得セシムルハ至當ナリ各國ノ保險法ハ殆ト悉ク之ヲ明文ニ示サントスル傾向アリ保險者ニ之ヲ與フルハ被保險者ヲシテ保險者ヨリ損害ノ填補ヲ得タル後尙保險者ニ對シテ之ヲ請求シ得セシムルトキハ事故ノ發生ニ因リテ二重ニ金額ヲ得ルコト、爲リテ非ナルヘク左レハトテ此場合ニ第三者ニ對スル賠償請求權ナシトスルトキハ第三者ハ保險ノ目的ト爲リ居ル物ヲ害シタル爲メ無責任ト爲リテ不可ナリ故ニ保險者カ被保險者ニ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ被保險者ノ賠償請求權ニ代位セシメテ可ナリ此際保險者ヲシテ被

害者トシテ直接ニ第三者ニ請求スルコトヲ得セシムヘシトノ論モ立ツナリ保險者ハ第三者ノ行爲ニ因リテ保險金額ヲ支拂ハシメラル、ニ至リシナリ或ハ金額ノ支拂ヲ早メラル、ニ至リシナリ然ラハ此損害ニ對シテ賠償ヲ請求スルコトヲ得ルハ當然ナリトイフヲ得然レトモ之ニハ反對論モアリ又直接訴權ヲ以テスルヨリモ代位訴權ヲ以テスルヲ保險者ノ利益トスルヲ以テ法律ニテ之ヲ與フルナリ或ハ法律ニテ與ヘストモ當事者ノ契約ニ一任セハ可ナリトイハンモ當事者ハ殆ト常ニ之ヲ契約シ代位ハ一般ノ風潮ト爲ルヲ以テ法律ハ此慣習ヲ認メ契約ナクトモ此ノ如クナルトシタルナリ第三者ハ被保險者ニ損害ヲ醸シタルトキハ被保險者ハ第三者ニ對シテ損害ノ賠償請求權ヲ取得ス此請求權ハ被保險者ニ存シ保險者ニ存セス然レトモ若シ保險者カ被保險者ニ損害ヲ填補スルトキハ此請求權ハ直チニ保險者ニ歸屬ス法律ニ保險者ハ被保險者ノ權利ニ代位ス<sup>ト</sup>イフモノ多キモ時トシテハ保險者ハ被保險者ノ權利ニ介入ス<sup>ト</sup>イフモアリ保險者ニヨリテ介入セラル、カ代位セラル、トキハ被保險者ハ最早此請求權ヲ有セサルコト明カナリ

保險者ニ代位權ヲ認ムル理由ハ既ニ説明シタルモ今瑞西ノ保險法草案理由書ニ

記載セルモノヲ示サン曰ク保險者ノ代位ハ公平ト便宜ニ其根據ヲ有スルモ身體保險ニハ適用スルヲ得ス生命ノ價值ハ見積ルコトヲ得ス又其損害ニハ制限ナキヲ以テナリ然レトモ損害保險ハ之ト異ナリ被保險者ハ保險者ヨリ填補ヲ得タル範圍内ニ於テ第三者ニ賠償ヲ請求スルコトヲ得ス而モ保險契約アルカ爲メニ加害者ノ責任ヲ免カレシムルハ不當ナルヲ以テ保險者ニ求償權ヲ與ヘテ此點ヲ調和スルナリ固ヨリ保險者ハ相當ノ保險料ヲ受クルカ故ニ必スシモ損害ヲ受ケタリトイフヘカラサルモ損害保險ニ此求償權ヲ認メサルトキハ公法上私法上保險ノ義務ヲ危フスル恐アルヲ以テ保險者ニ求償權ヲ與フルハ己ムヲ得サルニ出ツト此理由ハ不十分ナリ此規定ハ或調和ノ爲メニ己ムヲ得サルニ出來タルニアラス十分ナル積極的ノ原因アリテ出來タルナリ保險者ハ第三者ノ行爲ニ因リテ損害ヲ蒙ムリタルナリ少クトモ間接ニ損害ヲ蒙ムリタルナリ保險料ヲ受ケオルカ故ニ損害ヲ受ケストイフモ其一事故ヲ以テ見ルトキハ保險料ヲ受クルモ第三者ノ過失ナキトキハ保險金ヲ支拂ハスシテ可ナルナリ然ルヲ彼ノ過失カ原因ト爲リ保險金支拂ノ動機ト爲リ即チ保險者ハ第三者ノ爲メニ損害ヲ蒙ムリタルナリ又一事故ヲ眼中ニ措カスシテ全體ノ點ヨリ見ルモ保險者ハ第三者ノ爲メニ損害

ヲ蒙ムレリ保險者ハ成ヘク保險料ヲ減少シテ多クノ被保險者ヲ得ルヲ得策トスルニ第三者ノ過失ニ因ル損害ヲモ填補セサルヘカラストスレハ之ニ應シテ保險料ヲ増シ從テ被保險者ノ數ハ減スルナリ若シ第三者ニ過失ナシトセハ保險金ヲ支拂フヘキ場合減シ即チ危險ノ數ヲ減シ營業盛大ト爲ルニ第三者ニ過失アルヲ以テ理想通りニ盛大ト爲ラサルナリ故ニ之ニ對シ過失者ニ損害賠償ヲ請求シ得ルハ當然ナリ何レニスルモ保險者ハ被保險者ヨリ保險料ヲ得ルカ故ニ第三者ノ過失ニ因ル損害ヲ被保險者ニ填補スルモ毫モ損害ヲ蒙ムルコトナシ故ニ保險者ハ損害關係ニ於テハ第三者ノ過失ト無關係ナリトイフヲ得サルヘシ此點ニ於ケル獨逸ノ保險契約法ヲ見ルニ大體ニ於テ我商法ニ等シ即チ損害カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル場合ニ於テ保險者カ被保險者ニ其負擔額ヲ支拂ヒタルトキハ其支拂ヒタル金額ノ限度ニ於テ被保險者カ第三者ニ對シテ有スル權利ヲ取得ス而モ之カ爲メニ被保險者ヲ害スヘカラストシ被保險者ヲ害スルトキハ保險者ハ求償權ノ取得ヲ主張スルヲ得ストシ尙進ンテ被保險者ヲ保護セント欲シテ損害カ被保險者ノ家族ニシテ之ト共同生活ヲ爲ス者ノ過失ニ因リテ生スルトキハ保險者ハ求償權ヲ取得セストセリ此最後ノ點ハ我商法ニナキ所ナリ

終リニ一二ノ判決ヲ示サン獨逸ニテ保險契約法ノ發布セラレサル前ニ保險者ハ民法ニヨリテ求償權ヲ取得ス被保險者ハ對第三者ノ關係ニアリテハ二個ノ權利ヲ行使スルモ可ナリ第三者ハ被保險者ニ對シ保險關係ヲ主張スルヲ得ストシテ左ノ如ク判決シタリ(一九〇四年獨逸コルコー控訴院)

被害者カ保險ヲ爲セル場合ニ加害者ハ被害者ヲシテ先ツ保險者ニ對シテ損害ノ填補ヲ請求セシメ或ハ被害者ヲシテ其保險者ニ對シテ有スル權利ヲ自己ニ移轉センコトヲ請求スルヲ得ス保險契約ハ加害者ニ何等ノ影響ヲモ與ヘス只保險者ノ方面ヨリイフトキハ保險契約ニ特約ナキトキト雖モ民法(二五五條)ニ基キ保險者ハ求償權ノ移轉ヲ受ケ得ルノミ被害者カ雙方ヨリ損害ノ賠償ヲ受ケタル場合ニモ加害者ハ之ヲ攻撃スルヲ得ス此場合ニハ被保險者ハ保險者ニ對スル關係ニ於テ不當利得ヲ爲シタルニ過キス

保險者カ第三者ニ對スル求償權ヲ取得スルハ被保險者ニ保險金額ヲ支拂ヒタル場合ナリ保險金額ノ支拂ハ保險契約ノ成立ヲ前提トス故ニ當事者ハ保險カ成立セリト信シタルニ其實成立セサリシ場合ニハ保險者カ被保險者ニ金額ヲ支拂フモ眞ノ保險金ノ支拂ニアラサルヲ以テ保險者ノ第三者ニ對シテ有セル權利ヲ取

得スルコトナシ例ハ何人ト雖モ同一ノ法律行爲ニ付キ相手方ノ代理人ト爲リ又ハ當事者雙方ノ代理人ト爲リ得サルニ(民一〇八)代理人ト爲リテ保險契約ヲ取結フモ保險契約ハ成立セサルヲ以テ保險者カ金錢ヲ被保險者ニ支拂フモ第三者ニ對スル求償權ヲ取得セサルナリ之ニ關スル判決アリ(四二年六月東地)

本件保險契約ハ三井物産合名會社カ同時ニ相手方タル原告保險會社ノ代理人ト爲リテ締結シタルモノト解セサルヘカラス而シテ本件契約ノ成立及效力ニ付テハ日本ノ法律ニ準據スル意思ナリシコトハ被告訴訟代理人ノ爭ハサル所ナルヲ以テ本件保險契約ハ民法第一〇八條ニ依リ當然無効ナリ  
從テ保險者タル原告カ本件貨物ノ荷主ニ對シ損害ノ填補ヲ爲スヘキ理由ナキヲ以テ縱令原告ニ於テ任意保險金ノ支拂ヲ爲シタリトスルモ商法第四一六條ニ依リ各荷主カ被告ニ對シテ有スル損害賠償ノ請求權ヲ取得スヘキ理由ナキハ謂フヲ俟タサル所ナリ

### 計算公示

保險者ノ義務ヲ終ハルニ際シ一言狀況公示ノ義務ニ關シテ述フヘシ  
狀況公示ノ義務トハ保險者ハ其營業ノ狀況及ヒ財産ノ狀況ヲ公示スルコトナリ

專ラ公法的ノ方面ヨリ觀察スヘキモノトス然レトモ同時ニ亦私法ニ影響スル所アリ保險業ハ國家及社會ノ全體ニ大關係アルヲ以テ國家ヲシテ特別ニ監督セシメ之カ爲メニハ其營業及ヒ財産ノ狀況ヲ知ルノ要アリ社會ノ全體モ亦之ヲ知ル要アリ殊ニ保險業者ヲシテ種々ノ公示ヲ爲サシムルトキハ其營業ニ謹慎シ無謀ノ行動ヲ豫防スル利益アリ又私法ノ方面ヲ見ルニ保險會社ノ債權者ハ保險會社ノ財産ノ狀況ヲ知ル必要多シ又保險契約者ニアリテモ一々保險者ニ就キテ種々ノ狀況ヲ質サントスルモ實際ニ行ヒ難ク又假ニ質ストスルモ往々保險者ニ籠絡セラレテ眞想ヲ得ルコト難シ然ルヲ公示セルモノヲ見ルトキハ之ヲ熟讀スルコトヲ得ヘク又公示スルモノニアリテハ保險者ハ正確ニ調査シ各保險契約者ニ私カニ語ルトハ趣ヲ異ニスル所アレハナリ

故ニ何レノ國ニテモ此公示ニ關スル規定ヲ設ク凡テノ保險ニ關シテ殆ト同一ニ規定スルモアリ損害保險ニハ寬ニシ生命保險ニハ嚴ニスルモアリ又生命保險ニノミ之ヲ命スルモノモアリ我國埃太利等ハ凡テノ保險ニ之ヲ要シ英國ハ生命保險ニノミ之ヲ命シ或保險者ニシテ生命保險ヲ兼ヌルトキハ之ヲ命セリ既ニ此點ニ於テモ各國異ナル所アリトセハ公示ヲ命スル程度若クハ其方法之ニ從ハサル

場合ノ制裁ノ如キモ異ナルハ言フヲ俟タス故ニ今ハ稍理想的ノモノヲ示シ之ニ依リテ諸國法ヲ批評セシムルコト、スヘシ

公示ノ方法ハ二種ナリ(一)登記及ヒ其公告ト(二)報告書ノ閱覽及ヒ之ニ先ツ官廳ヘノ報告ナリ登記ハ保險會社ノ目的、商號、資本、取締役監査役ノ氏名住所等ノ如ク普通ノ株式會社ニアリテモ登記スヘキ事項及ヒ保險會社ニ特別ノ事項タル保險ノ種類、營業ノ範圍、設立費用ノ償却方法等ヲ登記セシムルナリ而シテ登記スヘキ事項ハ之ヲ公告スルコトヲ要ストス然レトモ登記ハ大體ノ事ニ止マリ此ノミヲ以テハ到底會社ノ營業及ヒ會社財産ノ狀況ヲ知ラシムルコトヲ得サルヲ以テ定期ニ官廳ニ詳細ナル報告書ヲ出サシメ保險契約者等ヲシテ之ヲ閱覽スルコトヲ得セシムルナリ報告書ニ記載セシムヘキ事項ヲ何々トスヘキカハ國ニヨリテモ異なるナルヘク保險ノ種類ニヨリテモ異なるナルヘシ詳細明確ナル程可ナル理ナルモ同時ニ之ヲ作成スル者ノ勞ヲ慮カラサルヘカラス又餘リニ詳細ヲ要求スルハ會社ニ酷ナリ爲メニ會社ノ秘密ヲ暴露スルニ至ルヘケレハナリ財産目錄及ヒ貸借對照表ヲ作ルヘキハ他ノ商人ニ於テモ同一トスルモ此外ニ財産目錄ニ附録トシテ貸付金明細表、有價證券明細表、不動產明細表ヲ作ルヘシ財産目錄ノ債權債務中ニハ



コンチンセントライヤビヤチ  
 條件附債務ヲモ合ムヲ以テ別ニ之ヲイハストモ可トスル者モアレハ商法ノ財産  
 目錄中ニ記載スヘキ債權債務ノ中ニ之ヲ入ル、ヤ否ヤハ疑アルヲ以テ商法ノ解  
 釋ハ別トシ保險者ニハ之ヲ記載スヘキコトヲ明白ニスヘシトイフ者モアリ茲ニ  
 イフ條件附債務ハ又保險債務トモイハル、コトアリテ必ス支拂フヘキコトニ定  
 マラス或ハ支拂ハサルヘカラサルヤモ計ラレストイフ底ノモノナリ手形ヲ裏書  
 讓渡シタル場合質入證券ヲ裏書讓渡シタル場合等ナリ裏書人トシテ自ラ償還ス  
 ヘキニ至ルヤモ計ラレサルヲ以テ之ヲ債務トシテ評價シテ記載シ豫メ備ヘシム  
 ル意ナリ尙未拂込株ニ關シテモ支拂額ヲ記載スヘシトシ之ヲモ「コンチンセント  
 ライヤビリター」ノ中ニ入ルモノアリ一ノ注意スヘキハ訴訟事件ノ顛末ヲ記載セ  
 シムルコトナリ蓋シ保險會社ハ訴訟ヲ起シタルカ否カ其訴訟ハ保險金ノ支拂ヲ  
 拒ミタルモノナルカ其拒否ノ理由如何又判決ハ如何ニナリシヤ等ハ現在ノ保險  
 契約者ニアリテモ將來ニ其會社ニ保險契約ヲ取結ハントスル者ニアリテモ大關  
 係アルヲ以テ之ヲ明カニスル必要アリ我國ニテハ之ヲ命セサルモ瑞典、普魯亞普  
 ノ一八九二年ノ保險業法等ニテハ之ヲ命シオレリ此等ノ事項ヲ記載シタル報告  
 書ヲ作りテ官廳ニ提出セシメ又會社ニモ備ヘ付ケテ利害關係人ノ閱覽ヲ許シ又

其際本若クハ抄本ヲ與フヘキナリ勿論之カ爲メニ手数料ヲ請求スルモ可ナリ唯  
 漫リニ手續ヲ煩雜ニシ若クハ手数料ヲ高クシテ實際ニ之ヲ拒否スルカ如キ舉動  
 ヲ爲スヘカラサルノミ  
 保險者ノ爲スヘキ公示ノ義務ハ大體ニ此ノ如クスヘシトシ我保險業法モ之ニ協  
 フ然レトモ公示スヘキ事項公示ヲ強制スル方法手續等ニ關シテハ未タ十分ナラ  
 サル所アルハ遺憾ナリ

保險契約者ノ義務(保險料)

保險契約者ノ義務ハ左ノ如シ

一 保險料ノ支拂

保險料ノ支拂ハ保險契約者ノ爲スヘキ主要ノ行爲ニシテ保險者ノ保險金額ノ  
 支拂ト對當シ其他ノ行爲ハ附屬ナリ保險料ハ保險契約者カ相手方ノ損害填補  
 ノ約束ニ對シテ支拂フ報酬ナリ法律ニハ保險料ハ金錢ニ限ルト云ハサルヲ以  
 テ金錢以外ノモノニテモ可ナリト論シ得レトモ實際ニ金錢以外ノ物ヲ保險料  
 トシタル例ナク殊更ニ空論ヲ爲スヲ要セス  
 保險料ノ額及ヒ其拂込ノ時期ハ如何ニ定ムルモ可ナリ契約取結ノ當時悉皆前

拂スルモ可ナレハ後ニ支拂フモ可ナリ又分割シテ定期ニ支拂フモ可ナリ毫モ法律ニ限定スル所ナシ然レトモ保險契約者ハ全ク保險料ヲ支拂ハストカ損害ノ生シタル場合ニノミ支拂フト云フハ不可ナリ

保險料ヲ定メタルトキハ保險契約者ハ必ス之ヲ支拂フヲ原則トスルモ例外トシテ支拂ヲ要セサル場合アリ

保險者ノ責任カ始マル前ニ於テ保險ノ目的ニ付キ保險者ノ負擔セル危險カ生セサルニ至リタルトキハ保險者ハ保險料ヲ返還スルコトヲ要ス(四〇八)保險契約ヲ取結ヒタルトキハ各當事者ハ其契約ニ拘束セラレ保險契約者ハ保險料ヲ支拂フヘキモノトスルモ保險者ノ責任カ始マル前ニ危險カ生セサルニ至ルトキハ保險者ハ一度モ危險ヲ負擔セス從テ責任ヲ負ハサルヲ以テ保險契約者ヲシテ保險料ヲ支拂フコトナカシム保險料ハ責任ノ負擔料ナレハナリ未タ支拂ハサルトキハ最早支拂フヲ要セス既ニ支拂ヒタルトキハ其返還ヲ請求スルコトヲ得セシム危險ノ不發生カ目的ノ全部ニ關スルトキハ保險料ノ全部一部ニ關スルトキハ一部ノ返還ヲ請求スルコトヲ得然レトモ保險者ニハ既ニ手數ヲ積セルヲ以テ保險者ヲシテ手數料ヲ得セシメ其額ハ拂込ミタル保險料ノ半

額ニ等シト看做シ從テ保險契約者ヲシテ半額ノ返還ヲ得セシム但保險料返還

ノ義務ハ二年ノ時効ニ因リテ消滅ス(四〇九四一七)

法律ニハ保險者ノ得ルモノハ其返還スヘキ保險料ノ半額ニ相當スル金額ト云ヘルヲ以テ返還スヘキ保險料ナキトキハ其額ニ相當スル金額ヲ算出シ得ラレヌ而シテ返還ハ支拂後ニ生スルヲ以テ保險契約者ハ未タ何モノヲモ支拂ハサルトキハ保險者ハ何モノヲモ請求シ得サルコト、爲ルナリ是レ保險契約者カ未タ保險料ヲ支拂ハサルトキハ保險者ニ多クノ手數ヲ積サス又未タ保險料ヲ支拂フヘキ時期ニ達セサル内ニ危險ノ不發生カ確定シタル場合ニハ保險者ヲシテ報酬ヲ得セシムル必要ナケレハナリ保險契約者カ保險料ヲ支拂フヘキ時期ニ達シタリシニ之ヲ支拂ハサル場合ニ在リテハ保險者ハ半額ヲ請求シ得ヘシ契約者ハ自己ノ怠務ニ因リテ義務ノ履行者ヨリモ利益ノ位地ニ立チ得ル理ナシ

保險契約者ノ保險料ヲ支拂フヲ要セサルハ危險カ保險契約者又ハ被保險者ノ行爲ニ因ラスシテ生セサルニ至リタル場合ニ限ル保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リテ生セサルニ至リタルトキ又ハ不可抗力ニ因

リテ生セサルニ至リタルトキト雖モ彼等ノ行爲ニ因ルニ非サル以上ハ保險料ノ返還ヲ請求シ得ルナリ危險ノ不發生カ彼等ノ行爲ニ因ルトキハ彼等ハ保險料ノ返還ヲ請求シ得サルヲ以テ保險者ノ利得ト爲ル而シテ保險者ハ一度モ保險ノ責任ヲ負ハサルヲ以テ此金額ハ保險料トシテ取得スルニ非ス保險料トシテ拂込ミタル金錢ヲ其儘ニ取得スルモノナリ

保險料ヲ定メタルトキハ保險契約者ハ必ス其額ヲ支拂フヘク毫モ其減少ヲ請求シ得サルヲ原則トスルモ之ニハ二個ノ例外アリ

甲 保險期間中保險價額カ著シク減少シタル場合(三九二)其場合ニハ保險契約者ヲシテ保險者ニ對シテ保險金額及ヒ保險料ノ減額ヲ請求スルコトヲ得セシム保險價額ノ小變動ハ常ニ存スルヲ以テ其度毎ニ保險料ヲ減少セシムルハ煩ニ失ストシ著シキ減少ノ場合ニ限リタルナリ如何ナル程度ヲ以テ著シキ減少ト見ルカハ事實問題ナリ保險料ヲ減少スルト同時ニ保險金額ヲモ減少セシメ二者ノ減少ヲ不可分トス

何レノ減少モ將來ニ向ツテノミ效力ヲ生ス保險金額ノ減少ハ既往ニ遡ルト云フモ將來ニ向ツテノミ效力ヲ生スト云フモ實差ナカラシ保險料ノ減少ニ

在リテハ既往ニ遡ルトキハ既ニ拂込ミタルモノ、返還ヲ要スルニ至ルヲ以テ將來ニ向ツテノミ效力アリト言明スル必要アリ

乙 特別危險ヲ斟酌シテ保險料ヲ定メタル場合ニ其危險カ消滅シタル場合(四〇〇)例ハ戰爭中保險料ヲ増加シタルニ戰爭カ終結シタルヲ以テ保險料ヲ平

常ニ復スルカ如シ契約ノ當時通常危險ニ對シテハ或額特別危險ニ對シテハ或額合セテ若干トスルトキハ特別危險ノ消滅ニ伴ヒテ保險料ハ當然減少スルモ一括シテ定メタル場合ニハ特別危險ノ消滅ニ因リテ當然減少スルコトナキヲ以テ保險契約者ヲシテ其減額ヲ請求スルコトヲ得セシム此保險料ノ減少ハ固ヨリ將來ニ向ツテノミ效力ヲ生ス

保險價額ノ著シキ減少ト特別危險ノ消滅トカ合セ生シタルトキハ保險料ノ減少ハ著シカラシ

商法ハ此等ノ場合ニ保險契約者ヲシテ保險料ノ減少ヲ請求スルコトヲ得セシムルニ止メ契約ノ解除ヲ請求シ得サラシム然レトモ之ト反對ノ場合即チ保險價額カ著シク増大スルカ特別危險カ發生スル場合ニハ保險者ニ保險料ノ増加ヲ請求スル權利ヲ與フル外契約ヲ解除スルコトヲ得セシメ或ハ保險ヲ失効セ

シムルコトアリ是レ保險價額及ヒ危險ノ増加ト其減少トノ間ニ大差アルヲ以テナリ

保險料支拂ノ義務ハ一年ノ時効ニ因リテ消滅ス(四一七)保險金額支拂ノ義務及ヒ保險料返還ノ義務(二年)ヨリモ速カニ消滅セシメシムルハ此等ノ義務ノ間ニハ情況ノ異ナルモノアルニ由ル

保險契約者ハ自己ノ爲メニ保險ヲ爲シタル場合ニハ自ラ保險料ヲ支拂フヘキハ言ヲ俟タストシ他人ノ爲メニ保險ヲ爲ス場合ニモ亦之ヲ支拂フ義務ヲ負フ自ラ契約者ナルカ故ニ保險料ヲ支拂フ義務アルハ殆ント言フヲ待タサルモ疑ヲ懷ク者アルヲ慮カリ我商法獨逸保險法等ニ之ヲ規定ス(商四〇一、獨一、二)

我商法ハ保險契約者ハ保險料ヲ支拂フ義務アルコトヲ示シ又或場合ニ其返還ヲ請求シ得ルコト等ヲ定ムルニ止マリ何時ニ支拂フヘキカ如何ナル場所ニテ支拂フヘキカ等ヲ規定セサルヲ以テ此等ハ悉ク一般ノ規定特約商慣習等ニ依リテ決スルヨリ外ナシ獨逸及ヒ瑞西ノ保險法ハ此等ノ點マテモ詳細ニ規定セリ

今獨逸法ノ規定ヲ見ルニ保險契約者ハ契約取結ノ後遲滞ナク保險料ヲ支拂フヘキモノトス但保險證券ト引換ニ非サレハ之ヲ支拂フコトヲ要セストセリ第二回

以後ノ保險料ニ付テハ別段ノ規定ナキヲ以テ民商一般ノ規定ニ由ラシムルモノナラン(獨三五)保險契約者カ契約取結ノ際ニ支拂フヘキ保險料ヲ支拂ハサルトキハ其支拂前ニ生シタル事故ニ付テハ保險者其責ニ任セス又一ヶ月ノ豫告期間ヲ以テ契約ヲ解除スルコトヲ得但保險契約者ハ此豫告期間ニ保險料ヲ支拂フコトヲ得ヘク之ヲ支拂ヒタルトキハ保險者ハ其以後ノ事故ニ付キ責ヲ負フ保險契約取結ノ後ニ支拂フヘキ保險料即チ第二回以後ノ保險料ヲ支拂ハサルモ保險者ヲシテ免責セシムルコトナシ唯保險者ハ一定ノ期間ヲ指定シテ支拂ヲ催告シ其期間内ニ支拂ナキトキハ契約ヲ解除シ得ルノミ此期間ハ二週間以上タルヲ要ス(獨三八、三九)トセリ又保險料ヲ支拂フヘキ場所ハ保險契約者ノ營業所又ハ住所トス尙保險契約者ハ其危險ト費用ヲ以テ保險者ニ保險料ヲ送付スルコトヲ要ストシ又保險料ハ通常保險者ヨリ保險契約者ノ所ニ行キ取立ツル慣習アルヲ認め保險者カ書面ヲ以テ送金ヲ要求スルマテハ保險契約者ハ保險料ヲ送付スルコトヲ要セストセリ(獨三七)

獨逸ニ此規定アルハ可ナリ我國ニハ保險法ニ何等特別ノ規定モナキヲ以テ一般ノ原則ニ從ヒ保險契約者ハ保險者ノ營業所ニ至リテ保險料ヲ支拂ハサルヘカラ

ス之ヲ怠ルトキハ義務不履行トシテ契約ヲ解除セラル、ニ至ルヘシ不而已之カ爲メ同時ニ積立金拂戻ノ請求權ヲモ失フコトアリ蓋シ保險約款ニハ「保險契約者カ義務ヲ履行セサルカ爲メニ保險契約ヲ解除シタル場合ニハ保險契約者ハ其權利ヲ失フ」トスレハナリ保險契約者ハ不利益ヲ蒙ラサント欲セハ自ラ義務ヲ履行スヘキハ言フ俟タサルモ多クノ保險ニアリテハ、保險契約者ハ不注意ナル弱者ナルヲ以テ之ヲ保護スヘク寧ロ保險料ヲ取付債權トスヘシトイフ者スラアリ我國ニ於テモ實際ニハ保險會社ハ集金掛ヲ設ケテ保險料ヲ取立テオルモ未タ商慣習ト爲リテ保險料ハ取付債權ト爲レリトイヒ得ルカハ疑アリ故ニ寧ロ明文ニテ獨逸法ノ如クスルヲ可トセン保險契約者保護ノ主意ナリ獨逸ノ規定ハ債權ヲ取付債權ト變シタルカ否カハ別問トスルモ保險契約者ノ注意ヲ喚起シ彼等ヲシテ不知ノ間ニ權利ヲ失ハシムル虞少ナキハ明カナリ

序手ニ茲ニ一言センニ保險料ノ領收ヲ以テ保險契約取結ノ證トシ又ハ此領收ヲ以テ保險契約ノ繼續若クハ存續ノ證據トスルコトアリ此ノ如キ場合ニ保險勸誘員ヲ用ユルハ通常ナルモ往々彼等ノ中ニ不正漢ヲ生シ自己ノ隨意ニ保險料ヲ受取リテ之ヲ横領シ會社トノ間ニ保險契約ヲ繼續セサル結果ヲ生スルコトアリ故

ニ保險契約者ハ保險會社ノ領收證ヲ見サル中ハ保險料ヲ支拂ハス必ス之ヲ有スル者ニ支拂フコトヲ注意スヘシ此點ニ注意セサリシ爲メニ損失ヲ蒙ムリタル例アリ左ノ大阪控訴院ノ判決ヲ見ヨ(四三年十二月大控)

爭點ハ勸誘員カ保險契約者ニ對シテ爲シタル繼續保險契約締結ノ意思表示ハ正當ノ權限ニ基キ爲サレタルモノナリト見ルニ足ルヘキ正當ノ理由保險契約者被控訴人ヲ余ハ此クイフナリ)ニ存シ從テ右意思表示ノ效力ハ保險會社ニ付キ效力ヲ生シ保險契約ノ繼續アリタルモノト爲サ、ルヘカラサルヤ否ニ存ス仍テ按スルニ……本件係爭ノ保險契約ノ繼續ニ際シ其場ニ於テ勸誘員カ作成シタル保險會社ノ社印スラナキ保險料ノ領收證ヲ保險會社規定ノ假領收證ニアラサルヲ知覺シナカラ受領シ保險料ヲ支拂ヒタルコトヲ認ム可ク以上ノ事跡ニ徵スルトキハ未タ以テ勸誘員カ正當ノ權限ニ基キ本件ノ保險契約ノ繼續ヲ爲シタルモノナリト見ルヘキ正當ノ理由保險契約者ニ存シタリト認ムルヲ得サルヘク右保險契約繼續ノ效果ハ保險會社ニ付テ發生スヘキモノニアラサルヤ論ヲ俟タス果シテ然ラハ右保險契約ノ繼續ヲ理由トスル保險契約者ノ本件請求ハ失當ナリ

## 二 損害ノ通知

保險契約者ハ危険ノ發生ニ因リテ損害ノ生シタルコトヲ知リタルトキハ遲滞  
ナク保險者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス(四一二)之ニヨリ保險者ヲシテ  
損害ノ狀況ヲ速カニ調査シ損害ヲ生セシメタル第三者ニ對スル策ヲ講シ保險  
金額支拂ノ準備ニ着手スルコトヲ得セシム時トシテハ契約取結當時ニ保險者  
ニ通知スヘキ義務ト合セテ告知又ハ通知ノ義務ト云フコトアルモ一ハ契約取  
結當時ニ爲スヘキモノニシテ契約ヨリ生スル義務ニ非ラサルニ一ハ契約上ノ  
義務ナリ又契約取結當時ニ告知スヘキコトヲ告知セサルトキハ保險契約ハ解  
除シ得ラル、ニ損害ヲ通知セサルモ契約ハ解除セラレズ唯保險契約者ハ其不  
通知ヨリ生スル損害ノ賠償ヲナスヘキノミニ二分ニ分離スルヲ可トス  
損害通知ノ義務ハ被保險者モ亦負フコトアリ被保險者カ義務トシテ通知ヲ爲  
スヲ要スルハ自ラ契約ノ當事者トナリタルカ或ハ保險契約上ノ利益ヲ享受ス  
ル意思ヲ表示シタル場合ナリ(民五三七)其他ノ場合ニハ保險金額ヲ得ントスル  
トキハ之ニ先チテ通知ノ手續ヲ要シ即チ手續ニ過キス

我商法ニハ保險期間中危険カ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘカラサル事

由ニ因リテ著ルシク變更又ハ増加シタルトキハ保險者ハ契約ノ解除ヲ爲スコト  
ヲ得前項ノ場合ニ於テ保險契約者又ハ被保險者カ危険ノ著ルシク變更又ハ増加  
シタルコトヲ知リタルトキハ遲滞ナク之ヲ保險者ニ通知スルコトヲ要ス若シ其  
通知ヲ怠リタルトキハ保險者ハ危険ノ變更又ハ増加ノ時ヨリ保險契約カ其效力  
ヲ失ヒタルモノト看做スコトヲ得トセリ(四一一)此レヨリシテ保險契約者ニ通知  
義務アルヲ知リ同時ニ其義務違反ノ制裁ヲ知ルナリ

我國ハ保險契約者ノ通知義務ハ危険ノ著ルシク増加シタル場合ト變更シタル場  
合ノ二トシ又其變更増加ハ保險契約者ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リテ生シ  
タル場合トセリ獨逸法ハ稍之ニ異ナリテ保險契約者ハ自己ノ行爲又ハ其許可シ  
タル第三者ノ行爲ニ因リテ危険カ増加セルコトヲ知リタルトキハ遲滞ナク保險  
者ニ通知スルヲ要シ之ニ反スルトキハ保險者ハ通知ヲ受クヘカリシ時ヨリ一ヶ  
月後ニ生シタル損害ニ付テハ其實ニ任セス但自ラ此期間内ニ危険ノ増加ヲ知リ  
タルトキハ此限ニ在ラス危険カ保險契約者ノ意思ニ基カスシテ増加シタル場合  
ニモ保險契約者カ其増加ヲ知リタル時ヨリ遲滞ナク通知スヘキモノトシ之ニ反  
スル場合ニハ保險者ノ免責ノ點ニ於テハ前ト同一ナリ(獨二三、二五、二七、二八)尙獨

逸法ハ危険増加ノ場合ニ保險契約者ニ通知義務ヲ負ハシメ之ニ伴フ制裁ヲ課スルハ危険ノ増加カ事故ノ發生及ヒ保險者ノ給付ノ範圍ニ影響ヲ及ホス場合ニ限リ影響ヲ及ホサ、リシ場合ニハ此制義ヲ課セサルナリ此點ニ於テ稍我商法ト異ナレリ又我商法ニハ危険ノ變更ト増加ヲ同等ニ重視スルニ獨逸ハ之ヲ異ニセリ尙後ノ解除ノ所ノ説明ヲ見ヨ

事故カ發生シテ損害カ生シタルトキハ保險契約者ハ遲滞ナク保險者ニ其通知ヲ發スルコトヲ要ス此點ニ於テハ我商法モ獨逸法モ同一ナリ(四一二、獨三三)

保險契約者ハ遲滞ナク通知ヲ爲スヘク遲滞スルトキハ不利益ヲ受クヘシ遲滞ノ有無ハ各場合ニ依リテ異ナリトシ後ニ判決ニテ其認定ノ一例ヲ示サン

保險契約者ノ通知義務ハ法律ニ定マルモ保險者ハ特約ヲ以テ其以外ノ事ヲモ約スルコトアリ例ハ損害ノ狀況調書及ヒ損害見積書ヲ作りテ呈出セシムル如シ尙海上保險ニアリテハ「テンダークロリス」ナル約款ヲ容レ船舶ノ修繕費ニ關シテ保險者ノ意見ヲ徵セシムルコトアリ保險者ニ此ノ如キ契約アルトキハ保險契約者ハ之ニ從ヒテ書類ヲ提出スルハ當然ナリ然レトモ此等ノ書類ハ保險者カ保險金ヲ支拂フヘキカ否カ其額如何等ヲ決定スル爲メ必要ナルニ止マルヲ以テ若シ保

險者ニシテ保險金ヲ支拂ハサルコトニ定メテ之テ保險契約者ニ通知スルトキハ後者ハ最早之ヲ提出スル必要ナシ少クトモ速カニ提出スル必要ナキナリ之ニ關スル大阪地方裁判所ノ判決左ノ如シ(大地四二年)

保險ノ目的カ火災ニ罹リタルトキハ遲滞ナク書面ヲ以テ之ヲ會社ニ通知シ尙十五日以内ニ火災ノ狀況調書及ヒ損害見積書ヲ作り一名以上ノ保證人ト連署捺印シテ之ヲ會社ニ差出スヘキコト火災保險約款第十三條ノ規定スル所ナリ保險者ハ保險契約者カ右手續ヲ履行セサリシヲ主張スレトモ契約者ハ七月十日書面ヲ以テ火災ニ罹リタルコトヲ會社ニ通知シ會社ハ之ヲ受ケタルコトハ明カニシテ當時契約者ハ大火災ニ罹リ其住宅ヲモ喪ヒタルモノニシテ頗ル困難シ居リシ事情ヨリ察スルトキハ同月十二日ニ爲シタル通知ハ其當時ノ狀態ニ照シ決シテ遲滞アリトイフヲ得ス

又保險約款第十三條ニ被保險者カ火災ノ狀況調書及損害見積書ヲ會社ニ差出スヘコトヲ定メタルハ會社ニ於テ其損害ヲ填補スルニ先チ豫メ損害ノ程度ヲ調査スルノ必要ニ出テタルモノニシテ明治四十二年七月十三日付ノ證據ニヨレハ保險者ハ契約者ヨリ前記通知ニ對シ全然保險金ノ支拂ヲ拒絕シタルモノ

ナレハ契約者カ此場合ニ於テ尙前記ノ書面ヲ差出スヘキモノトスルトキハ全ク無用ノ手續ヲ強ユルモノニシテ斯カル場合ニ於テ契約者カ保險者ニ對シ保險金ノ支拂ヲ求ムルニハ裁判上ノ手續ニ訴ヘ其損害額ヲ立證スルヲ要シ保險者ハ之ニ依リテ損害ヲ正確ニ知ルコトヲ得テ何等損害ヲ蒙ルコトナキ筋合ナレハ保險者ハ契約者カ右ノ手續ヲ踐マサリシノ故ヲ以テ本訴ニ於テ其請求ヲ拒ムノ理由ト爲スニ足ラス

保險契約者ニハ損害防止ノ義務ナシ被保險者之ヲ負フノミ(四一四)損害防止ノ義務トハ危險カ發生シ損害ヲ生セントスル場合ニ之ヲ防止シ又生シタル損害カ増大セントスル場合ニ之ヲ狭少ノ區域ニ止ムルニ勉ムルコトナリ多クハ物質的損害ニ關シテ云フモ權利上ノ損害ヲモ含ムナリ被保險者ハ自己ニ損害ヲ生スルモ保險者ヨリ其填補ヲ得ヘント云ヒテ傍觀スルトキハ損害ハ増大シテ保險者ニ不利益ヲ來シ社會全體ニ害アリ故ニ被保險者ヲシテ防止ニ盡力セシメ而シテ費用ヲ恐レテ躊躇スルヲ慮リ防止ニ要スル必要及ヒ有益費用ハ保險者ノ負擔トシ此負擔ハ填補額ト合セテ保險金額ニ超過スルトキト雖モ保險者ヲシテ之ヲ支拂ハシム被保險者カ防止ノ義務ヲ盡サハルトキハ之ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償ス

ルヲ要シ多クノ場合ニハ自己ノ受クヘキ保險金額ト相殺セラルヘシ此義務モ亦義務トシテ被保險者ニ存スルハ被保險者カ契約ノ當事者ト爲リタルカ保險契約上ノ利益ヲ享受スル意思ヲ表示シタル場合ナリ然ラズンハ保險金額ヲ得ントスルニ先チテ爲スヘキ手續ニ過キス

余ハ何故ニ此義務ヲ保險契約者ニモ負ハシメサリシカヲ怪ム保險契約者ニ損害通知ノ義務ヲ負ハシムルニ損害防止ノ義務ヲ負ハシメサルハ既生損害ノ通知ヲ未發損害ノ防止ヨリモ重視スルモノニシテ本末ヲ顛倒セル觀アリ或ハ保險契約者ニ負ハシムルニ損害防止ノ義務ヲ以テスルハ酷ナリト云ハンモ絶對ニ防止スヘシトスルニ非スシテ損害ノ生スルヲ知リタル際ニ防止スヘシ防止シ得ル場合ニ防止スヘシトスルモノナルヲ以テ酷ナルニ非ス被保險者ニ限リテ之ヲ負ハシメ保險契約者ニ負ハシメサル理由ハ乏シ

### 損害防止義務

被保險者ニ損害ノ防止ノ義務ヲ負ハシムルハ主トシテ保險者ノ利益ヲ慮カリ兼ねテ國家經濟ノ點ヲ思フ所アルナリ獨法モ被保險者ニ損害防止ノ義務ヲ認ムルコト我國ニ等シキモ其義務履行ノ態様及ヒ防止費用ノ負擔ニ關シテハ少シク異



ナル所アリ被保險者カ損害ヲ防止スルニ當リテハ可成保險者ノ指揮ヲ仰クヘキ  
コト、シ保險者ハ被保險者カ自己ノ指揮ニ因リテ支出シタル費用ニ關シテ無限  
ニ辨償ノ責ヲ負ヒ其他ノ費用ニ關シテハ場合ノ事情ニ依リ必要ト認ムヘカリシ  
モノニ限り保險金額ノ範圍内ニ於テ辨償ノ責ヲ負ハシム是レ專ラ保險者ノ濫費  
ヲ顧慮シタルモノナランモ稍嚴格ニ失スル嫌アリ(獨六二、六三)

### 保險債權ノ讓渡

保險債權ハ或意味ニ於ケル讓渡權ニシテ或意味ニ於ケル不讓渡權ナリ保險債權  
ハ必スシモ終始固リ保險契約者又ハ被保險者ニ屬スルヲ要セス彼等ヨリ他人ニ  
之ヲ讓渡スコトヲ得此點ニ於テハ讓渡權ナリ然レトモ讓渡權ト稱スルトキハ何  
人ニモ單獨ニ讓渡シ得ルヲ通常トスルニ保險債權ニハ讓受人ヲ限定シ讓渡夫レ  
自身ニモ亦制限スル所アルヲ以テ少クトモ通常ノ意味ニ於ケル讓渡權ニ非ス損  
害保險ニハ生命保險ニ於ケル如ク保險債權ノ讓渡ニ或條件ヲ要スル明文(四二八)  
ナキヲ以テ權利者ノ隨意ニ何人ニモ之ヲ讓渡シ得ル如クナルモ保險ノ性質上漫  
リニ讓渡シ得サルナリ損害保險ハ損害ヲ填補スル契約ナルヲ以テ損害ヲ受クル  
地位ニ在ル者ニ非サレハ到底此權利ヲ享有シ得サル理ナリ

損害保險ノ性質ヨリシテ保險債權ハ損害ヲ蒙ルコト無カルヘキ者ニ讓渡スコ  
トヲ得ス保險價額カ著シク減少シタル場合ニ保險金額ノ減少ヲ請求シ得セシム  
ル點ヨリシテモ此ノ如ク解スルヲ得又公益上此ノ如クセサルヘカラス家屋カ滅  
失毀損スルモ毫モ損害ヲ蒙ムラサルニ巨額ノ金錢ヲ得トスレハ往々其家屋ヲ燒  
失セシメ或ハ之ニ依リテ賭博行爲ヲ爲スニ至ルヘシ此ノ如キコトハ保險ニハ被  
保險利益ヲ必要スル根本ノ主意ニ反ス被保險利益ハ決シテ契約當時ニ存在スレ  
ハ足ルモノニ非ス保險ノ存續スル限り保險債權者ニ屬セサルヘカラス生命保險  
ニハ損害ノ有無ヲ問ハサルヲ以テ保險債權ヲ漫リニ讓渡スヲ得ストスルニハ明  
文ヲ要スルモ損害保險ニ在リテハ保險ノ性質ヨリ當然之ヲ知り得ルカ故ニ明文  
ヲ置カサリシナリ

保險債權ハ保險ノ目的ト共ニ之ヲ讓渡スコトヲ得換言スレハ被保險利益ト共ニ  
讓渡スコトヲ得家屋ノ所有者ハ其家屋ノ滅失ニ利害關係ヲ有スルカ故ニ之ヲ保  
險ニ附シテ保險債權ヲ得タルナリ他人カ其家屋ノ所有者ト爲ルトキハ又其滅失  
ニ利害關係ヲ有スルヲ以テ之ヲ保險ニ附シテ保險債權ヲ取得シ得ルナリ各々自  
己ノ利害關係ヲ保險ニ附スルモノナルヲ以テ或國ニ於テハ被保險者カ保險ノ目

的ヲ讓渡シタルトキハ保險ハ當然消滅ストス理論上正確ナレトモ前保險ヲ消滅セシメテ新保險ヲ爲サシムルヨリモ既存ノ保險債權ヲ家屋ト共ニ讓渡スコトヲ得セシムルヲ便トス故ニ我商法ハ之ヲ許シ而シテ當事者ハ多クノ場合ニ於テ此ノ如クスルヲ以テ法律ニ推定ヲ設ケ被保險者カ保險ノ目的ヲ讓渡シタルトキハ同時ニ保險債權ヲ讓渡シタルモノトセリ(四〇四)推定ナルヲ以テ當事者ハ各場合ニ保險債權ノ讓渡ナキコトヲ證明シ得ヘク又注意深キ保險者カ被保險者ノ變更ヲ欲セサルトキハ豫メ之ヲ禁止スヘシ其場合ニハ物ノ讓受人ハ保險債權ヲ讓受ケサルヲ以テ保險者ト讓受人トノ間ニ保險ナク而シテ物ノ讓渡人ハ保險ノ目的ヲ有セサルヲ以テ被保險者ト爲ルヲ得ス隨テ保險ハ凡テノ方面ニ於テ消滅ス尙此點ニ關シ口獨ノ規定ヲ比較セン被保險者カ保險金ヲ請求スルニハ被保險利益ヲ有スルヲ要スルヲ以テ若シ保險ノ目的ヲ讓渡シタルトキハ最早此權利消滅シ契約モ亦消滅スル理ナリ之ヲ契約上ノ理論トシ保險契約ニアリテモ亦同一ナリ然レトモ便宜上ヨリ保險契約ニアリテハ此理ヲ貫カスシテ我商法ハ被保險者カ保險ノ目的ヲ讓渡シタルトキハ同時ニ保險契約ニ因リテ生シタル權利ヲ讓渡シタルモノト推定ストシ保險ノ目的ヲ讓渡ト同時ニ保險金請求權モ讓渡サレタルモノト推定セリ是レ保險ノ目的ヲ讓渡ストキハ自ラ最早保險金ヲ請求スル權利ヲ有スルヲ得ス而シテ此儘ニ保險ヲ消滅セシムルヨリモ讓受人ヲシテ保險金請求ヲ承繼セシムルヲ可トシテ之ヲモ讓渡スコト多ク讓受人モ亦之ヲ讓受クルコト多ク而シテ保險者モ之ヲ拒ム理由ナキヲ以テ此推定ヲ設ケタルナリ通常ハ保險金請求權ヲモ讓渡スヲ以テ此ノ如ク推定スルモ常ニ之ヲ讓渡サシムルヲ要セストシテ推定ニ止ム又目的ノ讓渡ハ必スシモ保險者ニ不利益ヲナスコトナシトシテ此ノ如ク推定シタルモ若シ保險者ニ大ナル不利益ヲ來スヘキ場合ニハ此ノ如ク推定セス即チ保險ノ目的ヲ讓渡カ著ルシク危險ヲ變更増加スル場合ニハ保險金請求權ハ讓渡サレタルモノトセス保險契約ヲシテ其效力ヲ失ハシム此規定ハ我國ノ現狀ニ於テ至當ノモノナリ保險ノ目的ヲ讓渡ト同時ニ必ス保險金請求權モ移轉シ保險ハ必ス繼續セサルヘカラストスルハ不當ナリ又一旦ハ必ス移轉シ唯保險者又ハ目的ノ讓受人タル被保險者ハ保險契約ヲ解除シ得ルノミトスルモ不可ナリ又我國ハ保險契約ノ權利ノミ移轉スト推定セリ義務モ移轉ストスヘシト論スル者アルモ義務ノ移轉ハ容易ニ推定スヘカラス

獨逸保險法ハ此點ニ於テ大ニ我ト異ナリテ保險ノ目的ヲ讓渡ト同時ニ保險契約

ニ因リテ生シタル權利義務ハ讓受人ニ移轉スルモノト定メタリ即チ保險契約者カ被保險物ヲ讓渡シタルトキハ讓受人ハ當然保險契約者ノ權利義務ヲ承繼シ而シテ其承繼ノ時ニ於ケル保險料期間ノ保險料ニ付テハ讓渡人ト讓受人ハ連帶責任ヲ負ハシム物ノ移轉ト共ニ保險契約ノ移轉アリトシ此移轉ヲ欲セサル者ヲシテ解除スルコトヲ得セシメ保險者ハ讓渡ノ時ヨリ一ヶ月内ハ一ヶ月ノ豫告期間ヲ以テ契約ヲ解除シ得トス保險者ニ此解除ノ機會ヲ與フル爲メ及ヒ其他ノ理由ヨリシテ保險契約者カ被保險物ヲ讓渡シタルトキハ遲滞ナク之ヲ保險者ニ通知スヘク若シ讓渡人及ヒ讓受人カ之ヲ怠ルトキハ保險者ハ其通知ヲ受クヘカリシ時ヨリ一ヶ月ヲ經過シタル後ニ生シタル事故ニ付テハ其責ニ任セス讓受人ハ讓受ノ時(若シ保險ノ存在ヲ知ラサルトキハ之ヲ知リタル時)ヨリ一ヶ月内ハ何時ニテモ契約ヲ解除スルコトヲ得トシ此場合ニ於テハ保險料ニ付キ責任ヲ負フコトナシトシタリ瑞西ノ新法モ大體ニ於テ獨法ニ類スル所アリ保險ノ隆盛ニ趣クニ從ヒ此ノ如ク規定スルヲ或ハ可トスルナランモ稍保險ヲ強フル嫌アリ

### 損害保險契約ノ消滅

損害保險契約ハ契約一般ノ消滅方法ニ因リテ消滅スル外保險ニ特別ノ方法ニ因リテ消滅ス即チ解除及失效ナリ

契約ハ相手方ノ不履行債務者ノ責ニ歸スヘキ履行不能等ニ因リテ解除シ得ルモノナリ契約ヲ解除シタルトキハ各當事者ハ其相手方ヲ原狀ニ復セシムルヲ一般ノ原則トス(民五四一以下)然ルヲ保險法ハ或場合ニ其原則ヲ採用シ他ノ場合ニハ之ニ異ナル規定ヲ設ク

保險契約ヲ解除シ得ル場合ハ五個トシ其中ノ前二個ハ保險契約者ヨリシ後三個ハ保險者ヨリスルモノナリ

一 保險契約者ハ保險者ノ責任ノ始マル前ニ契約ヲ解除スルコトヲ得(四〇七) 保險者ノ責任ノ始マル前ニシテ保險者ハ毫モ責任ヲ負ハサルヲ以テ保險契約者ハ保險料ヲ支拂フコトヲ要セス然レトモ既ニ保險契約ヲ爲シテ後ニ之ヲ解除シ保險ノ手數ヲ釀シタルヲ以テ保險者ヲシテ既ニ支拂ヒタル保險料ノ半額ニ相當スル金額ヲ得セシメ保險契約者ハ其半額ノ返還ヲ得ルノミ(四〇九)解除ハ全部ニテモ一部ニテモ可ナリ契約カ不可分ナルトキハ全部ヲ解除スルカ全部ヲ其儘ニ存スルヨリ外ナシ

此場合此ノ解除ノ效力ハ民法ニ規定シタルト同一ナリ

二 保險契約者ハ保險者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ契約ヲ解除スルコトヲ得(四〇五)

保險者カ破産スルトキハ保險金額ヲ得ルコト不確ト爲ルヲ以テ保險契約者ヲシテ契約ヲ解除スルコトヲ得セシムルナリ然レトモ保險契約者ハ解除權ヲ行使セス保險者ヲシテ相當ノ擔保ヲ供セシムルコトヲ得

解除ハ將來ニ向ツテノミ其效力ヲ生ス故ニ保險者ハ保險料ヲ返還スルコトヲ要セス保險契約者ハ保險ニ因リテ得タル安心ヲ金錢ニ見積リテ返還スルヲ要セス安心ノ如キ心理的現象ハ金錢ニ見積リ得サルヘク假ニ見積リタリトスルモ保險料ト同額ナランヲ以テ相互ニ返還スルヲ要セス

三 保險者ハ保險契約者カ契約ノ當時告知義務ヲ盡ササルトキハ契約ヲ解除スルコトヲ得(三九九ノ二)

四 保險者ハ危險カ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リテ著シク變更又ハ増加シタルトキハ契約ヲ解除スルコトヲ得(四一一)

危險ノ變更増加モ然リハ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因ルコトアリ其責ニ歸スヘキ事由ニ因ルコトアリ保險者ノ解除權ヲ有スル

ハ前ノ場合ニシテ後ノ場合ニハ保險契約ハ失効スルナリ何故ニ一ヲ解除トシ他ヲ失効トシタルカ又危險ノ變更カ彼等ノ責ニ歸スヘキカ否カニ因リテ區別シ彼等ノ行爲ナリシカ否カニ因リテ區別セサル理由如何等ニ關シテ論スヘキ點アルモ細密ニ涉ルヲ以テ省ク

保險契約者又ハ被保險者カ危險ノ變更ヲ知リタルトキハ遲滞ナク保險者ニ通知スヘシ通知ヲ怠ルトキハ保險者ニ依リテ保險契約ハ失効シタルモノト看做サルコトアルヘシ

解除ハ將來ニ向ツテノミ其效力ヲ生ス原狀ニ復スルハ困難ニシテ又原狀ニ復セサルモ不條理ナラサレハナリ

五 保險者ハ保險契約者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ契約ヲ解除スルコトヲ得(四〇五)

將來ノ保險料ノ支拂ヲ危惧スルヨリ出ツルナリ保險者ハ解除權ヲ行使セス保險契約者ヲシテ相當ノ擔保ヲ供セシムルコトヲ得保險契約者ニシテ既ニ保險料ノ全部ヲ支拂ヒタルトキハ保險ヲ繼續スヘキコト明カナリ  
解除ハ將來ニ向ツテノミ其效力ヲ生ス理由ハ前述ノモノト大同ナリ